

令和 4 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 自由民主・市民クラブ

氏名 山之内 悠

項目	調査研究費		
費目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	支 出 内 容
1	7 / 19	61,590	調査視察 旅費・宿泊費 (岩手県北上市・宮城県気仙沼市) (日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載)
1-1	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 本八戸⇄気仙沼 21,980円 気仙沼市宿泊代 8,950円
1-2	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 本八戸⇄気仙沼 17,860円 気仙沼市宿泊代 8,950円
1-3	0 / 0	0	タクシー代 北上駅→北上市役所 700円 北上市役所→北上駅 620円
1-3	0 / 0	0	タクシー代 気仙沼駅→ホテル 1,040円 気仙沼魚市場→気仙沼駅 1,490円
2	8 / 1	329,250	調査視察 旅費・宿泊費 (福井県小浜市・鳥取県岩美町) (日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載)
2-1	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 本八戸⇄東京→小浜→鳥取 航空券 鳥取→羽田 小浜市宿泊代 鳥取市宿泊代 上限112,970円
2-2	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 本八戸→小浜 東京→本八戸 63,140円 航空券 鳥取→羽田 22,570円
2-2	0 / 0	0	鳥取市宿泊代 9,350円 小浜市宿泊代 8,800円
2-3	0 / 0	0	航空券 三沢⇄羽田⇄鳥取 鳥取市宿泊代 上限97,940円
2-4	0 / 0	0	タクシー代 小浜駅→ホテル 670円 ホテル→視察先 4,470円 視察先→小浜駅 4,470円 ホテル→視察先 4,870円
3	8 / 29	1,184,440	調査視察 旅費・宿泊費 (沖縄県那覇市) (日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載)
3-1	0 / 0	0	タクシー代 那覇市役所→第一牧志公設市場 560円×4台=2,240円
3-2	0 / 0	0	航空券 三沢⇄羽田⇄那覇 72,760円 那覇市宿泊代 20,900円
3-3	0 / 0	0	航空券 三沢⇄羽田⇄那覇 74,860円 那覇市宿泊代 20,900円
3-4	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 本八戸⇄浜松町 28,920円 航空券 羽田⇄那覇 27,420円 那覇市宿泊代 19,580円
3-5	0 / 0	0	航空券 三沢⇄羽田⇄那覇 93,460円 那覇市宿泊代 18,260円
3-6	0 / 0	0	航空券 三沢⇄羽田⇄那覇 72,760円 那覇市宿泊代 20,900円
小計		1,575,280	備考
合計		1,575,280	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

令和 4 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 自由民主・市民クラブ

氏 名 山之内 悠

項目	調査研究費		
費目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	支 出 内 容
3-7	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 本八戸⇄浜松町 41,360円 航空券 羽田⇄那覇 33,820円 那覇市宿泊代 19,580円
3-8	0 / 0	0	航空券 羽田⇄那覇 57,320円
3-9	0 / 0	0	航空券 羽田⇄那覇 30,620円 那覇市宿泊代 20,900円
3-10	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 本八戸⇄浜松町 41,360円 航空券 羽田⇄那覇 27,420円 那覇市宿泊代 19,580円
3-11	0 / 0	0	航空券 三沢⇄羽田⇄那覇 72,760円 那覇市宿泊代 20,900円
3-12	0 / 0	0	航空券 三沢⇄羽田⇄那覇 73,360円 那覇市宿泊代 20,900円
3-12	0 / 0	0	バス乗車券 本八戸駅前⇄三沢空港前 3,000円
3-12	0 / 0	0	モノレール代 那覇空港⇄県庁前 540円
3-13	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 本八戸⇄浜松町 39,260円 航空券 羽田⇄那覇 30,620円 那覇市宿泊代 20,900円
3-13	0 / 0	0	モノレール代 浜松町⇄羽田空港第一ターミナル 1,000円
3-13	0 / 0	0	モノレール代 那覇空港⇄県庁前 540円
3-14	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 40,960円 航空券 羽田⇄那覇 43,720円 那覇市宿泊代 20,900円
3-15	0 / 0	0	博物館・美術館入館料 2,320円×13人分=30,160円
4	10 / 17	269,330	調査視察 旅費・宿泊費 (新潟県佐渡市) (日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載)
4-1	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 本八戸⇄新潟 61,680円 フェリー代 新潟⇄両津 12,890円 佐渡市宿泊代 17,680円
4-2	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 本八戸⇄新潟 61,680円 フェリー代 新潟⇄両津 12,890円 佐渡市宿泊代 17,680円
4-3	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 八戸⇄新潟 61,680円 フェリー代 新潟⇄両津 14,310円 佐渡市宿泊代 8,840円
5	11 / 13	358,500	調査視察 旅費・宿泊費 (富山県富山市、石川県金沢市) (日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載)
小計		627,830	備考
合計		2,203,110	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

令和 4 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 自由民主・市民クラブ

氏 名 山之内 悠

項 目	調査研究費		支 出 内 容
費 目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	
5-1	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 八戸⇄大宮→富山→金沢 74,230円
5-1	0 / 0	0	富山市宿泊代 5,680円 金沢市宿泊代 9,450円
5-2	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 八戸⇄大宮→富山→金沢 72,930円
5-2	0 / 0	0	富山市宿泊代 5,680円 金沢市宿泊代 9,450円
5-3	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 八戸⇄大宮→富山→金沢 75,410円
5-3	0 / 0	0	富山市宿泊代 5,680円 金沢市宿泊代 9,450円
5-4	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 八戸⇄大宮→富山→金沢 75,410円
5-4	0 / 0	0	富山市宿泊代 5,680円 金沢市宿泊代 9,450円
6	12 / 21	249,430	調査視察 旅費・宿泊費 (沖縄県南城市、豊見城市) (日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載)
6-1	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 本八戸→仙台 東京→本八戸 25,830円
6-1	0 / 0	0	航空券 仙台→那覇 52,730円 那覇→羽田 24,610円 那覇市宿泊代 21,800円
6-2	0 / 0	0	航空券 三沢⇄羽田⇄那覇 93,260円 那覇市宿泊代 25,400円
6-3	0 / 0	0	水族館入館料 2,400円×2人分=4,800円 水族館バックヤードツアー一代 500円×2人分=1,000円
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
小 計		249,430	備 考
合 計		2,452,540	

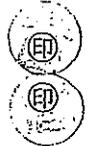
※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和4年6月27日

会派名 自由民主・市民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 森園秀一
間盛仁



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 森園秀一 議員
間盛仁 議員
- 2 期間 令和4年7月19日（火）～ 令和4年7月20日（水）
- 3 場所 岩手県北上市・宮城県気仙沼市
- 4 目的及び内容 ・大学設置の経緯について（北上市）
・魚市場について（気仙沼市）
- 5 支出可能額（限度額） 65,680円
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式 (第6条、第8条関係)

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎					
行	日	時刻	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
行	7/19	本八戸駅発 12:46	早見表					
き	7/19	気仙沼駅着 20:59						
帰	7/20	気仙沼駅発 12:23						
	り	7/20						本八戸駅着 16:30
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃	150.5k	2,640	2,640	本八戸→北上	
				104.4k	1,980	1,980	北上→気仙沼	
				261.1k	4,840	4,840	気仙沼→本八戸	
			急 行 料 金	特	1	2,640	2,640	八戸→北上 144.4k
					1	2,640	2,640	一ノ関→八戸 186.8k
			料 金	急				
			特別車両 料 金		1	2,800	2,800	八戸→北上 144.4k
					1	2,800	2,800	一ノ関→八戸 186.8k
			航空運賃					
			バス運賃					
			宿泊料		1	12,500	12,500	7/19 気仙沼市泊
			小 計					
合 計 (小計×人数)						65,680	2名	

視察行程

- ・日 程：令和4年7月19日（火）～20日（水）
- ・場 所：岩手県北上市・宮城県気仙沼市
- ・視察者：間 盛仁議員、森園 秀一議員

月 日	行 程	宿泊地
7月19日 (火)	<p>12:46発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → (東北新幹線) → 盛岡 13:44着/14:08発</p> <p>14:26着/14:30発 (東北新幹線) → 北上 → (タクシー) → 北上市役所 → (タクシー) → 北上 17:25着/17:45発</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">15:00～16:30 大学設置の経緯について</p> <p>18:27着/19:36発 (東北本線) → 一ノ関 → (JR 大船渡線) → 気仙沼 → (タクシー) → ホテル 21:20着</p>	気仙沼市内
7月20日 (水)	<p>6:15発 ホテル → (タクシー) → 気仙沼魚市場 6:45着/9:20発 → (タクシー) → 気仙沼 9:50着/12:23発</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">7:00～8:00 魚市場について</p> <p>13:42着/14:14発 (JR 大船渡線) → 一ノ関 → (東北新幹線) → 盛岡 → (東北新幹線) → 八戸 16:13着/16:22発</p> <p>16:30着 (JR八戸線) → 本八戸</p>	

令和4年8月12日

会派名 自由民主・市民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 森園秀一
間盛仁



調査視察等報告書

令和4年6月27日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 森園秀一 議員
間盛仁 議員
- 2 期間 令和4年7月19日(火)～令和4年7月20日(水)
- 3 場所 岩手県北上市・宮城県気仙沼市
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 57,740円(JR、宿泊費)
3,850円(タクシー代 ※比較対象外)
- 6 概要 別紙のとおり

視察行程

- ・ 日 程 : 令和4年7月19日(火) ~ 20日(水)
- ・ 場 所 : 岩手県北上市・宮城県気仙沼市
- ・ 視察者 : 間 盛仁議員、森園 秀一議員

月 日	行 程	宿泊地
7月19日 (火)	<p>12:46発 本八戸 → (JR八戸線) → 12:56着/13:07発 八戸 → (東北新幹線) → 13:44着/14:08発 盛岡</p> <p>→ (東北新幹線) → 14:26着/14:30発 北上 → (タクシー) → 14:45着/17:10発 北上市役所 → (タクシー) → 17:25着/17:45発 北上</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">15:00~16:30 大学設置の経緯について</div> <p>→ (東北本線) → 18:27着/19:36発 一ノ関 → (JR大船渡線) → 20:59着 気仙沼 → (タクシー) → 21:20着 ホテル</p>	気仙沼市内
7月20日 (水)	<p>6:15発 ホテル → (タクシー) → 6:45着/9:20発 気仙沼魚市場 → (タクシー) → 9:50着/12:23発 気仙沼</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">7:00~8:00 魚市場について</div> <p>→ (JR大船渡線) → 13:42着/14:14発 一ノ関 → (東北新幹線) → 14:54着/15:37発 盛岡 → (東北新幹線) → 16:13着/16:22発 八戸</p> <p>→ (JR八戸線) → 16:30着 本八戸</p>	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	1-1
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

2022年 7月18日

森園 秀一 様

金21,980円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
本八戸801 No.000010



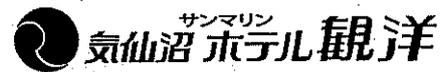
※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	1-1
領収書等貼付欄					

請求書兼領収書

No. 15245529



お名前
Name
森園 秀一 様

〒988-0021 宮城県気仙沼市港町4番19号
TEL. 0226-24-1200 / FAX. 0226-22-6665
kesennuma@kanyo.co.jp

お部屋番号 Room No.	大人	子供	日帰	到着日 Arrival	出発日 Departure
1603	1			2022/07/19	2022/07/20

(株)阿部長商店 気仙沼ホテル観洋

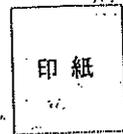
発行日 2022/07/19
Issued

No. 15377503-0000 RsvNo. 020164367

日付 Date	摘要 Explanation	数量 Q'ty	単価 Price	税率 Rate	ご料金 Charge	お支払 Payment
07/19	御宿泊代 ==<消費税内税分>== ==<入湯税内税分>== ====利用日合計====	1	8,950	10	8,950	税込
		(8,000)	10	(800)	
		((150)	
					8,950	
税・サービス料込					8,950	
差引請求額 Balance Due						8,950

税率(Rate)の「※」は軽減税率対象

(精算内訳)現金 _____
クレジット _____
商品券・金券 _____
その他 _____



領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅 費	整理番号	1-2
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

2022年 7月18日

間盛仁様

金17,860円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 波 谷
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
本八戸801 No.000015



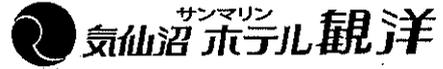
※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	1-2
領収書等貼付欄					

請求書兼領収書

No. 15245530



お名前 Name
間 盛仁 様

〒988-0021 宮城県気仙沼市港町4番19号
 TEL. 0226-24-1200 / FAX. 0226-22-6665
 kesenuma@kanyo.co.jp

お部屋番号 Room No.	大人	子供	日帰	到着日 Arrival	出発日 Departure
1604	1			2022/07/19	2022/07/20

(株)阿部長商店 気仙沼ホテル観洋

発行日 2022/07/19

Issued

No. 15378302-0001

RsvNo. 020164367

日付 Date	摘要 Explanation	数量 Qty	単価 Price	税率 Rate	ご料金 Charge	お支払 Payment
07/19	御宿泊代 ==<消費税内税分>== ==<入湯税内税分>== ====利用日合計====	1	8,950 (8,000)	10 10	8,950 (800) (150) 8,950	税込
税・サービス料込					8,950	
差引請求額 Balance Due						8,950

税率(Rate)の「※」は軽減税率対象

- (精算内訳)現金 _____
- クレジット _____
- 商品券・金券 _____
- その他 _____



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	1-3
領収書等貼付欄					

森田 幸一様
 北上駅 → 北上市役所
領 収 証
 現・チ・ク・割引 No.2534
 日付 2022年 07月 19日
 車番 000615 0000
 基本運賃 ¥700円
合計 ¥700円
 上記の様に領収致しました
 毎度ご乗車ありがとうございます
 上記金額正に
 領収致しました。
 (有) 都タクシー
 電話 (0197) 63-2200
 フリーダイヤル
 0120-003268
 北上市川岸2丁目8-19

森田 幸一様
 北上市役所 → 北上駅
領 収 証
 現・チ・ク・割引 No.9338
 日付 2022年 07月 19日
 車番 000611 0000
 基本運賃 ¥620円
合計 ¥620円
 上記の様に領収致しました
 毎度ご乗車ありがとうございます
 上記金額正に
 領収致しました。
 (有) 都タクシー
 電話 (0197) 63-2200
 フリーダイヤル
 0120-003268
 北上市川岸2丁目8-19

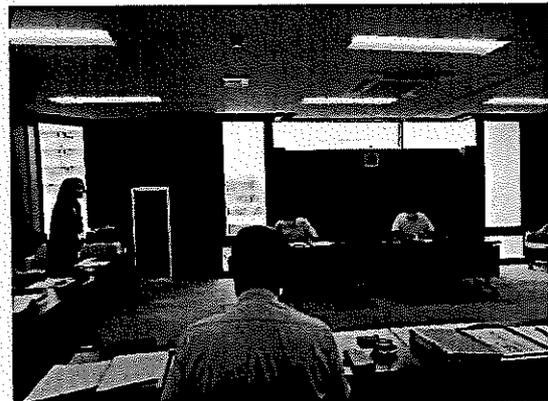
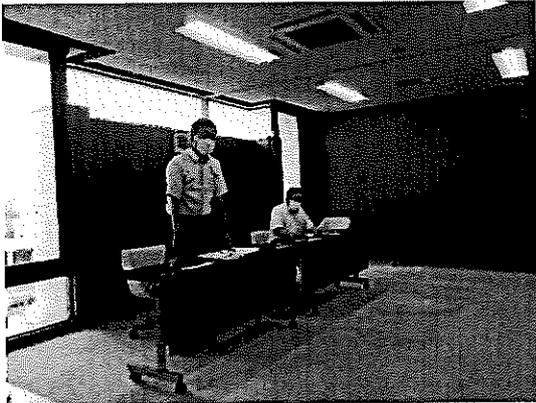
~~気仙沼市役所 → 気仙沼駅~~
 気仙沼駅 → ホテル
 森田 幸一様 No.7463
 日付 2022年 07月 19日
 車番 000312 0000
 基本運賃 ¥1,040円
合計 ¥1,040円
 上記の様に領収致しました
 毎度ご乗車
 ありがとうございます。
 忘れ物のお問い合わせ
 お気づきの点は、
 下記にご連絡下さい。
(株)気仙沼ハイタク
 気仙沼市松川前115
 TEL 0226(24)0026

~~気仙沼市役所 → 気仙沼駅~~
 森田 幸一様 **領 収 書**
 2022年 07月 20日 09:52
 車両番号 0332
 運賃 ¥1490円
合計 ¥1490円
立替 円
 (有)ししおり・きはんせんタクシー
 気仙沼市南町4-2-29
 ☎ 0226-22-1234

※ ならないように貼り付けること。

視察報告書

1. 日 時：令和4年7月19日（火）午後3時～午後4時半
2. 視 察 先：北上市役所
3. 調査項目：北上市における大学等高等教育機関設置検討の経緯について
当市での公立大学等設置の可能性について
4. 参加議員：森園秀一議員、間盛仁議員
5. 対 応 者：北上市議会事務局長 小原昌江氏
企画部 政策企画課長 金田明氏
企画部政策企画課 政策マーケティング係長 坂田信彦氏
企画部政策企画課 主任 高橋智央氏



北上市議会事務局長 小原昌江氏歓迎の挨拶

6. 北上市概要

(1) 位置等

北上市は北上盆地のほぼ中央に位置し、北上川と和賀川が合流する肥沃な土地に美しい田園地帯が広がっている。豊かな自然に恵まれ、西に奥羽山脈、東に北上山地の美しい山々が連なり、国道4号線、JR東北本線の南北幹線と、国道107号線、JR北上線の東西幹線が交差して旧来の市の骨格がつくれ、古くから交通の要衝として栄えてきた。現在では東北新幹線、東北縦貫自動車道、東北横断自動車道釜石秋田線などの高速交通体系も整備され、「北東北の十字路口」として交通の利便性がますます高まっている。現在の北上市は、平成3年4月1日に旧北上市、和賀町、江釣子村が3市町村合併し、誕生。令和3年に市制施行30周年を迎えた。

(2) 人口等

人口：92,158人 世帯数：40,639世帯（令和4年6月末現在）

(3) 産業等

農業産出額、製造品出荷額とも県下有数で、農業と工業のバランスのとれた活気ある都市。観光地としても注目を集めており、桜の名所「展勝地」、北上・みちのく芸能まつり、更には、県内最大級のスキー場、キャンプ場などのアウトドア施設も充実している。

(4) 市政の動き

令和2年度にまちづくりの将来像を「“うきうき”“わくわく”するまち北上」と制定。江戸時代の盛岡藩、仙台藩の境界に位置する藩境のまちとして「誰にでもオープンな文化」、企業誘致などを先駆ける「前にすすみ続けるまち」、その力を体現した「KitaComing! 北上市」を合言葉に、市民と共に“うきうき”“わくわく”するまちを目指している、活気ある都市である。

7. 調査事項

北上市の4年制大学設置について

- 高等教育機関設置のための調査研究の背景
- 大学を取り巻く状況
- 岩手県の進学就職状況
- 北上市における大学設置の検討

8. 調査目的

大学等の高等教育機関は、地域の人材を育成し、地域経済・社会を支える基盤である。そして地方は、人口減少、産業構造の変化、グローバル化、そして東京一極集中から遠隔分散への転換といった動きの中で、それぞれの地域に必要な質の高い高等教育機関の確保と人材の育成がこれまで以上に重要である。

しかしながら、18歳人口の減少、都市部への学生集中の現状を踏まえると、既存大学等との差別化なども必要であるが、大学設置認可や財政負担など、実現するにはかなりハードルが高い中、北上市における新規に高等教育機関を設置検討に至る経緯等を視察研修し、当市に設置されている高等教育機関をより生かすための方向を探るために調査した。

9. 調査内容

(1) 北上市への大学等高等教育機関設置に至る経緯

- ・北上市は、製造業を中心とした東北有数のものづくり都市を形成し、企業集積による雇用の創出が域内の人口増加や所得の向上等に寄与し、市の発展の礎になってきた。
- ・他方で高校卒業時の進学や就職に伴う若年層の人口流出、生産年齢人口の減少等に起因するものづくりを担う人材や医療、看護従事者の人材不足といった、地方都市が抱える構造的な問題も依然として存在している。
- ・これらの問題を解決する手段として大学等高等教育機関の設置を掲げ、大学等設置の必要性や得られる効果など本市における大学等高等教育機関の在り方を調査研究するために設置。
- ・昨年度、近未来政策研究所（庁内）が「北上市への大学等設置のあり方に関する研究」において、次の

報告をしている。

○地域の成長を促すエンジンとして、大学の効果は多方面に波及する。

○総合計画の実現において、大学の研究成果や立地影響が、行政施策と連動することで、地域の成長を牽引する起爆剤としての役割が期待される。

○高校卒業者の定着・流入の好循環が生み出す役割が期待される。

・これらを踏まえ、まちづくりの次の一手なるものと考えられ、具体的な検討を進めるに値する。

・今年度、「北上市への大学等高等教育機関設置のあり方に関する研究」を踏まえ、大学設置等に向けた検討を深める必要がある。結果、令和4年6月大学等設置可能性調査事業費を補正予算に計上。

(2) 高等教育機関設置による北上市への経済等の効果と課題について

・大学設置の効果は、大学の持つ専門的研究やシンクタンク機能に加え、地域企業への労働力の提供や研究開発力の向上といった人材育成面のメリットや、学生等交流人口の増加によるまちの賑わいの創出に至るまで、地域、行政面に幅広く多岐にわたり、地域の成長を促すエンジンとして大学の効果は多方面に波及する。

課題は以下のとおりである。

○大学設置にかかる市の政策的意図の明確化

目指す大学のコンセプトや運営手腕の検討を行い、合わせて企業経営者層を対象としたデマンド調査を実施し、「北上ならでは」の大学の青写真を描く。

○大学設置等に向けた検討組織体制の構築

・具体的な検討を進めるにあたり、次の通り検討組織を設置。

○内部検討→大学等開設検討本部

○外部準備→大学等開設検討準備会（外部有識者含む）

・18歳人口の減少、都市部への学生集中の現状を踏まえると、既存大学等との差別化が必要であるが、大学設置許可や財政負担などハードルが高い。

・しかしながら、産業の集積、20代後半を中心とした転入層、都市部からの流行なアクセス環境など住みよさが評価される北上市は、大学の立地や学生、研究者の生活を可能とする都市のポテンシャルを有すると思料される。

(3) 大学設置を進める中で、今後どのような人材育成を検討されるのか。

・AI、IoT等の技術革新や人口減少による産業構造等の社会変化を踏まえつつ、東北をリードする産業集積地域として、ICTの導入等による生産活動の省力化と付加価値向上を同時に狙った取り組みが重要。

・そういった中で、新たな産業政策を下支えし、付加価値を生み出す人材をいかに育成していくか、といった視点がキーワードとなり、地域の産業にイノベーションを起こす人材の育成を可能とする大学の設置は必定である。

・2030年のIT人材の不足数を国は79万人と試算しており、地方においても情報技術系に対する人材ニーズは今後ますます高まってくることが予想される。

(4) どのような学校の設置を検討されるのか。

・学校種別

○専門職大学

産業集積を生かして、多くの雇用を生み出してきた背景と人口減少により18歳主義に拘らず、社会人入学も視野に入れた職業人材の育成。

○公立大学

制度の趣旨や自治体が設置・運営管理するという性格・社会的信頼から地域での高等教育機会の提供や教育研究の質向上が期待できる。一般的に私立大学よりも低廉な学生納付金等からも、長期的に安定した学生の確保が可能。

○国立大学・私立大学

実現性や開設までの準備等を考慮すれば学部学科、サテライトの誘致が現実的。育成する人材像等で市の意向を反映しにくい。大学との連携協定に基づいて進めるケースが多い。

○大学院大学

制度上は履修の全てをオンラインで行うことが可能。オンライン授業を活用できれば毎日の通学を伴わず履修場所も限定されないため、企業等に在職したまま入学を希望する社会人や、遠隔地に居住する入学希望者等をターゲットとした学生確保に大きなメリットがある。

(5) 大学設置（誘致）に関する他自治体（近隣3市）や地元企業との関わりについて

- ・地元企業とは、産業展や雇用、また、商工会議所等を通じ、これまでも人材育成や企業誘致等で関係してきている。そういった中での今回の可能性調査事業の実施。
- ・現在、大学設置に関しては、単独事業として検討している。

10. 質問事項と回答

Q 公立大学設置経費について

- A
- ・校舎新設、北上コンピューターアカデミー施設の増改築、他大学の事例（三条市立大学）、閉校学校校舎の増改築など4つの設置計画の検討をしている。
 - ・他大学の場合、総事業費81億3,000万円。内訳は、社総交15億円、起債42億円、寄付8億円、一般財源16億円。
 - ・他の3つでは、新設35億4,460万円、北上アカデミー増改築29億3,000万円、閉校学校増改築26億7,100万円。

*校舎等総面積 9,085㎡、収容定員400名

Q 大学設置とまちづくりを一体化することは考えていないか。

- A
- 設置場所も含め、大切な検討事案であるので、中心市街地等に場所を探したが、候補地が残念ながら見つかっていない。

Q 大学設置の効果について

- A
- 市内に大学を設置した場合、当該大学が1年間に市内にもたらす経済波及効果は、最大で約67億円と見込まれる。産業別では、大学施設の新築に伴う建設業や製造業、飲食サービス業などの個人向けサービス業、アパート賃貸による不動産業などへの波及効果がもたらされると推測。

1 1. 所感

市長の政治公約から市庁内研究会で検討を重ね、今年度の補正予算で調査費を計上し、地方の産業都市の抱える課題克服のために、スピード感をもって取り組まれていることがうかがえると共に、地域産業に寄り添う理系大学の設置に取り組む意向である。

大学設置に関しては、有利な財源が確保できれば、市立大学の設置を目指していくのだろうと推測される。

一方、市立大学の設置に向けた認可のハードルや事務負担、また、校舎建設費等の財政負担を考えると、大学（全学以外）の誘致が現実的ではあるが、育成する人材等、市の政策実現や求める人材像など市の主体的な参画が難しくなるとのことである。

大学の形態・規模の決定には、財政状況や他の施策とのバランスを考慮しながら、行政だけの課題と捉えずに地域との約束事まで昇華できるか、これが大切とのことである。

当市には、高等教育機関として国立高専、私立大学が文系、理系また、短大もあり、地域の産業を支える人材をバランスよく育成されてこられた。

しかしながら、当市においても他の地方都市と同様、若年層の人口流出、生産年齢人口の減少等に起因する地方都市が抱える構造的な問題が存在している。

特に、私立大学においては、生徒の確保という大きな課題もある。

私立大学は当市の大切な高等教育機関であり、私立大学の課題と考えず、市と共有していくことが大切であると考える。私見としては、理系、文系、短大とバランスが良いことから、一つの大学を中心とした産学官連携を深め、所得の向上や雇用の増加といった地域経済の発展と住みやすいまちの形成を進め、本市を中心とした圏域人口の維持や増加に繋げていければと考える。

視察報告書

1. 日 時：令和4年7月20日（水）午前7時～8時
2. 視 察 先：気仙沼漁業協同組合
3. 視察項目：気仙沼港の高度衛生管理型魚市場の現状
4. 参加議員：森園秀一議員、間盛仁議員
5. 対 応 者：気仙沼漁業協同組合代表理事組合長 齋藤徹夫氏
気仙沼漁業協同組合代表理事専務兼営業本部長 金崎亮氏
気仙沼漁業協同組合参事 白井靖氏
株式会社泰興商事取締役社長 町田健司氏
6. 概要説明
 - (1) 気仙沼漁港
宮城県の北東部に位置し、港口にある大島が防波堤の役目を担い、波静かな天然の良港である。黒潮と親潮が交差する三陸漁場を抱え、豊富な魚介類が漁獲される。2011年、東日本大震災により壊滅的な被害を受けたが、当市と同じく、水産庁により認定された高度衛生管理対応型の新しい施設として2019年3月に整備された。
 - (2) 気仙沼地域
16世紀後半には漁業が営まれ、江戸末期にはカツオ・マグロ・イカ漁業が中心に行なわれていた地域。昭和44年に特定第三種漁港に指定。以来、遠洋・沖合漁業、特にカツオ、マグロ漁業の拠点地として発展。
 - (3) 気仙沼の水産業
生鮮カツオの水揚げは全国1位。また、中華料理に利用されるフカヒレの原料のサメの水揚げは全国総水揚げの7割を占めている。マグロ延縄等で漁獲される「メカジキ」は、ブランド化に取り組んでおり、この他にも多くの魚介類が通年水揚げされている。水揚げされた魚介類は鮮魚出荷されるほか、背後地の水産加工団地で加工され全国に向けて供給しており、水産業は基幹産業として市経済の重要な地位を占めている。
7. 調査事項：市開設の卸売市場の運営について
8. 調査目的：気仙沼魚市場の漁船誘致やスマート水産業の現在の取組について調査し、年々水揚げが減少している八戸市魚市場の今後の市場運営の参考とする。
9. 調査内容：気仙沼漁業協同組合の代表理事専務兼営業本部長 金崎亮氏、同協同組合参事 白井靖氏、(株)泰興商事取締役社長 町田健司氏と共に市場内見学と事務所内での座学

10. 主な質問事項

Q 気仙沼漁業協同組合の運営の特徴について

A 経営については、専門性を持つ外部人材を受け入れ、卸売魚市場に専従している。
また、積極的にICT等を活用している。

Q 近年の水揚げ増加の要因は何か。

A 水産業の近代化のためにスマート水産業の推進を図り、鮮魚のブランド化等により漁船誘致を図っていることが要因。

A 魚市場施設の供用による運営経費負担について

Q 施設・設備の維持管理費は、開設者が負担。

卸売業務に係る施設等の電気・水道料金及び卸売場を除く下水道料金は卸売市場が負担。

水揚げ岸壁使用料は50%づつ折半。

場内船舶給水は50%づつ折半。

Q 今後の鮮魚の気仙沼ブランドの展望について

A トレーサビリティ導入の実証実験などを目指しながら、また観光面に配慮した施設を更に活用。

11. 所感

水揚げの減少が続いている八戸市魚市場の運営に危機感を持ち、近年、水揚げ量を増やしている気仙沼魚市場の現状と取組について、現地視察を行いながら説明を受けた。

開設者、卸売業者、生産者、買受人、漁港管理者等で「地方卸売市場気仙沼魚市場衛生管理推進協議会」を設置し、これまで優良衛生品質管理市場認定を目指し取り組んでこられた。

手書きしたものを機械に読み込ませるOCRによる電子入札は、2004年には取り入れていた。電子入札システム導入には多額の経費がかかるが、魚市場の開設者である気仙沼市が半額を負担し導入に踏み切ることができたようである。システム導入の効果は、入札時間の短縮だけではなく、手書きによる数値の誤読や誤字、パソコンへのデータ入力等、時間だけでは推し量れない現場のストレスなどの改善や入札に付随する煩雑な業務の省力化につながったとのことである。

高齢者の買受人も多い中でアナログの慣習をデジタルに移行する取組は、システムを導入した(株)SJC様が買受人からの視点を心掛けてシステム開発され、現場の高齢化への対応や効率化を手探りの状態で始めたようである。

入札を早くしても適正な価格がつかないと意味がないため、フォークリフトの応用で、どの船が何の魚をどのくらい取ってきたのかという準備(下付け)の効率化を図れないか検討され、また、魚の種類が豊富なため、ブランド化などはまだまだ課題は多く、作業の効率化・省力化を図る中で、結果的にICT化で気仙沼ブランド化が可能になることを模索しているとのことである。

また、海外に輸出することを想定し、2018年には水揚げされたカツオやピンナガマグロを対象に、トレーサビリティの実証実験をされたようであるが、現状では気仙沼で水揚げしたものしか証明書を出せないため、各漁港で同じようなシステム導入が求められており、各漁港で取組が進んでいるようである。

これまで水産業は、比較的アナログな現場と考えられていたが、効率化・省力化を図ることで別のことに目を向けることが可能になる。

多くの魚が卸売魚市場により集まるようになるためには、水揚げから始まる水産物の流通経路の最上流に位置する卸売魚市場で、どこでとれた魚がどういう経路で販売されているか、そして生産の現場で求められる水産業のデータの連携を進めるスマート水産業等を総合的に俯瞰した経営体制が必要であると考え。水産都市八戸の再興のために、市場開設者である市と卸売魚市場との連携の必要性を強く感じた。

12. 視察写真



(左上一人置いて) 左より気仙沼漁業協同組合、
金崎本部長、白井参事、(株)泰興商事町田社長



入札後のメカジキ



活魚出荷の状況



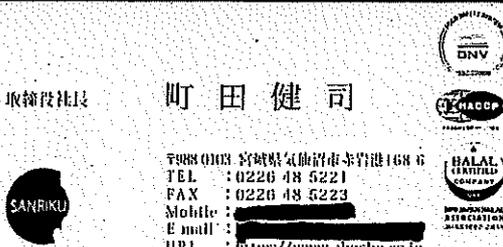
気仙沼漁協の様子

13. 名刺


 地方卸売市場気仙沼市魚市場卸売業者
気仙沼漁業協同組合
 代表理事組合長 **齋藤 徹夫**
 気仙沼市魚市場前8番25号
 TEL(0226)23-3400(内)
 FAX(0226)23-3406


 地方卸売市場気仙沼市魚市場卸売業者
気仙沼漁業協同組合
 代表理事専務
 兼営業本部長 **金崎 亮**
 気仙沼市魚市場前8番25号
 TEL(0226)23-3400(内)
 FAX(0226)23-3406
 E-mail: [REDACTED]


 地方卸売市場気仙沼市魚市場卸売業者
気仙沼漁業協同組合
 参事 **白井 靖**
 気仙沼市魚市場前8番25号
 総務・経理 TEL(0226)23-3400(内)
 FAX(0226)23-3406
 魚市場 FAX(0226)24-4177
 E-mail: [REDACTED]

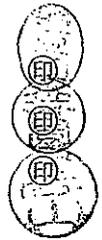
株式会社 泰興商事
ABECHO GROUP
 取締役社長 **町田 健司**
 〒988-0103 宮城県気仙沼市本宮港168-6
 TEL : 0226 48 5221
 FAX : 0226 48 5223
 Mobile : [REDACTED]
 E-mail : [REDACTED]
 URL : <https://www.abecho.co.jp>


第3号様式（第6条、第8条関係）

令和4年7月12日

会派名 自由民主・市民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 豊田美好
森園秀一
高山元延



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 豊田美好議員 森園秀一議員
高山元延議員
- 2 期間 令和4年8月1日（月）～ 令和4年8月3日（水）
（豊田議員、高山議員）
令和4年8月2日（火）～ 令和4年8月3日（水）
（森園議員）
- 3 場所 福井県小浜市（豊田議員、高山議員）
鳥取県岩美町（豊田議員、高山議員、森園議員）
- 4 目的及び内容 福井県小浜市 ふくい水産振興センター
・「鯖、復活」養殖効率化プロジェクトについて
鳥取県岩美町 鳥取県岩美町陸上養殖センター
・つくり育てる漁業について（お嬢サバの養殖事業）
- 5 支出可能額（上限額） 323,880円
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎						
行	日	時刻	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考		
行	8/1	本八戸駅発 8:45	早見表						
	8/1	小浜駅着 16:54							
帰	8/3	岩美駅発 12:22							
	8/3	本八戸駅着 21:29							
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃	1,185.4k	14,080	14,080	本八戸→小浜		
				196.9k	3,740	3,740	小浜→岩美		
				1,362.5k	15,620	15,620	岩美→本八戸 (姫路経由)		
				56.1k	1,320	1,320	智頭→上郡		
			急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京	631.9k
					1	4,620	4,620	東京→米原	445.9k
					1	380	380	米原→敦賀	45.9k
					1	990	990	綾部→豊岡	63.5k
					1	1,300	1,300	鳥取→姫路	69.9k
					1	5,920	5,920	姫路→東京	644.3k
					1	530	530	(智頭⇒上郡)	56.1k
			料 金	急	2	5,600	11,200	八戸⇄東京	631.9k
					1	5,400	5,400	東京→米原	445.9k
					1	1,300	1,300	米原→敦賀	45.9k
					1	1,300	1,300	綾部→豊岡	63.5k
					1	600	600	鳥取→姫路	69.9k
					1	6,600	6,600	姫路→東京	644.3k
					1	530	530	(智頭→上郡)	56.1k
			航空運賃						
			バス運賃						
			宿泊料		2	12,500	25,000	8/1 小浜市泊 8/2 岩美町泊	
			旅行雑費						
			小 計						112,970
合 計 (小計×人数)						225,940	2人		

自由民主・市民クラブ視察行程

日程：令和4年8月1日（月）～8月3日（水）

視察先：福井県小浜市、鳥取県岩美町

（豊田議員・高山議員）

月日	行程	宿泊地
8月1日 (月)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">移動日</div> <p>8:45発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → (はやぶさ14号) → 東京 → (ひかり643号) → 米原 → (特急しらさぎ9号) 12:08着/12:33発</p> <p>8:55着/9:05発 14:47着/14:56発</p> <p>15:24着/15:48発 敦賀 → (JR小浜線) → 小浜 16:54着</p>	小浜市泊
8月2日 (火)	<p>小浜市視察※ふくい水産振興センター（9:50～12:00）住所：福井県小浜市泊26号松ノ前4-3（0770-52-1601） ・「鯖、復活」養殖効率化プロジェクトについて</p> <p>9:20発 ホテル → (タクシー20分) → ふくい水産振興センター → (タクシー) → 小浜 → (JR小浜線) → 東舞鶴 → 13:16着/13:23発</p> <p>12:30発 13:54着/14:31発 (JR舞鶴線) → 綾部 → (特急きのさき7号) → 豊岡 → (JR山陰本線) → 岩美 → (タクシー) → ホテル 15:39着/16:07発 18:09着</p>	岩美町泊
8月3日 (水)	<p>岩美町視察（9:00～11:00）※鳥取県岩美町陸上養殖センター 住所：鳥取県岩美町大谷2182-484 ・つくり育てる漁業について（お嬢サバの養殖事業）</p> <p>9:00～11:00 12:22発 ホテル → (タクシー) → 鳥取県岩美町陸上養殖センター → (タクシー) → 岩美 → (JR山陰本線) →</p> <p>12:48着/12:54発 14:24着/15:53発 17:54着/18:20発 21:08着/21:21発</p> <p>→ 鳥取 → (スーパーはくと8号) → 姫路 → (のぞみ112号) → 東京 → (はやぶさ41号) → 八戸</p> <p>21:29着 本八戸</p>	

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎							
行	日	時刻	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考			
行	8/2	本八戸駅発 6:43	早見表							
き	8/2	岩美駅着 16:46								
帰	8/3	岩美駅発 12:22								
	り	8/3		本八戸駅着 21:29						
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃	1,362.5k	15,620	28,100	岩美⇄本八戸			
				56.1k	1,320	1,320	智頭⇄上郡			
			急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k		
					2	5,920	11,840	東京⇄姫路 644.3k		
					2	600	1,200	姫路⇄鳥取 69.9k		
					2	530	1,060	上郡⇄那頭 56.1k		
			料 金	急	2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k		
					2	6,600	13,200	東京⇄姫路 644.3k		
					2	1,300	2,600	姫路⇄鳥取 69.9k		
					2	530	1,060	上郡⇄那頭 56.1k		
			航空運賃							
			バス運賃							
			宿泊料		1	12,500	25,000	8/2 岩美町泊		
			旅行雑費							
			小 計						97,940	
			合 計 (小計×人数)						97,940	1人

自由民主・市民クラブ視察行程

日程：令和4年8月2日（火）～8月3日（水）

視察先：鳥取県岩美町

（森園議員）

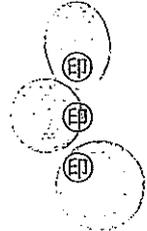
月日	行程	宿泊地
8月2日 （火）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 移動日 </div> 6:43発 本八戸 → (JR八戸線) → 6:52着/7:17発 八戸 → (はやぶさ8号) → 10:32着/10:51発 東京 → (のぞみ87号) → 13:51着/14:20発 姫路 → 15:52着/16:21着 鳥取 → (山陰本線) → 16:46着 岩美	岩美町泊
8月3日 （水）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 岩美町視察（9:00～11:00）※鳥取県岩美町陸上養殖センター 住所：鳥取県岩美町大谷2182-484 ・つくり育てる漁業について（お嬢サバの養殖事業） </div> 9:00～11:00 ホテル → (タクシー) → 鳥取県岩美町陸上養殖センター → (タクシー) → 12:22発 岩美 → (JR山陰本線) → 12:48着 鳥取 12:48着/12:54発 鳥取 → (スーパーはくと8号) → 14:24着/15:53発 姫路 → (のぞみ112号) → 17:54着/18:20発 東京 → (はやぶさ41号) → 21:08着/21:21発 八戸 21:29着 本八戸	

令和4年8月24日

6

会派名 自由民主・市民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 豊田美好
森園秀一
高山元延



調査視察等報告書

令和4年7月12日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 豊田美好議員 森園秀一議員
高山元延議員
- 2 期間 令和4年8月1日（月）～ 令和4年8月3日（水）
（豊田議員、高山議員）
令和4年8月2日（火）～ 令和4年8月3日（水）
（森園議員）
- 3 場所 福井県小浜市（豊田議員、高山議員）
鳥取県岩美町（豊田議員、高山議員、森園議員）
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 314,770円（JR、航空券、宿泊費）
14,480円（タクシー代 ※比較対象外）
- 6 概要 別紙のとおり

自由民主・市民クラブ視察行程

日程：令和4年8月1日（月）～8月3日（水）

視察先：福井県小浜市、鳥取県岩美町

（豊田議員、高山議員）

月日	行程	宿泊地
8月1日 (月)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">移動日</div> <p>8:45発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → (はやぶさ14号) → 東京 → (ひかり643号) → 米原 →</p> <p>8:55着/9:05発 12:08着/12:33発 14:47着/14:56発</p> <p>15:24着/15:48発 (特急し5さき9号) → 敦賀 → (JR小浜線) → 小浜 16:54着</p>	小浜市泊
8月2日 (火)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 小浜市視察（9:50～12:00） 視察場所：ふくい水産振興センター（福井県小浜市泊26号松ノ前4-3、0770-52-1601） ・「鯖、復活」養殖効率化プロジェクトについて </div> <p>9:20発 ホテル → (タクシー※20分) → 小浜 → (JR小浜線) → 東舞鶴 →</p> <p>9:50～12:00 ふくい水産振興センター → (タクシー) → 小浜 → (JR小浜線) → 東舞鶴 →</p> <p>12:30発 13:16着/13:23発</p> <p>13:54着/14:31発 (JR舞鶴線) → 綾部 → (特急きのさき7号) → 豊岡 → (JR山陰本線) → 鳥取 → (タクシー) → ホテル</p> <p>15:39着/16:07発 18:35着</p>	鳥取市泊
8月3日 (水)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 岩美町視察（9:00～11:00）※鳥取県岩美町陸上養殖センター 住所：鳥取県岩美町大谷2182-484 ・つくり育てる漁業について（お嬢サバの養殖事業） </div> <p>8:06発 ホテル → (タクシー) → 鳥取県岩美町陸上養殖センター →</p> <p>8:31着 9:00～11:00</p> <p>12:22発 (タクシー) → 岩美 → (JR山陰本線) → 鳥取 → (徒歩) → 鳥取駅前 → (連絡バス)</p> <p>12:48着 13:55発</p> <p>14:15着/15:15発 → 鳥取空港 → (ANA298便) → 羽田空港第2T → (東京モノレール) → 浜松町 → (JR京浜東北線) →</p> <p>16:30着/16:58発 17:23着/17:27発</p> <p>17:34着/18:20発 → 東京 → (はやぶさ41号) → 八戸 21:08着</p>	

自由民主・市民クラブ視察行程

日程：令和4年8月2日（火）～8月3日（水）

視察先：鳥取県岩美町

（森園議員）

月日	行程	宿泊地
8月2日 （火）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 移動日 </div> 8:05発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 三沢空港前 → (徒歩) → 三沢空港 → (JAL152) → 11:10着/13:15発 羽田空港第1T・第2T → (ANA295便) → 鳥取空港 → (連絡バス) → 鳥取駅前 → (徒歩) → ホテル 9:00着/9:02発 9:04着/9:45発 14:30着/14:50発 15:10着/15:15発 15:30着	鳥取市泊
8月3日 （水）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 岩美町視察（9:00～11:00）※鳥取県岩美町陸上養殖センター 住所：鳥取県岩美町大谷2182-484 ・つくり育てる漁業について（お嬢サバの養殖事業） </div> 8:06発 ホテル → (タクシー) → 鳥取県岩美町陸上養殖センター → 12:22発 (タクシー) → 岩美 → (JR山陰本線) → 鳥取 → (徒歩) → 鳥取駅前 → 14:15着/15:15発 (連絡バス) → 鳥取空港 → (ANA298便) → 羽田空港第1T・第2T → (JAL159) → 三沢空港 → 18:53着/19:00発 (徒歩) → 三沢空港前 → 本八戸駅前 8:31着 9:00～11:00 12:48着 13:55発 16:30着/17:25発 18:40着/18:50発	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅 費	整理番号	2 - 1
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

2022年 7月 8日

認 好 様

金29,750円

ただし、乗車券類代 (クレジットカードによるご利用分) として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

8/17 17日 14時

東日本旅客鉄道株式会社
本八戸801 No.000010



領 収 証

2022年 7月 8日

豊 田 美 好 様

金50,540円

ただし、乗車券類代 (クレジットカードによるご利用分) として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
本八戸801 No.000009



旅費の支出額が上限額を超えたため、上限額112,970円を計上

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	2-1
領収書等貼付欄					

5万円未満	非課税
100万円以下	200円
200万円以下	400円
300万円以下	600円
500万円以下	1千円
1,000万円以下	2千円

領収証

No 050673

令和4年7月12日

豊田 美好 様

金額		百		千		円
	¥	2	7	7	7	0

但し 航空券代として

鳥取→東京

消費税 10 % 2525 円含む

上記の通り領収致しました。

現金	
小切手	
振込入金	
クレジット	✓
相殺	



三八五観光株式会社



本社 〒031-0086 青森県八戸市八日町2 総務部 ☎(0178)45-5429
 保険部 ☎(0178)44-8185
 営業部(団体) ☎(0178)44-8181
 営業部(カウンター) ☎(0178)43-8311
 三沢空港営業所 〒033-0022 三沢市大字三沢字下夕沢83の198 ☎(0176)53-7111
 十和田支店 〒034-0031 十和田市東三番町3の18 ☎(0176)23-8282
 むつ支店 〒035-0071 むつ市小川町二丁目3の32 ☎(0175)22-1188
 盛岡支店 〒020-0767 岩手県滝沢市大釜中道76 ☎(019)656-1385

※社印扱者印の無いもの、金額の訂正、並びに、複写で無いものは無効。

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	2-1
----	-------	----	----	------	-----

1/1

ご利用明細書
Description

お名前
Guest Name 豊田 美好 様



客室番号
Room No. 401

泊数
Night/s 1

人数
Person/s 1

ホテルアーバンポート
〒917-0051
福井県小浜市小浜白鳥72-1
Tel 0770-53-2001
URL <http://www.urban-port.jp/>

ご到着日
Arrival 2022/08/01

ご出発日
Departure 2022/08/02

No.	ご利用日 Date	摘要/項目 (Reference)	単価 Price	消費税 Tax	数量 Qty	ご利用金額 Charge	お預り金額 Credit
1	2022/08/01	1泊朝食付Bs-use	¥8,800	10%	1	¥8,800	

各ご利用項目の料金には消費税が含まれております。
宿泊税等が加算される場合には別途記載をいたしております。

注)※は軽減税率(8%)対象商品

ご請求金額 Balance Due ¥8,800

(10%)対象	¥8,000	消費税	¥800
合計(税抜)	¥8,000	消費税	¥800
ご利用金額(税込)	Total Charge*Tax Included		¥8,800

発行
Published by [Redacted]
日付 2022年08月01日 No. 20220801-3986

領収証 Receipt

日付 2022年08月01日 No. 20220801-3986

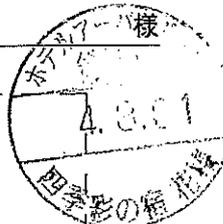
ご芳名
Guest Name 豊田 美好

金額 : ¥8,800

内税 : ¥800
Sales Tax&Hotel Tax

上記金額を正に領取いたしました(消費税を含みます)

但し



ホテルアーバンポート
〒917-0051
福井県小浜市小浜白鳥72-1
Tel 0770-53-2001
URL <http://www.urban-port.jp/>

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	2-1
領収書等貼付欄					

5万円未満	非課税
100万円以下	200円
200万円以下	400円
300万円以下	600円
500万円以下	1千円
1,000万円以下	2千円

領 収 証

No. 051412

令和 4 年 8 月 1 日

豊田美好 様

金額		百		千		円
				7	9	50

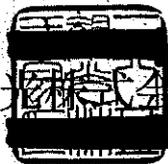
但し 8% 視察旅行費用 (消費税) 217
 (税込 消費税 10% 850円含む)

現金	✓
小切手	
振込入金	
クレジット	
相殺	

上記の通り領収致しました。



三八五観光株式会社



扱者印



本 社 〒031-0086 青森県八戸市八日町2 総 務 部 ☎(0178)45-5429
 保 険 部 ☎(0178)44-8185
 営業部(団 体) ☎(0178)44-8181
 営業部(カウンター) ☎(0178)43-8311
 三沢空港営業所 〒033-0022 三沢市大字三沢字下夕沢 83 の 198 ☎(0176)53-7111
 十和田支店 〒034-0031 十和田市東三番町3の18 ☎(0176)23-8282
 むつ支店 〒035-0071 むつ市小川町二丁目3の32 ☎(0175)22-1188
 盛岡支店 〒020-0767 岩手県滝沢市大釜中道 76 ☎(019)656-1385

※社印扱者印の無いもの、金額の訂正、並びに、複写で無いものは無効。

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	2-2
----	-------	----	----	------	-----



領 収 証

№ 051415

令和 4 年 8 月 / 日

高山元延 様

金額	百	千	円
		495060	

但し 8/1~3 視察旅行費用 (内消費税10% 8.642円含む)

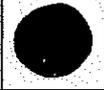
上記の通り領収致しました。

現金	✓
小切手	
振込入金	
クレジット	
相 殺	



三八五観光株式会社

扱者印



本 社 〒031-0086 青森県八戸市八日町2 総 務 部 ☎(0178)45-5429
 保 険 部 ☎(0178)44-8185
 営業部(団 体) ☎(0178)44-8181
 営業部(カウンター) ☎(0178)43-8311

三沢空港営業所 〒033-0022 三沢市大字三沢字下夕沢83の198 ☎(0176)53-7111
 十和田支店 〒034-0031 十和田市東三番町3の18 ☎(0176)23-8282
 むつ支店 〒035-0071 むつ市小川町二丁目3の32 ☎(0175)22-1188
 盛岡支店 〒020-0767 岩手県滝沢市大釜中道76 ☎(019)656-1385

※社印扱者印の無いもの、金額の訂正、並びに、複写で無いものは無効。

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	2-2
----	-------	----	----	------	-----

ご利用明細書
Description

お名前
Guest Name 高山 元延 様



客室番号
Room No. 402

泊数
Night/s 1

人数
Person/s 1

ホテルアーバンポート
〒917-0051
福井県小浜市小浜白鳥72-1
Tel 0770-53-2001
URL <http://www.urban-port.jp/>

ご到着日
Arrival 2022/08/01

ご出発日
Departure 2022/08/02

No.	ご利用日 Date	摘要/項目 Reference	単価 Price	消費税 Tax	数量 Q'ty	ご利用金額 Charge	お預り金額 Credit
1	2022/08/01	1泊朝食付Bs-use	¥8,800	10%	1	¥8,800	

各ご利用項目の料金には消費税が含まれております。
宿泊税等が加算される場合には別途記載をいたしております。

注)※は軽減税率(6%)対象商品

ご請求金額 Balance Due	¥8,800		
(10%)対象	¥8,000	消費税	¥800
合計(税抜)	¥8,000	消費税	¥800
ご利用金額(税込) Total Charge*Tax Included			¥8,800

発行
Published by [Redacted]
日付 2022年08月01日 No. 20220801-3988

領収証 Receipt

日付 2022年08月01日 No. 20220801-3988

ご芳名 高山 元延 様
Guest Name

金額 : ¥8,800
Amount

内税 : ¥800
Sales Tax&Hotel Tax

上記金額を正に領収いたしました(消費税を含みます)
但し



ホテルアーバンポート
〒917-0051
福井県小浜市小浜白鳥72-1
Tel 0770-53-2001
URL <http://www.urban-port.jp/>

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	2-3
領収書等貼付欄					

5万円未満	非課税
100万円以下	200円
200万円以下	400円
300万円以下	600円
500万円以下	1千円
1,000万円以下	2千円

領収証

No 050661

令和4年7月6日

森園 秀一 様

金額		百		千		円
	¥	5	4	8	4	0

但し 航空券代として

消費税 10 % 4,985 円含む

上記の通り領収致しました。

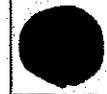
現金	
小切手	
振込入金	
クレジット	✓
相殺	



三八五観光株式会社



扱者印



本社 〒031-0086 青森県八戸市八日町2 総務部 ☎(0178)45-5429
 保険部 ☎(0178)44-8185
 営業部(団体) ☎(0178)44-8181
 営業部(カウンター) ☎(0178)43-8311
 三沢空港営業所 〒033-0022 三沢市大字三沢字下夕沢 83 の 198 ☎(0176)53-7111
 十和田支店 〒034-0031 十和田市東三番町3 の 18 ☎(0176)23-8282
 むつ支店 〒035-0071 むつ市小川町二丁目3 の 32 ☎(0175)22-1188
 盛岡支店 〒020-0767 岩手県滝沢市大釜中道 76 ☎(019)656-1385

※社印扱者印の無いもの、金額の訂正、並びに、複写で無いものは無効。

旅費の支出額が上限額を超えたため、上限額97,940円を計上

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	2-3
領収書等貼付欄					

5万円未満	非課税
100万円以下	200円
200万円以下	400円
300万円以下	600円
500万円以下	1千円
1,000万円以下	2千円

領収証

No 050660

令和4年7月6日

森園 秀一 様

金額		百		千		円
	¥	3	8	9	4	0

但し 航空券代として

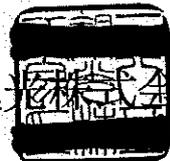
消費税 10% 3540 円含む

上記の通り領収致しました。

現金	
小切手	
振込入金	
クレジット	<input checked="" type="checkbox"/>
相殺	



三八五観光株式会社



扱者印



本社 〒031-0086 青森県八戸市八日町2 総務部 ☎(0178)45-5429
 保険部 ☎(0178)44-8185
 営業部(団体) ☎(0178)44-8181
 営業部(カウンター) ☎(0178)43-8311
 三沢空港営業所 〒033-0022 三沢市大字三沢字下夕沢83の198 ☎(0176)53-7111
 十和田支店 〒034-0031 十和田市東三番町3の18 ☎(0176)23-8282
 むつ支店 〒035-0071 むつ市小川町二丁目3の32 ☎(0175)22-1188
 盛岡支店 〒020-0767 岩手県滝沢市大釜中道76 ☎(019)656-1385

※社印扱者印の無いもの、金額の訂正、並びに、複写で無いものは無効。

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	2-3
領収書等貼付欄					

鳥取市

5万円未満	非課税
100万円以下	200円
200万円以下	400円
300万円以下	600円
500万円以下	1千円
1,000万円以下	2千円

領収証

No 051413

令和 4年 8月 / 日

森園 秀一 様

金額		百		千		円
				9	3	50

但し 8/2 視察旅行費用(宿泊費) ¥12
(内、消費税10% 850円含む)

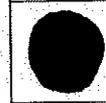
現金	✓
小切手	
振込入金	
クレジット	
相殺	

上記の通り領収致しました。



三八五観米株式会社

扱者印



本社 〒031-0086 青森県八戸市八日町2 総務部 ☎(0178)45-5429
 保険部 ☎(0178)44-8185
 営業部(団体) ☎(0178)44-8181
 営業部(カウンター) ☎(0178)43-8311
 三沢空港営業所 〒033-0022 三沢市大字三沢字下夕沢 83の198 ☎(0176)53-7111
 十和田支店 〒034-0031 十和田市東三番町3の18 ☎(0176)23-8282
 むつ支店 〒035-0071 むつ市小川町二丁目3の32 ☎(0175)22-1188
 盛岡支店 〒020-0767 岩手県滝沢市大釜中道 76 ☎(019)656-1385

※社印扱者印の無いもの、金額の訂正、並びに、複写で無いものは無効。

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	2-4
----	-------	----	----	------	-----

小浜駅 → 木ノ丸
 領収書
 高山元延様 No. 7252
 日付 2022年08月01日 16:59
 車番 007430 0000
 基本運賃 ¥670円
 合計 ¥670円
 上記の様に領収致しました
 毎度ご乗車
 ありがとうございます。
 大和交通株式会社
 福井県小浜市遠敷

木ノ丸 → 視察先
 領収書
 高山元延様 No. 0214
 日付 2022年08月02日 09:42
 車番 007360 1000
 基本運賃 ¥4,360円
 迎車料金 ¥110円
 合計 ¥4,470円
 上記の様に領収致しました
 毎度ご乗車
 ありがとうございます。
 大和交通株式会社
 福井県小浜市遠敷
 8丁目502-12
 TEL: 0770-56-3333
 FAX: 0770-56-1061

視察先 → 小浜駅
 領収書
 高山元延様 No. 0216
 日付 2022年08月02日 12:14
 車番 007360 1000
 基本運賃 ¥4,360円
 迎車料金 ¥110円
 合計 ¥4,470円
 上記の様に領収致しました
 毎度ご乗車
 ありがとうございます。
 大和交通株式会社
 福井県小浜市遠敷
 8丁目502-12
 TEL: 0770-56-3333
 FAX: 0770-56-1061

木ノ丸 → 視察先
 領収書
 2022年08月03日 高山元延様
 車両番号 0574
 運賃 ¥4870円
 合計 ¥4870円
 日ノ丸ハイヤー(株)
 鳥取県鳥取市古海601-8
 ☎ 0857-22-2121

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

養殖事業視察報告書

= 福井県小浜市・鳥取県岩美町の先進事例から学ぶ =

『八戸市の養殖事業のこれからを考える』

I	視察調査目的	1
II	調査内容	
①	福井県小浜市	
1	はじめに	3
2	研修内容	
	＜プロローグ＞	4
	＜「鯖・復活」プロジェクトの発足について＞	4
	＜小浜・よっばらいサバについて＞	4
	＜つくり育てる新たな取り組みについて＞	5
	＜養殖効率化プロジェクトについて＞	6
	＜鯖・復活プロジェクトの取り組み概要について＞	7
	＜今後の展開について＞	7
3	質問事項と回答	8
4	所 感	11
②	鳥取県岩美町	
1	はじめに	15
2	研修内容	
	＜プロローグ＞	16
	＜陸上養殖事業の概要について＞	17
	＜(株)タシマボーリングの田島大介氏紹介＞	19
	＜陸上養殖の事業内容について＞	19
3	所 感	21
III	総論	
	八戸市の養殖事業のこれからを考える	23

視察調査報告書

視察議員 豊田美好 高山元延 森園秀一 (②視察地より参加)

① 視察地 : ふくい水産振興センター
福井県小浜市泊 26 号松ノ前 4-3
視察日時 : 令和 4 年 8 月 2 日 9:50~12:00

② 視察地 : 鳥取県岩美町陸上養殖センター
鳥取県岩美町大谷 2182-484
視察日時 : 令和 4 年 8 月 3 日 9:00~11:00

I 視察調査目的

八戸漁港は、全国 2,914 漁港の中で特定第 3 種漁港として、水産業の振興の為には、特に重要であるとして、政令で認定された 13 漁港の 1 港である。

八戸市の水産業は、その特三漁港としての位置づけからも、港湾整備や魚市場はもとより、背後の加工施設及び冷凍冷蔵施設の充実化によって発展し、その漁獲量の増大化に伴い、当市の経済的基盤を押し上げてきた。

しかしながら、近年の日本国海域における、漁業資源の減少、また世界各国における漁業規制や我が国海域への進出、あるいは地球温暖化による海流、気象の変化等々によって、日本国内各漁港のみならず、八戸水産業への影響は深刻化の一途をたどっている。

その証左は、昭和 63 年の 81 万 9 千 t の水揚げ量をピークに、近年においては H28 年が 9 万 9 千 t、H30 年はかろうじて 10 万 t をクリアしての 10 万 8 千 t であった。

令和の時代に入ると、元年が 6 万 6 千 t、そして昨年 R3 年が 4 万 4 千 t であり、ピーク時に比較して、95% 減の、約 1/20 という現実であった。故に、漁獲量順位 12 位、水揚げ金額は 15 位と、ベストテンランキングから脱落し、八戸水産業の低迷下を如実に示すものだった。

このことから、熊谷八戸新市長は、八戸市また八戸漁港の今後を懸念され、公約として「水産業の未来を考える『八戸水産アカデミー』を設置し、また養殖事業等の「つくり育てる漁業」の推進に向けた研究会を立ち上げ、多様な水産資源の確保に努めたい」との構想を掲げられたのである。

その意味からにして、本年令和 4 年は、まさに「水産アカデミー元年」ともいうべき年であり、その第 1 歩として、本年 5 月 24 日第 1 回水産アカデミー研修会が開催された。

その根本理念は「八戸市の水産業における様々な課題についての協議・検討・専門家を招いての研修会の開催、つくり育てる漁業の推進に向けた養殖の研究など、水産業に対する知識の向上と今後の水産業のあり方について幅広く議論する場」とのことである。

熊谷市長は第1回水産アカデミー研修会終了後のインタビューで、こう述べられた。「これまでの常識にとらわれないような議論を展開していただきたい。そのことを期待している」と…。

まさに、従来からの八戸の良き時代の既成概念に拘束されることのない、新たなる発想と議論に基づく、新たなる水産業への展望なのである。

以上のことから、私達八戸市議会自由民主・市民クラブにおいては、熊谷市長の八戸市水産業への熱い想いと期待に添うべく、特に今まで、獲る漁業主体の八戸の漁業者間では見向きもされなかった「つくり育てる養殖漁業」の推進に向けて、先進事例を学習し、八戸市の漁業発展に寄与するべく、福井県小浜市（海上養殖）と鳥取県岩美町（陸上養殖）を視察調査するものである。

この両者は、養殖魚種においては「サバ」に特化した「つくり育てる漁業」であるからにして着目した次第である。

何故ならば、八戸市の主力漁獲はイカと並び「サバ」であり、「八戸前沖サバ」としてブランド化し、全国的にも流通促進している。

については、冒頭で述べた如く、「サバ」自体においても漁獲量減少の一途をたどっていることから、この養殖事業について、八戸の新たなる水産業の創出という視座から、調査学習することは、大きな意義があるものと認識し、視察するものである。

尚、今回の調査視察については、八戸市南浜漁業協同組合前組合長 深川修一氏及び八戸市職員である八戸水産事務所の「水産アカデミー」担当者2名も現地参加研修をした。まさに、政・官・民 三位一体の視察でもあった。

以下、小浜市と岩美町について、それぞれに報告する。

Ⅱ 調査内容

① 福井県小浜市

視察地	ふくい水産振興センター 福井県小浜市泊 26 号松ノ前 4-3		
視察日時	令和 4 年 8 月 2 日 9:50~12:00		
視察対応	小浜市産業部里山里海課 同 上 水産振興グループ 福井県水産試験場企画・先端研究室 同 上 小浜市議会事務局	課長 田井隆行 氏 GL 領家光章 氏 室長 領家一博 氏 主事 児玉敦也 氏 書記 石橋克浩 氏	

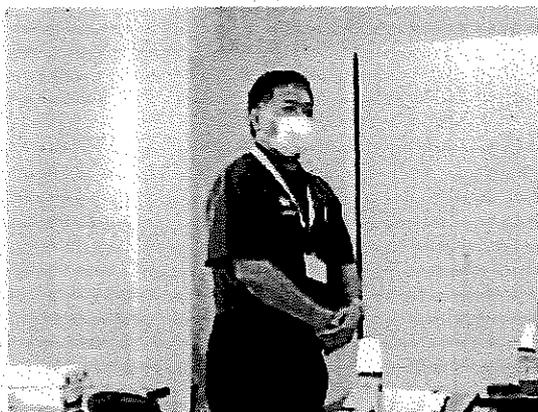
1 はじめに

予定より早く到着したことから、9時50分から開始となった。

まず初めに、小浜市産業部里山里海課課長 田井隆行氏から視察歓迎の御挨拶をいただいた。

その中で、平成 28 年からの「鯖・復活」プロジェクトの発足に関して、古来からの小浜市における食の歴史である京都との「鯖街道」を語られ、次いで八戸市での「前沖さば」についても触れられた。

続いて八戸市議会自由民主・市民クラブ 豊田美好議員より視察調査を快く引き受けていただいたことへの感謝、御礼の言葉を述べ、当八戸市の近年の水産業の現状と「つくり育てる」養殖事業への熊谷八戸新市長の想いを披瀝されたのである。



田井 隆行 氏



豊田 美好 議員

2 研修内容

<プロローグ>

小浜市へは当視察の調査項目として予め「鯖・復活」養殖効率化プロジェクトについてと、連絡しておいたことから、別紙資料を作成されており、それに基づいて担当者である小浜市里山里海課水産振興グループGL領家一博氏より講義説明がなされた。

まず初めに、小浜市周辺の漁業全体像と八戸市と同じく昔日、鯖が大量に漁獲された時期から近年の減少化の推移を語り、小浜に根付く「鯖の食文化」、つまり「浜焼き鯖」「へしこ」「なれずし」「焼き鯖寿司」を紹介され、古代からの都との塩や海産物を朝廷に納入されての「御食国」（みけつくに）としての歴史、そして若狭国から京都へ海産物を運んでの「鯖街道」について説明された。

因みに小浜名物の「浜焼き鯖」は、現在は小浜産ではなくノルウェー産を輸入しているとのことであり、NHKの朝ドラ「ちりとてちん」でも紹介されたとのことである。

<「鯖・復活」プロジェクトの発足について>

前述した、かつての「鯖街道」の歴史と文化交流は、平成27年4月に「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国若狭と鯖街道～」として文化庁の日本遺産第1号に認定されたのであった。

このことは福井県、そして小浜市の長年の努力の成果であり、ここには観光推進や、かつての若狭国、小浜の海産物、ひいては小浜の「鯖文化」の復活・活性化への期待であった。

このことから平成28年4月「ストーリー性のある小浜独自の鯖」ということから、小浜市と小浜漁協の共同主導で養殖事業に着手スタートしたとのことである。

ここには、福井県立大学海洋生物資源学部、また福井県栽培漁業センター及びKDDI（株）が連携し、特色のある味や飼育方法を研究開発しての「小浜ブランド」の創出であった。

その研究過程において「鯖街道」「御食国」のストーリーから、都との交流文化を通じて、京都の酒蔵で製造過程で産出される「酒粕」を混ぜての給餌によるオリジナリティーを追求しての「鯖・復活プロジェクト」が発足したのであった。

<小浜・よっばらいサバについて>

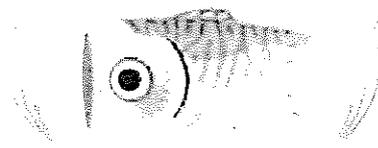
小浜ブランドの養殖鯖は、名付けて「よっばらいサバ」として商標登録される。ここには前述の如く酒粕を給餌してのネーミングである。

酒粕に含まれる酢酸エチルの成分が作用することによって、鯖特有の臭みが消え、酒粕の爽やかな酸味を鯖の肉質に与えることができるという。

この小浜ブランド「よっばらいサバ」は、現在地元の民宿や飲食店等に提供される一方で、東京、京都、大阪などの大消費地の飲食店からも評価されているという。

「よっばらいサバ」という養殖魚のメリットは「刺身」という生食を美味しく味わえるのだという。それは、給餌によって寄生虫アニサキスの体内除去が可能だからであり、また養殖魚の味は、与えるエサの質と量によって変化するので、目指す味のサバを育てることが出来るというのである。

故に酒粕を混入しての独自給餌によっての風味豊かな生魚。それが「小浜よっばらいサバ」なのである。



小浜
よっばらいサバ
YOPPARAISABA

<つくり育てる新たな取り組みについて>

この復活プロジェクトの根幹をなすのは、産学官の協力体制の構築であった。

小浜市には前掲したように福井県立大学、また栽培漁業センターによる科学的知見による研究、実証による成果や助言、技術の確立。またIT企業の参画による最新技術の活用、そして漁業者自体の意識や意欲があつてこそである。

具体的に上述するならば、若狭湾の田鳥（たがらす）漁港に設置された海面養殖いけすの現場に立つ水産会社においては、給餌量や水温等の基礎データの測定、特に重要なのは給餌であり、常に「おはよう！ようけ食べるよー！」と声掛けしながら、サバ達に元気を与えるとのことであつた。

このような地道な作業が、大きく美味しく高品質なサバを育てる心なのであろう。

また、それを支えるのが科学的知見を有する大学や栽培センターからのサポートであつた。

具体的には、今までの研究やデータを集積しての助言、未来に向けての提言、人工種苗、生産技術の確立、更には飼育、養殖への技術助言サポート等々である。

更にはKDDI（株）の参画によるIoT機器の活用に係るノウハウ提供、システム開発、測定機器アプリケーションの提供等々である。

これに官たる福井県や小浜市による行政からの支援であるのだ。

このような産学官一体の協力体制の構築が、小浜ブランドを支えるものである、その効果は多方面に波及するものであると強く感じた次第である。

後述することになるが、この協力体制の構築、特に学からの研究支援、そしてIT企業という現代技術による支援は、八戸市の養殖事業においても重要なことであることを実感した次第である。

<養殖効率化プロジェクトについて>

サバの養殖の弱点は、ウロコが無いことから肌が擦れること、また高水温に弱いこともあり、その管理育成は難しいとのことである。

取り組みのポイントとしては、この給餌のやり方、あるいは海面養殖であることから、いけす網の改良等が上げられるとのことであった。

故に効率化としては、まず漁師がタブレット端末を使いこなすことにあるという。従来は手作業で計測してFAXで報告していたが、タブレット入力によってデータを送信することから、作業の省力化とデータ管理の推進による効率性を高めるのである。

更には、養殖いけす自体に水温、酸素濃度、塩分濃度を1時間置きに測定可能なIOTセンサーを設置し、漁船員が船を出しての管理測定をしなくても、現地の状況を把握することが可能とする効率化である。

それによって鯖の成長に応じた給餌計画を予めアプリに入力することによって、漁業者は日々アプリ上に示される計画値と水温を基に当日の給餌量を決定し与えるというシステム構築である。

この状況は、各いけす毎に異なるので、その量や様子を漁業者がアプリに入力しての管理向上とデータ保存である。

このことによって養殖方法、飼育方法のマニュアル化に直結するのであった。

このような日報記載における漁業者からのタブレット活用は、大きな効率化と共に省力化ともなるとのことなのだ。



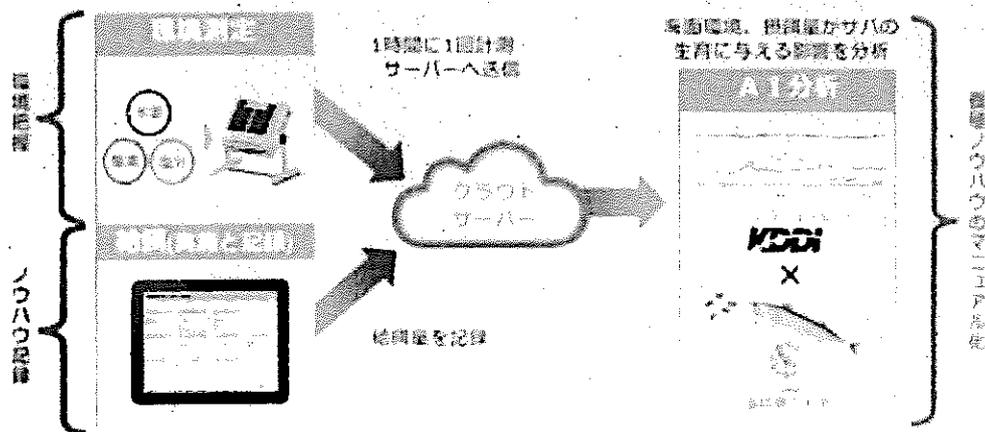
KDDI 自治体・パートナー企業と連携した事例/
事例紹介：福井県小浜市「鯖、復活」養殖効率化プロジェクトの今より

給餌システム（自発給餌・給餌量管理）



自発給餌や量、飼育状態のモニタリングが可能

KDDI 自治体・パートナー企業と連携した事例/
事例紹介：福井県小浜市「鯖、復活」養殖効率化プロジェクトの今より



KDDI 自治体・パートナー企業と連携した事例/事例紹介：福井県小浜市「鯖、復活」養殖効率化プロジェクトの今より

これには、まさにICT企業との連携や協力体制が構築化されて初めて成し得ることになるのではないか。

当八戸市にとっても養殖事業展開するには、大きな課題となることは確かである。

事実、小浜市にあってはAI（人工知能）によるデータ分析を導入し、サバ養殖のマニュアル化を目指し、小浜市と福井県立大学及びKDDI（株）の三者でICTを活用した地域活性化に関する連携協定が締結されたのである。

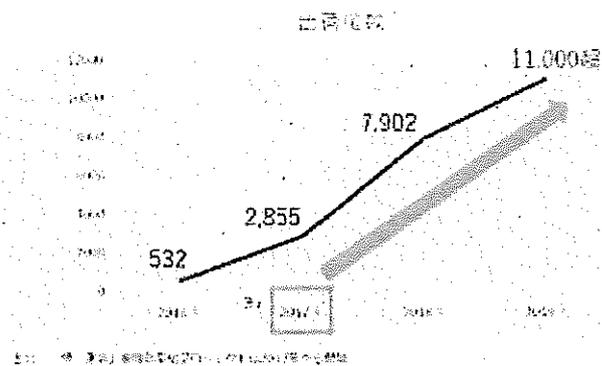
<鯖・復活プロジェクトの取り組み概要について>

これは、第1ステージと第2ステージとの進展状況は区分されている。

第1ステージは、平成28年の発足から3年間の平成30年である、養殖事業としては海上いけすの整備、サバの試験養殖の開始、よっばらいサバのブランド名、あるいは研究事業としては、IoT機器をいけすに実装しての検証開始の期間であった。

故にこの期間の出荷尾数は、H28年 532尾、H29年 2,855尾、H30年 7,902尾であり、また実施主体は行政主導の小浜市漁協であった。

次に第2ステージは、平成31年（令和元年）から現在までであり、そして、令和3年に民間にこの養殖事業を移行し、ロゴマークの使用開始、そして商標登録して認知度を高め、「よっばらいサバ」のインターネットによるECサイト販売、海外出荷、寿司ネタとしての販売と、強化する一方、研究事業においてはIoTの機器



KDDI 自治体・パートナー企業と連携した事例 / 事例紹介：福井県小浜市「鯖・復活」養殖効率化プロジェクトの今より

実装の検証と活用によるマニュアル化、採卵技術や種苗生産の技術開発に加え、サバの身質、味向上の技術開発、アニサキスフリーの技術開発等々に注力し、取り組んでいるとのことである。

これらの成果により、令和元年には出荷尾数が10,380尾となったが、令和2年からはコロナ禍の影響もあり、飲食店の自粛によって8,604尾、R3年は8,683尾と出荷数を抑制したとのことである。

<今後の展開について>

令和4年からは、第3ステージという位置付けであり、更なる充実化と養殖販売事業

の展開を図るとのことであった。

つまり、これからは小浜市のブランド魚による「よっばらいサバ」だけでなく、複合的販売の展開だという。

それは、「若狭まはた」、「ふくいサーモン」、「八百姫ひらめ」等々の他の養殖魚を複合的に、かつ、それぞれの魚種を活用しての商品開発であるのだ。

そのことよっての高鮮度の冷凍加工商品の相乗的展開、流通拡大そして食観光の推進化としての展開であるという。

研究事業としては「よっばらいサバ」の高成長を実現する為の給餌技術の開発として、小浜の特産品である「小鯛ささ漬」のアラを飼料化するというエサの新たなる配合飼料の開発。

効率的な給餌システムの開発。親魚の早期成熟技術の開発、種苗の効率生産技術の開発、魚体の鮮度保持に関する研究等の開発展開が今後の課題であるという。

これは、小浜市と福井県水産試験場そして福井県立大学、それぞれに設置してある研究機関との連携協力の強化であるという。

つまり、水産学術産業拠点及び栽培漁業センターそして大学での先端増養殖科学科(かつみキャンパス)との研究技術開発の展開であるのだ。

八戸市においての「つくり育てる」養殖事業を本格的に始動させるのであれば、前記のような研究機関のバックアップ体制をどう構築するか、また生半可な体制では如何ともしがたく、かなり本腰をいれなければならない。このことは大きな課題となることは確かである。

以上の如く講義内容に赤字で若干のコメントを付記したが、次より参加者からの質問と小浜市担当者からの回答を要約して記述する。

3 質問事項と回答

Q： よっばらいサバへのエサの技術開発について

A： 人工飼料にて試行錯誤の連続である。

酒粕の比率や魚粉の比率など研究改良している。

研究機関が集結していることが強みである。

回遊魚は育て方が非常に難しい。食物系は食べない。

Q： KDDIへのメンテナンス料や経費について

A： 1ヶ月10,000円ぐらいであり、初期投資としては小浜市から3千万円を拠出し、地方創生交付金を活用した。

Q： 海面養殖であるいけすについて

A： 1基の規模は5m×5m×5mであり、10基を設備している。1基につき3,000尾で生存率は現在90%である。

リアス式海面であるので、熱い気温が抜けない時期の対応は難しい。

Q： 養殖事業の課題や今後の取り組みについて

A： 完全養殖が出来ていないこと。稚魚は兵庫県の巻網船から仕入れている。

この種苗の安定確保が課題であり、人工生産の確立に取り組んでいきたいが、非常に難しい。

採算性の問題、生産率の向上の為には、養殖技術の確立が課題となる。

Q： 地元漁業者の反応について

A： 漁業者からは冷めた目で見られている。

行政主導だからこそ出来たことであり、産学官の協力体制があつてこそであつた。

1尾 2,500円で大衆魚であるサバの価格としては高い。しかしながら価格を下げるのは難しい。高価格でも売れる魚である。

主に刺身の生食用として提供している。

知名度は年々上がってきている。

上記の小浜市からの回答には、八戸市が養殖事業に参画するにあたっての課題を述べてあるのではないか。

サバという回遊魚であり大衆魚を養殖するにあたっての育て方やエサの問題、稚魚や種苗の確保、安定生産の問題、そして価格や採算性の問題等多岐に渡る。

特に研究開発といったこともあり、行政主導でなければ、という課題なのである。

以上の研修終了後、ふくい水産振興センター内の養殖試験場の現地視察をさせていただいた。

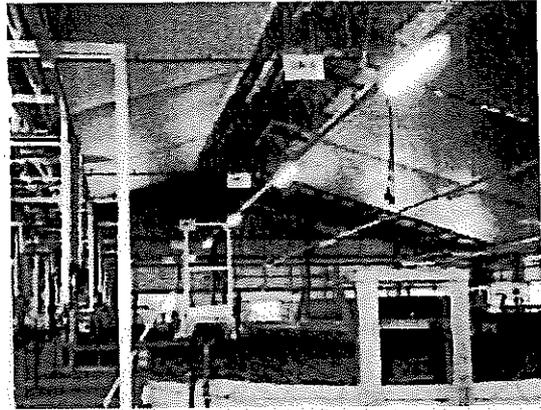
こちらは福井県の所管であり、水産学術産業拠点「かつみ水産ベース」の一部である。

ここでは、種苗生産や稚魚の育成、そして飼料の試験研究であり、またサバばかりではなく、いろいろな魚介類の養殖研究施設であつた。

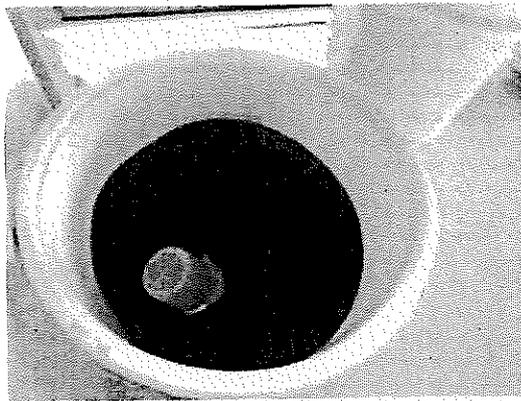
実際の海面養殖のいけすは「田烏漁港」にある。



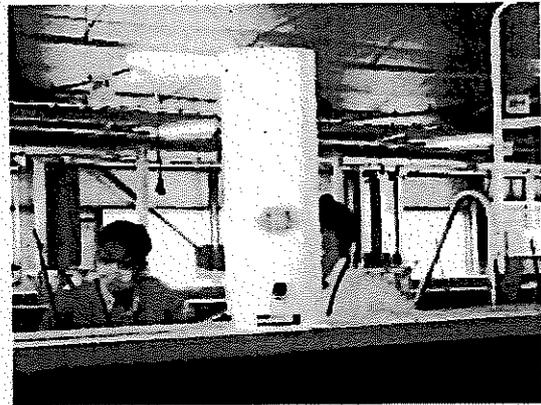
現地視察の状況



研究施設内風景



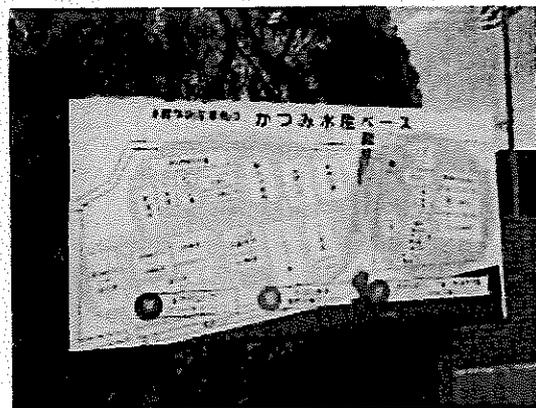
サバの餌料



自動給餌機



いけすタンク内のサバ



かつみ水産ベース全体図

4 所感

小浜市は若狭湾という日本海において、大規模なリアス式海岸をなす位置にあり、森林面積が市面積の8割を占めているという。

そのことから豊富な栄養分を含む水が河川を通して小浜湾に注ぎ込むことから、様々な魚介類が水揚げされる好漁場である。

また沿岸部では、そのリアス式海岸を活かしての、以前より養殖事業が盛んに行われているのであった。

小浜市には福井県栽培漁業センター、福井県立大学海洋生物資源学部、県立若狭高海洋科学科といった、水産研究・人材育成機関が集結している。

この水産科学の知見を活用しての海面養殖事業についてはマダイやトラフグ、カキ、ワカメ等がかねてより養殖化しているとのことであった。

特にトラフグは「若狭ふぐ」のブランドで地域団体商標に登録し、観光資源とし、また、ふぐ文化のある阪神地区消費地に提供されている。

また、小浜市を中心とする若狭地方は「御食国」(みけつくに)として、塩や海産物を都に運び、文化交流が盛んであったことから、京都へとつながる道は「鯖街道」と呼ばれ、サバは小浜のまちの文化、歴史を語る上で重要なキーワードであるとのことから、「小浜育ち」の「小浜で獲れる」サバの養殖事業に対する取り組みが始まった。名付けて「鯖・復活プロジェクト」なのである。

私達、八戸市議会自由民主・市民クラブにおいては、八戸水産業の低迷打開として、熊谷八戸市長が提言する「つくり育てる」養殖事業への参画に対しては、八戸市水産業の発展の為にも、大いなる賛同をし、協力するものである。

よって、今回はサバに特化した養殖事業を展開する小浜市のプロジェクトを視察研修するものである。

この研修を受けては調査内容においての赤字でコメントを記述してあるが、八戸市で養殖事業を展開するには種々の課題があることを痛切に思い知らされた感がある。そこで以下に記述してみることにする。

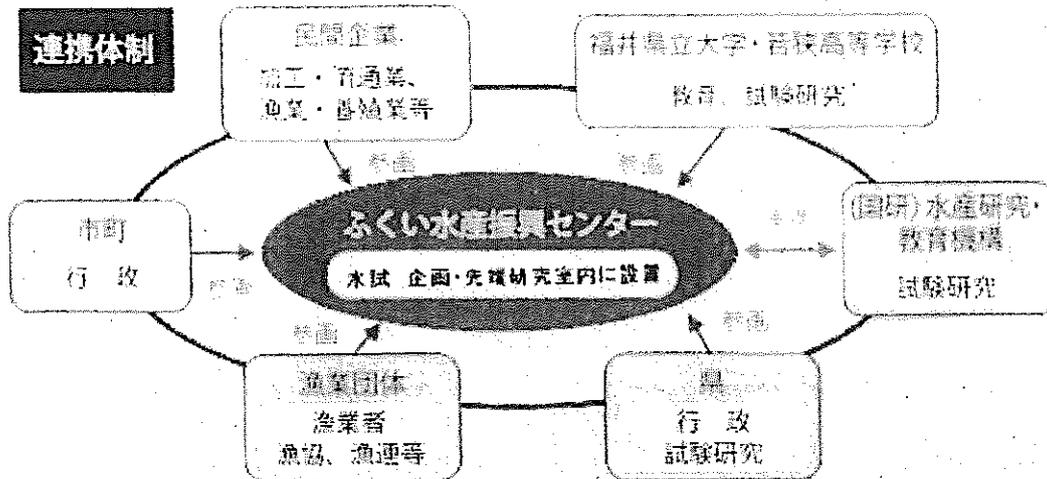
(1) 研究機関のバックアップ体制の構築の課題

まさに「八戸水産アカデミー」におけるアカデミックな分野の構築なのである。

養殖部門に対して、専門的な科学的知見を有する人材や研究機関があるのか、ないのか、八戸の大学にそういう部門や人材がいるのか？

例えば、八戸水産高校においては、船の機関、船員養成、という技術部門であり、また水産食品、魚介類の製造、流通等、漁獲に対する為の知識取得の学習部門等であり、魚介類の生態や育て方に対しての研究部門は無いのである。

故に、このところをどう構築するかである。



小浜市の養殖部門の連携体制図

(2) 餌料・飼料の課題

エサは重要である。如何に食べさせるか、大きく育てさせるか、エサの配合、与え方、残渣の処理等々これにも課題がある。

またブランド魚は、それぞれのエサに特徴があり、その配合や作り方はシークレットであることから、エサ代の経費はかなり高額比率となる。

あるいは、シークレットなるが故、第三者にそのノウハウや餌料はまず提供しないのである。

(3) 若狭湾というリアス式海岸という地形を活用して

古くからの養殖事業が形成されてきている背景があり、海の静穏度が高く、外洋の影響を受けづらいという好条件に恵まれている。反面、サバのような低温度の魚に対しては配慮が必要である。

八戸は入り江的な地形ではなく、防波堤、防潮堤で守られており、外洋の影響を受けやすい。

ここに海面養殖の難しさがあり、また自然の様々な気象状況の影響をもろに受ける難点がある。このところを、場所の選定も含めてどのように克服するかも課題となる。

(4) サバ養殖への課題

八戸市水産業における「鯖」は「八戸前沖サバ」というブランド化し、全国的に認知されている。

ここに養殖されたサバが参入するとなると、地元漁業従事者や業界等々の反応は、如何なるものであるかと考えざるをえない。

まさに両者の差別化をどのように確立するかは大きな課題となる。

更には、八戸でのサバはあくまでも大衆魚であり、高価格の高級魚となったサバに対して市民はどのように反応するかである。

(5) つくり育てる養殖技術の課題

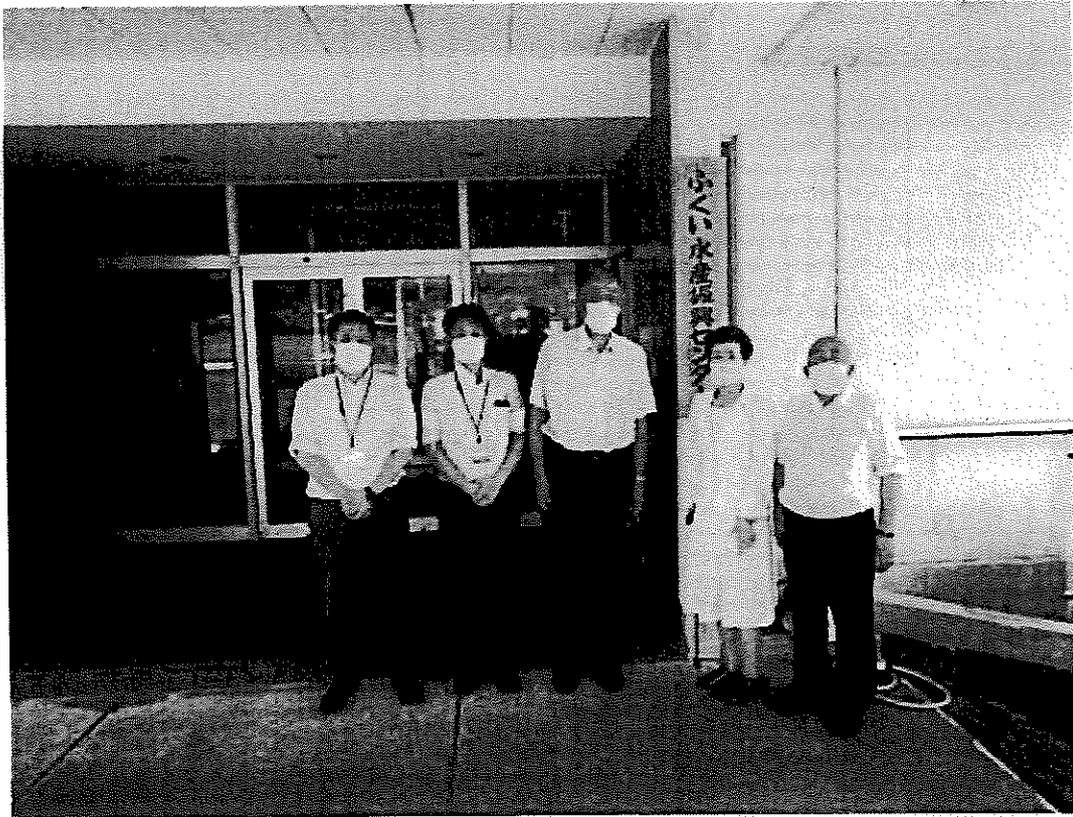
全国各地の養殖魚は、経費もかかり、地道な努力、長年の苦勞の産物であるからにして、固有のブランド化、高価格でも消費者に提供できるまで、「つくり育てた魚」なのである。

故に飼育方法や餌料、飼料等々の How to をこれから養殖する事業者においそれと教えたり、提供はしないと思慮する。

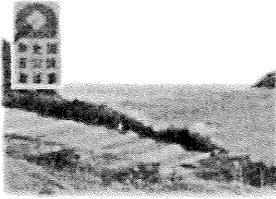
あくまでも各事業者の独自の研究開発技術開発となる。

そうなれば、時間も人材も経費も、あらゆる面での負担が想定される。この課題をどう克服するかである。

以上、若干の課題を記して、小浜市での「鯖・復活プロジェクト」を調査視察の所感とする。



ふくい水産振興センター玄関前にて



「食育文化都市」若狭若狭港

小浜市産業部 若狭若狭港課

課長 田井隆行

〒917-8585 福寿橋小浜港大士町6-3
TEL 0770-64-0021
FAX 0770-52-1101
E-mail: syokai-mecity@nabari.jp



小浜市産業部 若狭若狭港課
水産振興課

課長 領家光章

〒917-8585 福寿橋小浜港大士町6-3
TEL 0770-52-1111
FAX 0770-52-1401
E-mail: ryusei-mecity@nabari.jp



福井県水産試験場
企画・先端研究室

室長 領家一博

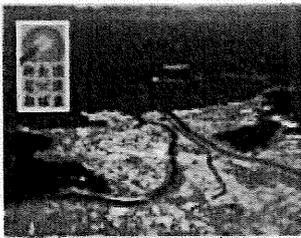
〒917-8917
福井県小浜市西16
TEL 0770-52-1690
FAX 0770-52-1681
E-mail: syokai-advance@nabari.jp



福井県水産試験場
企画・先端研究室

室長 児玉敦也

〒917-8917
福井県小浜市西16
TEL 0770-52-1690
FAX 0770-52-1681
E-mail: yk-dunoda@nabari.jp



みんなで楽しむ、悠久の歴史と文化の宝庫 若狭若狭港
～ 新文化時代の企画展 若狭若狭港 ～

小浜市議会事務局

書記 石橋克浩

E-mail: kichiro@city.nabari.jp
E-mail: gkhai@city.nabari.jp

〒917-8582 福寿橋小浜港大士町6-3
TEL 0770-53-1111(代)
TEL 0770-64-6005(直通)
FAX 0770-52-0400

② 鳥取県岩美町

視察地	鳥取県岩美町陸上養殖センター 鳥取県岩美町大谷 2182-484		
視察日時	令和4年8月3日 9:00~11:00		
視察対応	岩美町 産業建設課	課長	飯野健治 氏
	(株) タシマボーリング	代表取締役	田島大介 氏
	岩美町 議会事務局長		浜野 明 氏
視察参加	岩美町 町議会	副議長	澤 治樹 氏
	同 上	議員	寺垣智章 氏
	同 上	議員	森田洋子 氏

1 はじめに

当日は鳥取駅から山陰本線にて岩美町で下車し、タクシーにて現地へ向かったが、ナビには「陸上養殖センター」なる位置は出てこないことから、住所を入力して向かう。

しかし実際に行くと、その住所は島めぐり遊覧船乗船所であり、見渡してもそれらしき建物は無かった。

運転手さんは、その乗船所の方に聞き、やっと位置が分かり到着した。(右図参照)

そこは工事用フェンスで囲まれて、大概、養殖施設のような外観ではなかった。

予定時間よりは少し早目に到着すると、岩美町町議会の澤 副議長が待っており、続いて寺垣、森田両議員が出迎えてくれた。

定刻になって担当の産業建設課課長及び議会事務局長が駆けつけてくれ、現地での視察研修となった。

まず初めに、八戸市議会 豊田議員から視察受け入れの感謝と御礼の御挨拶をし、岩美町のサバに特化しての陸上養殖への取り組みについて、是非とも勉強し、八戸市の養殖事業発展に寄与したいとの想いを述べられた。



乗船所



豊田美好議員の御挨拶

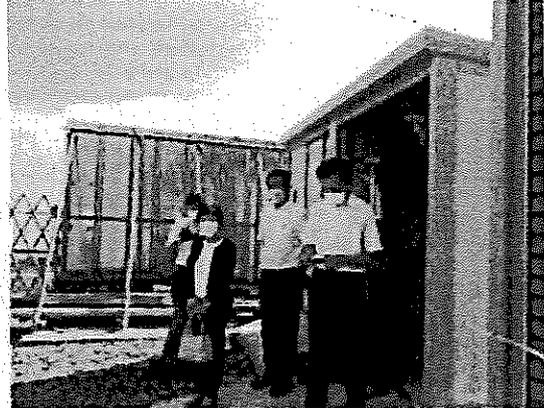
続いて産業建設課の飯野課長より歓迎の御挨拶を頂戴し、すぐさま岩美町の陸上養殖事業「お嬢サバ」の概要について説明された。

その場には岩美町町議会の副議長はじめ、議員の方々も立ったまま列席してくれた。当日は気温 39 度の、しかも炎天下での野外研修であった。

幸うじて日陰で私達は拝聴したが、担当の方々には日に照らされながら講義してくれたのである。



飯野課長の歓迎の言葉



岩美町 町議会議員の方々

2 研修内容

<プロローグ>

サバの陸上養殖は、鳥取県においては、海上養殖に適する湾の少ない「鳥取でもできるのは何か？」とのことから、県栽培漁業センターが 2012 年（平成 24 年）から、この陸上養殖についての研究を開始したとのことである。

その研究過程において、J R 西日本に事業化を持ち掛け 2015 年（平成 27 年）6 月から共同研究を進め、その 2 年後の 2017 年（平成 29 年）に商業化に向け陸上養殖センターが整備されたという。

私達、八戸市議会自由民主・市民クラブにおいては、前日小浜市での海面（上）養殖の先進事例を視察し、今度は陸上養殖の先進事例の視察を目的とした。

それは、八戸市における港湾地形から、海上養殖が困難とした場合、陸上養殖の可能性について学習を深めたいからである。

今回の視察は、つまり海上、陸上の両面からの養殖事業の展開を学習研修することに他ならない。

抑々陸上養殖とは何であろうか？

それは、陸上に人工的に創設した環境下で魚介類の養殖をすることである。

その養殖方法には、大きく分けて 2 種類の方式があり、「かけ流し式」と「閉鎖循環

式」であるというのだ。

かけ流し式は、海や川、あるいは地下水から取水・排水をし、魚介類を育てるのであり、閉鎖循環式は濾過システムにて清浄水化し、循環して繰返し使用しての養殖であるという。

このことにより、使用水を循環再利用する為に、海洋汚染を起こさないこと、また陸上のどんな場所でも可能なので養殖場所を選ばなくても良いというメリットがあるとのことだ。

また、陸上施設でもあることから、天候に左右されない安定供給が可能であり、IoTの活用で管理や労働力の負担減少というメリットもあるという。

しかしながら、反面デメリットとしては、陸上に水槽を設置しなければならないという設備コストや運営にかかるランニングコストやメンテナンスの負担が大きい。

また水温調整や濾過システムを常時稼働の電気消費や故障時のリスク。

このことから、初期投資や継続的管理にはかなりの経費負担が生ずることになり、それが出荷時の価格に付加されることになる。

陸上、海上それぞれの養殖は、どちらもメリット・デメリットがあり、またそれぞれの課題もある。

以上のことから、岩美町の陸上養殖事業について視察研修するものである。

<陸上養殖事業の概要について>

鳥取県の陸上養殖鯖は「お嬢サバ」とのネーミングでブランド化されている。その意味は完全養殖の稚魚を清浄なる地下海水を使用することから、寄生虫が付きにくくなるという養殖プロセスにより、大切に育てた「箱入り娘」から連想される「お嬢様」にちなんで名付けられたとのことである。

また産地が分かるように「鳥取生まれの箱入り娘 お嬢サバ」としてのネーミング・ロゴで認知度を高めているとのことだ。

鳥取生まれの箱入り娘

岩美町においては、地域の活性化や企業誘致を目的に、H28～29年において町補助金を活用して陸上養殖場整備を支援し、その支援は事業主体であるJR西日本米子支社と提携したことにある。

お嬢サバ

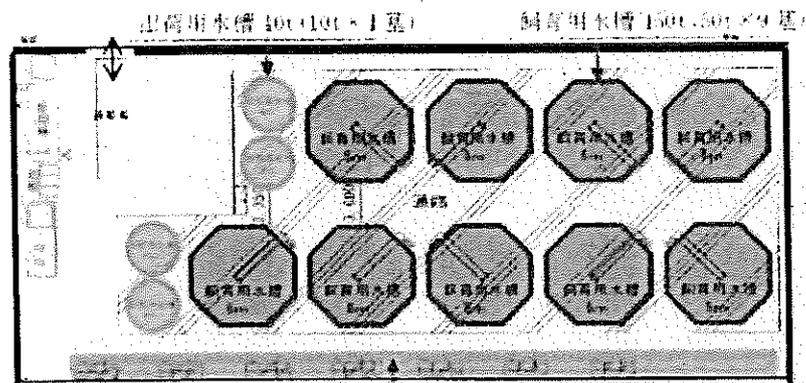
つまり、同事業は鳥取県・岩美町・JR西日本米子支社との三者による「陸上養殖事業における連携に関する協定書」を締結したことにより開始されたのであった。

事業内容としては、養殖設備整備H29年1月～5月、養殖開始は同年6月から、そして出荷開始はH30年3月からである。

その施設整備は、飼育用水槽（50 t）× 9 基、出荷用水槽（10 t）× 4 基、取水設備 8 箇所（図面では 7 ヶ所を表示してある）、付帯設備等も併せて事業費は 6 千 570 万円であったという。

補助金額は対象経費の 1/2 で 2 千 986 万円（県 1/3 と町 1/6）とのこと。

2. 施設配置計画



地下水取水設備7ヶ所

イメージ図

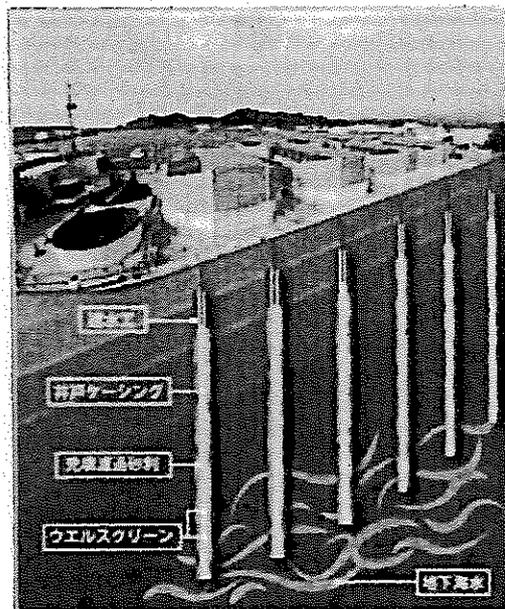
次に同事業に至るまでの経過として、井戸の掘削に関してH24年及びH26年にかけて適地確認の状況を示された。

この試験掘削費用においては、県・町の両者で負担し、615万円であったという。

因みに、この陸上養殖事業地は県有地であり、地代に関しては無償である。

故に、陸上養殖はどこでも可能ではあるが、「良き水」を確保できる「良き土地」という適地の選択という課題があるという。

その後、同事業をJR西日本では養殖事業の要となる井戸について卓越した知識や実績を持つ(株)タシマボーリングへ施設を無償譲渡し、引継ぎ、販売に関してはJR西日本が継続して実施していくという。



(株)タシマボーリング HPより

< (株) タシマボーリングの田島大介氏紹介 >

同事業を継承した(株)タシマボーリングの代表取締役の田島大介氏は、井戸掘削技術においては卓越技能者であり、2013年4月のテレビ朝日の番組「世界の子どもがSOS『THE☆仕事人バンク マチャアキ JAPAN』第8弾ガーナ共和国」に井戸掘り仕事人として出演された方である。

そこにおいてガーナのクワシ村で飲み水に困窮する村人や子ども達の為に井戸掘りに挑戦し、ヤグラを組んで29日目に清らかな透明な水を提供したという人物なのであった。



炎天下の中 講義される田島社長

株式会社 タシマボーリング



代表取締役 田島大介

本社 〒680-0871 鳥取市吉成南町 118-15
TEL 0857-753-1767 FAX 0857-753-5298
E-mail: tashimab@noro.ocn.ne.jp
http://tashima-boring.com
福岡支店 〒808-0812 福岡市南区529-11-103
TEL 0796-29-3132 FAX 0796-29-3183



マチャアキ JAPAN
～世界の子ども SOS～
井戸掘りプロジェクト
貧困に苦しむガーナのある村にて



- 地中熱ボーリング
- 深く井工事
- S-1 マイクロパイル
- 水質調査・探査
- 温泉ボーリング
- 地質調査

その仕事人が、技術と知識が卓越し有能なことから、同事業の主体者となり、そのことから現在の状況や関わった経緯について講義されたのである。

< 陸上養殖の事業内容について >

田島氏は、陸上養殖事業の最も肝要なことは「水」ということを力説するのである。

単なる井戸水ではなく、塩分が入った清浄な水ということで、もちろん取水する場所は限定され、海に近い場所で、しかも鉄分や他の成分が混入しない「水」でなければ「良い魚」は育てることは出来ないということであった。



井戸水取水排水管

故にその為の井戸掘削の技術はもちろんのこと、良き水の取水選定も大きな課題であることを学ばさせられた。

八戸市において、もし陸上養殖を考えるならば、この「良き水」の確保が大きな課題となることは確かである。

この水の確保が大事であり、大事であるからこそ難しい。

それは清浄であるからこそ寄生虫を除去する健康的な魚を育てられる。また適度な塩分も有しなければならない。それと取水量（1分間300ℓ）も必要であるという。

かけ流し式ではあるが、残渣や糞の清掃除去をし、定期的に水質検査も実施しているという。

田島氏は、こう強調し力説された。

「こだわりの水」で「こだわりの魚」を育てる。

それが「鳥取のお嬢サバ」なのだ…。



こだわりの水で育つ こだわりのサバ

それと強調されたのは「お嬢サバ」を飼育する為のエサである餌料であった。やはりブランド魚ということもあり、独自の研究開発によつての調合があるということであり、「餌料を見せてもらいたい」と希望したが、それは秘密事項で断固として拒絶されたのであった。

ここにも「こだわりのエサ」なのである。

また管理にあたっては、電気代のコストの面からもソーラーシステムを導入して、SDGsに貢献しているという。

井戸取水は10m掘削の8本（図面では7本）であり、安定した水温20℃～25℃を確保。

他の自治体からも、陸上養殖に関して井戸掘削の依頼があり、試掘調査をしたが、水質が養殖に適合しなかった事例もあり、この清浄海水の確保が陸上養殖の要であることを語られるのであった。

3 所 感

以上、田島氏からの講義を受けて感じたことは魚を育てる、ましてやアニサキス除去の健康魚をつくり育てるには、清浄なる塩分を含んだ地下海水の供給が絶対条件であることを痛感した。

やはり、陸上養殖はどこでも可能としながらも、この清浄海水の確保はかなり難しくむずかしい。

もし八戸市で同事業に着手したいとの意向であれば、この点を如何に開拓するかである。

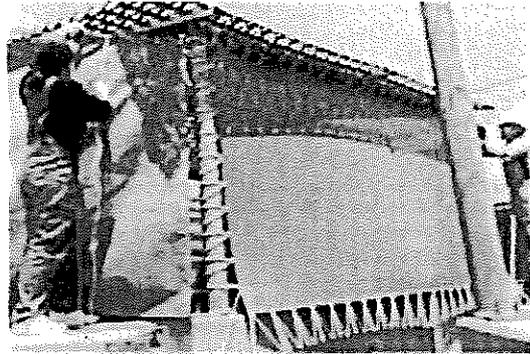
また起業するにしても、行政主導となり、設備投資をする。あるいは大企業をバックボーンとして展開し、構築化するかである。

また、小浜市と同様に研究機関との連携も不可欠であることは確かである。

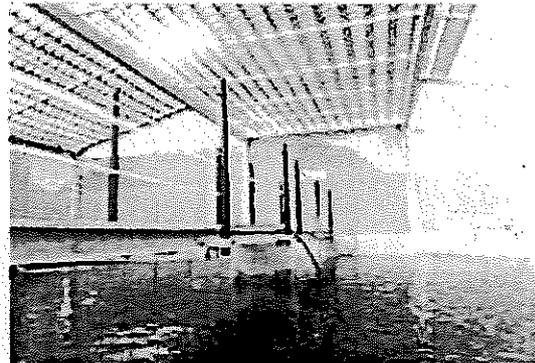
また、陸上養殖では水槽の管理にはかなり配慮しなければならないと感じた。

いくら天候に左右されないといっても、夏場の温度管理、雨水の防御、鳥獣の被害等も考えなければならない。

このようなことで、いろいろな課題も学び、大いに意義のある視察であった。



遮蔽シート



太陽光を入れながらも雨水の防御屋根



陸上養殖現場にて 田島社長を囲んで

岩美町 産業建設課

課長 飯野 健治

〒681-8504
鳥取県岩美郡岩美町高島町1
〒681-8504
〒681-8504
〒681-8504



鳥取県岩美町議会

議長 澤 治樹

〒681-8547
鳥取県岩美郡岩美町高島町1
Tel 0857-22-8680



鳥取県 岩美町議会
議員 寺垣 智章
〒681-8024
鳥取県岩美郡岩美町岩井



岩井議員
〒681-8024

公明党
岩美町議会議員

森田 ちよ子



人の声を聴く力
あなたの心に寄り添います。

Ⅲ 総論

八戸市の養殖事業のこれからを考える

前項までは、小浜市「よっばらいサバ」の海上養殖事業と岩美町の「お嬢サバ」陸上養殖事業の両者における視察調査の内容を列記し、その中において赤文字で若干のコメントを付記し、〈所感〉においても、やはり若干の課題を記述してみた。

そこでⅢ 総論 においては、両者の視察調査で学習したことを基に、水産庁の「養殖業成長産業化戦略」において、国が見定める方向性を踏まえ、八戸市の水産養殖を成長戦略としてどのように展開していくべきかの方向性及び課題を述べるものである。

〈はじめに〉

農林水産省の令和3年7月作成の「養殖業成長産業化総合戦略」によれば、「我が国は大量の水産物を消費する国として、日本の養殖業にとって重要な市場であるが、水産物輸用量が増加し、自給率は減少している」と示されている。

そのことから、課題を整理してみると以下の如くである。

- (1) 国内需要依存型の日本の養殖業においては、需給バランスが崩れやすく、価格の乱高下を招きやすい傾向がある。
- (2) 養殖事業は、供給量また育成費用のプロセスからも高価格傾向となる。
- (3) そのことによって価格の急落により、養殖業の経営のみならず、地域の経済全体に大きな影響を与える。
- (4) 日本の水産物の国内需要は人口減少、高齢化社会の中で徐々に減少化していく。
- (5) そのことから、国内需要依存型のままでは、水産物消費減少に応じて、日本の養殖生産は縮小しながら均衡する方向とならざるをえず、養殖業の産業化が期待できない状況にある。
- (6) しかし、一部の地域にあっては、養殖生産の需要先として海外市場を目指して積極的な取組みを展開している。
- (7) 日本国内における人口減少化によつての需要の縮小は前述した通りではあるが、国際的な市場においては、日本からの養殖生産魚類に対してはニーズが大きいことから、輸出の伸長を図る必要がある。

それは「高鮮度」「高品質」「味がいい」とのプラスのイメージがある一方で、「高価格」「不安定供給」のマイナス面もある。

以上の養殖業の動向に立脚するならば、八戸市の養殖水産業としては、国内を向くのか、海外輸出を向くのか、それとも両者どちらも向くのか。その視点方向を確実に見定めて取り組むことが肝要ではないか。それが成長戦略化する為の出発点ではないだろうか、思慮するものである。

<海外国際市場を見据えての養殖事業展開について>

八戸市の養殖魚を、海外をターゲットに輸出するのであれば、まさに八戸の「HACCP」養殖魚を前面に打ち出した「高鮮度」「高衛生」「高品質」の養殖魚を育成し、売り出すということである。

これが八戸の養殖魚の強みであるのだ。

しかし、それには育成はもとより、背後の加工、流通システムの構築が課題となる。

また、海外輸出とすれば、供給面にしては、少量ではなく大量化しなければならず、大規模な養殖場を構築できるかも課題となる。

養殖いけすの大規模化、多量設置化についても漁業法の法律や地元漁業従事者との関係等、種々の課題もある。

そして、大量多量の魚自体の養殖が可能なのか、育成から出荷までの技術及びそれを支える科学的知見を有しているかも課題となろう。

また、海外市場では、やはり「売れる魚」でなければならないということになり、それはある程度魚種が限定される。

例えば、サケマス類、ブリ類、マダイ、ホタテ貝、及び藻類である。はたしてこれが「八戸の海面養殖」に適合しているかも大きな課題ではないか。

成長戦略としてとらえるならば、まさにこの魚種選択が肝要である。

<国内市場を見据えての養殖事業展開について>

前述したように、国内の養殖事業は、人口減少化の社会的要因から減退化していくとの水産庁の見方である。

しかし、あえて、八戸市で国内向けに展開するとなれば「よっばらいサバ」や「お嬢サバ」の如く、特化した魚種の開発により、高品質、高味度のブランド魚の創出を図ることになる。

もとより「水産はちのへ」は全国的に認知度が高く、この認知度を活かして「八戸産の養殖魚」としての新たな展開である。

その為には、八戸に特化した養殖魚となるものであり、それは、はたして「サバ」なのか「イカ」なのか、はたまた、八戸ならではの他の魚種を開拓するのか。それは「フグ」であったり「鯛」なのか「ブリ」なのか、はたまた「マグロ」なのかである。

そこで課題となるのが、いずれの魚種を選択したとしても、その背景となる科学的知見や技術、そして人材なのである。

また、その養殖魚の販売に関しては認知度を高め、販売戦略を展開させる為の広告やメディア媒体等のこともある。

その時に問題となるのは、もし「サバの養殖」となると、現在の「八戸前沖サバ」との差別化である。

よって、一民間業者の力では如何ともしがたく、官学民一体となった上での「行政主導」の構築化によって、国内市場への事業展開となるのではないか。

＜八戸市の養殖事業のこれからを考える＞

前項まで、八戸市を取り巻く日本国内外の状況について記述してきたが、ここからは福井県小浜市の「よっばらいサバ」と鳥取県岩美町の「お嬢サバ」の視察調査で学んだことを基に考えてみたい。

しかしながら、先述した両者のコメントや所感と重複する点もあることをお許しいただきたい。

(1) 科学的知見の技術による協力体制の構築について

小浜市の「よっばらいサバ」は、福井県のかねてからの水産研究の産物であり、そのことを活用した成果である。

よって八戸市においては、この「水産アカデミー」の、まさに科学アカデミック的背景をこれからどのように構築するかである。

例えば、養殖水産物の状況モニターや成長曲線、海水温や海の状況を予測するシステムから、更にIoT及びAIを活用した養殖生産管理及びデータ集積による改善や消費者ニーズまでも対応するシステムの構築化である。

その為の協力体制が是非とも必要不可欠ではないか。

(2) 行政主導と民間協力体制の構築について

この養殖場開設は、一民間業者のみでは、その試験的試行の時期から育成、そして出荷までとなると、かなりの年月を有することになる。

そのバックボーンをどう克服するかであり、初期的投資も、その経費負担は大きい。

故に行政主導とならざるをえないのではないか、その上で大企業との協力提携化を模索するべきではないかということである。

小浜市ではKDDI㈱の協力のもと、IoT機器の活用、システム開発、測定機器のアプリケーションの提供があり、また岩美町の「お嬢サバ」においては、JR西日本の協力や鳥取県の県有地の提供もあった。

この事例を学び、八戸市においても同様に、大企業との協力提携化が出来るものなのか？

市長にトップセールスをして、可能にしてもらいたいものである。

例えば、岩美町がJR西日本なら、八戸では「JR東日本」であり、小浜市がKDDI㈱なら、八戸市は「ドコモ」であったり、「楽天」本拠地の「ソフトバンク」でも良いのではないか。あるいは他の異業種とのコラボである。以上、愚案を述べてみた。

特に重要なのは、県との連携ではなからうか。水産研究はもとより、経費支援や港湾
県有地の支援等々も含めてである。

(3)適地・適水・適水温の養殖場所の選定について

八戸漁港内の海面養殖にしても、港外における陸上養殖にしても、それは、どこでも
可能ではないのである。

海面養殖にしては「漁業法」や地元漁業界との関係性からも、その可能とする適地で
あるか、またその場所が養殖魚の適水・適水温の場所であるかも精査しなければならない。
い。

ましてや陸上養殖においては、岩美町の先進事例で示されているように、塩分を含ん
だ清浄海水の取水であり、適水温であるかに左右される適地の選定なのである。

故に、八戸市の養殖事業を展開するにあたり、この適地選択をどのように構築するか
である。

<海上養殖業に係る法律の課題について>

国では「海洋養殖資源開発促進法」(2012年4月)を制定し、日本国での水産動植物
の養殖を推進することを打ち出された。

しかしながら、海上水面においては無秩序に養殖施設が設置されると、他の漁業に影
響を及ぼすことから、「漁業法」により、養殖業を営む権利を認め、区画漁業権に基づ
かない養殖業を禁止していることから、八戸漁港のどこに設置するかは大きな問題であ
る。

また「持続的養殖生産確保法」においては、養殖によって周囲の海洋環境への悪影響
や、プランクトン、赤潮、また給餌や残渣の問題が生じないように、良好な漁場環境の維
持を図らなければならない。

その為にも「飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律」も制定され、給餌養
殖において水産物や消費者の健康を守る為に、その安全性を確保し、品質の改善を図る
のである。

このような種々の法律に合致した養殖場を形成しなければならないのである。

<初期投資・維持費・採算性の課題について>

新たな養殖事業が発展する為には、生産システムへの科学的知見から技術水準の向上
に加え、新規設備資金や維持メンテナンス及び現代のI・T機器や管理システム等の多
額の資金が必要である。

また、その生産された養殖魚の宣伝や販路の問題もある。

また、養殖業の支出に占める餌料であるエサ代が6割から7割と高く、漁労所得が小
さく内部留保が少ない為、事業経営に必要な投資を自己資金でまかなうことも困難であ
るといふ。

つまり、養殖業をやっても「もうけが少ない」「もうからない」ということになれば、漁業従事者は如何に考えるかである。

<国からの支援の取り組み及び八戸市の支援について>

国においては、養殖業成長産業化総合戦略で掲げられた推進すべき研究開発のテーマに沿った技術開発を実施する民間企業等を支援する制度がある。

そのテーマとは、①生産物の品質保持管理 ②漁場環境モニタリング ③スマート水産業 ④新魚種・新養殖システム ⑤魚病関連対策 ⑥配合飼料等の水産資材の研究開発 である。

このテーマは、まさに八戸市のこれからの養殖業を展開するに該当するものばかりであり、この制度の活用が期待される。

そういう意味においても、八戸市が一民間業者に適切なアドバイスや指導を行うかも問われる。

更につけ加えるならば、八戸市からの支援については、長期的に継続していくのかも課題となる。

養殖の為の基礎的研究やデータ集積はもとより、事業創出に係る初期的整備、維持経費等々、多岐的な負担も含めてである。

<養殖魚の出荷数で考えさせられたこと>

小浜市にしても岩美町にしても、それぞれの「養殖サバ」の出荷数の単位は〇〇尾と1個体数の合計であった。

例えば、報告書7ページの「よっばらいサバ」の統計は、H28年の532尾から始まり、H30年は7,902尾で、令和元年10,380尾である。因みに出荷規定重量は、各ブランド毎に300g~800gと定められている。

故に、仮に10,000尾として1個体出荷グラムを平均500gとすると、総重量は $500 \times 10,000 = 500$ 万gである。

これをt(トン)数に換算すると1,000gで1kg、1,000kgで1tである。

とするならば、 500 万g \div 1,000g \div 1,000kg $=$ 5t と、わずかに5トンなのである。

超不漁であった令和3年度の八戸市のサバの水揚げ量は10,005tである。

あるいは金額からも推定すると、「よっばらいサバ」の市場価格は「小浜よっばらいサバあぶり井」は3,250円、また通販価格では、半身2枚(一尾)2,980円であった。

とすれば、原価は大概2,000円~3,000円とすると、10,000尾で2,000万~3,000万円なのである。これに6割~7割のエサ代及びメンテナンス料、人件費から研究費等を考えると、一体利益はどれぐらいになるのであろうか。

この課題は最も大きいのではないだろうか。

この尾数を増加させるには、いけすの確保から設備投資が必要となるのであり、一方で一つのいけすの飼育数の個体数は限られている。増加させるにしても課題があるのだ。

<餌料の課題について>

前述の如く、養殖事業における餌料・飼料は、大きな割合を占めるのである。

魚を育てるには、エサである魚を与えなければ育たないのである。

その原料は、小魚であり、主にイワシだという。八戸水産業はイカ、サバと共にイワシの主産地でもある。

故に、八戸市は畜産業における飼料にはイワシを原料とした魚粉が使用されている。

このことから、イワシや「未利用魚」を活用しての、養殖魚への「餌料・飼料」を全国へ提供する拠点基地になり、新たなる「養殖魚を育てる水産業」を構築してはどうかということである。

各地のブランド魚は、それなりの調合があることから、その調合餌料は御当地におまかせし、八戸市においては、その基本原料としての餌料を提供するのである。

このことも、八戸市における養殖事業成長戦略の一部でもあると思慮する。

<八戸市における水産研究について>

何度も今まで記述してきたが、この養殖事業に関して、基礎的な科学的知見・研究は必要不可欠なことであり、このことは重要である。

しかしながら、今まで獲る漁業主体の八戸市の漁業界にあつては、その船員や人材の育成や、獲った魚をどのように活かすか、どのような食品にするかの研究分野の開発であつた。

故に、養殖に関する研究は未分野であり、元新八温泉施設の一部での弘前大学による「トラフグ養殖」ぐらいなものであり、これからどう開拓していくかが問われるのである。

これからの八戸市の養殖水産業の基礎ともなる研究の構築や人材の確保、そして資金提供や研究施設の整備等、大きな課題であり、その研究施設については、第三魚市場のA棟やB棟の活用という意見もある。

この点もよくよく検討課題として提起されるのであつた。

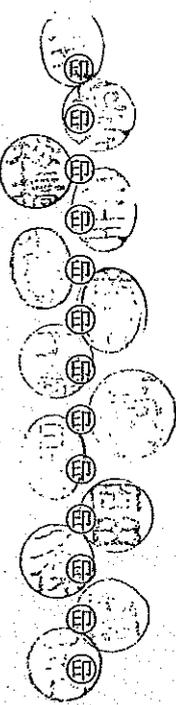
以上、まだまだ各課題や方向性はあるが、私としての種々課題をアントラム的に「八戸市の養殖事業のこれからを考える」として論述してみた。

今回の福井県小浜市の「よっばらいサバ」と、鳥取県岩美町の「お嬢サバ」の海上及び陸上の養殖場を視察調査したことを参考にして、私見を羅列した次第である。

第3号様式 (第6条、第8条関係)

令和4年6月7日

会派名 自由民主・市民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名	立坂松壬小屋藤工高日岡久間山之内	花本橋生敷川藤山當田保	敬美八十優悠元正百盛	之洋知博孝里平延男英恵仁悠	
----	------------------	-------------	------------	---------------	--

調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

1 旅行者	立花敬之議員	坂本美洋議員
	松橋知議員	壬生八十博議員
	小屋敷孝議員	藤川優里議員
	工藤悠平議員	高山元延議員
	日當正男議員	岡田英議員
	久保百恵議員	間盛仁議員
	山之内悠議員	

2 期 間 令和4年8月29日(月) ~ 令和4年8月31日(水)

3 場 所 沖縄県那覇市

4 目的及び内容 那覇市役所、第一牧志公設市場
・ 那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画について
・ 第一牧志公設市場再整備基本計画について(現地視察)
沖縄県立美術館・博物館
・ 利用促進のための取り組みについて
・ ボランティア育成と活躍について

5 支出可能額(上限額) 2,133,560円

【内訳は、旅費額計算書(第4号様式)に記載のとおり】

第4号様式 (第6条、第8条関係)

旅 費 額 計 算 書

旅行日程			旅 費 計 算 の 基 礎					
行	日	時刻	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
行	8/29	本八戸駅発 8:45	区分	基数	単価	金額	備考	
き	8/29	県庁前駅着 16:58						
帰	8/31	県庁前駅発 9:25	区分	基数	単価	金額	備考	
	り	8/31						本八戸駅着 18:34
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃	641.1k	9,790	17,620	本八戸⇄浜松町 (往復割引)	
			急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
				急				
			特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
			航空運賃		2	48,110	96,220	羽田空港⇄那覇空港 (往復割引)
			バス運賃					
			東京モノレール		2	500	1,000	浜松町⇄羽田空港
			沖縄都市モノレール		2	270	540	那覇空港駅⇄県庁前駅
			宿泊料		1	12,500	25,000	8/29, 8/30 那覇市泊
			旅行雑費					
			小 計					
合 計 (小計×人数)						2,133,560	13人	

自由民主・市民クラブ 行政視察行程

日程：令和4年8月29日（月）～8月31日（水）

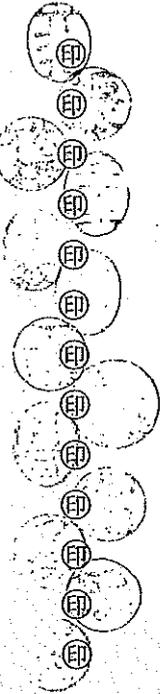
視察先：沖縄県那覇市

月日	行程	宿泊地
移動日 8月29日 (月)	8:45発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → (はやぶさ14号) → 東京 → (JR山手線・品川方面) → 浜松町 8:55着/9:05発 12:08着/12:18発 12:25着/12:30発 12:46着/13:35発 → (東京モレール) → 羽田空港第1T → (JAL917) → 那覇空港 → (モレール) → 県庁前 → (徒歩) ゆいレール・てだこ浦西行 16:10着/16:45発 16:58着 → 県庁前 → (徒歩) 17:05着 → ホテル	那覇市内泊
8月30日 (火)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 那覇市役所、第一牧志公設市場（10：00～12：00） ・那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画について ・第一牧志公設市場再整備基本計画について（現地視察） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 沖縄県立美術館・博物館（13：30～15：30） ・利用促進のための取り組みについて ・ボランティア育成と活躍について 等 </div> 9:20 口ビに集合 → 9:30発 ホテル → (徒歩) → 9:45着/10:00～12:00 那覇市役所・第一牧志公設市場 → (徒歩) → 11:40着/11:48発 県庁前 → (モレール) ゆいレール・てだこ浦西行 11:55着 おもろまち → 12:00～13:00 (徒歩) → 13:15着/13:30～15:30 沖縄県立美術館・博物館 → (徒歩) → 15:45着/15:57発 おもろまち → (モレール) ゆいレール・那覇空港行 16:05着/16:10発 県庁前 → (徒歩) → 16:15着 ホテル	那覇市内泊
移動日 8月31日 (水)	9:15発 ホテル → (徒歩) → 9:20着/9:25発 県庁前 → (モレール) → 9:38着/10:05発 那覇空港 → (JAL902) → 12:35着/13:29発 羽田空港第1T ゆいレール・那覇空港行 13:48着/13:52発 浜松町 → (JR京浜東北線) → 13:59着/15:20発 東京 → (はやぶさ31号) → 18:11着/18:25発 八戸 18:34着 → (JR八戸線) → 本八戸	

令和4年9月28日

会派名 自由民主・市民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名	立坂松壬小屋藤工高日岡久間山之内	花本橋生敷川藤山當田保之内	敬美八十優悠元正百盛	之洋知博孝里平延男英恵仁悠
----	------------------	---------------	------------	---------------



調査視察等報告書

令和4年6月7日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

1 旅行者	立花敬之議員	坂本美洋議員
	松橋知議員	壬生八十博議員
	小屋敷孝議員	藤川優里議員
	工藤悠平議員	高山元延議員
	日當正男議員	岡田英議員
	久保百恵議員	間盛仁議員
	山之内悠議員	

- 2 期 間 令和4年8月29日(月) ~ 令和4年8月31日(水)
- 3 場 所 沖縄県那覇市
- 4 行 程 別紙のとおり
- 5 支出額 1,152,040円
32,400円(タクシー代、博物館・水族館入館料
※比較対象外)
- 6 概 要 別紙のとおり

自由民主・市民クラブ 行政視察行程

日程：令和4年8月29日（月）～8月31日（水） 視察先：沖縄県那覇市（岡田議員、小屋敷議員、立花議員）

月日	行程	宿泊地
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 8月29日 （月）	7:55発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 8:50着/9:45発 三沢空港 → (JAL152便) → 11:10着/13:35発 羽田空港第1T → (JAL917) 16:10着/16:35発 那覇空港 → (モノレール) → 16:48着/16:53発 県庁前 → (徒歩) → 17:00着 ホテル <u>ゆいレール・てだこ浦西行</u>	那覇市内泊
8月30日 （火）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 那覇市役所、第一牧志公設市場（10:00～12:00） <ul style="list-style-type: none"> ・那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画について ・第一牧志公設市場再整備基本計画について（現地視察） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 沖縄県立美術館・博物館（13:30～15:30） <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進のための取り組みについて ・ボランティア育成と活躍について 等 </div> 9:20 ロビーに集合 → 9:30発 ホテル → (徒歩) → 9:45着/10:00～12:00 那覇市役所・第一牧志公設市場 → (徒歩) → 11:40着/11:48発 県庁前 → (モノレール) <u>ゆいレール・てだこ浦西行</u> 11:55着 おもろまち → (徒歩) → 12:00～13:00 → 13:15着/13:30～15:30 沖縄県立美術館・博物館 → (徒歩) → 15:45着/15:57発 おもろまち → (モノレール) <u>ゆいレール・那覇空港行</u> 16:05着/16:10発 県庁前 → (徒歩) → 16:15着 ホテル	那覇市内泊
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 8月31日 （水）	10:15発 (ロビーに集合) 10:20着/10:25発 ホテル → (徒歩) → 10:38着/11:10発 県庁前 → (モノレール) → 那覇空港 → (JAL904) → 13:40着/15:10発 羽田空港第1T <u>ゆいレール・那覇空港行</u> 16:25着/16:40発 (JAL157) → 三沢空港 → (連絡バス) → 17:30着 本八戸駅前	

自由民主・市民クラブ 行政視察行程

日程：令和4年8月29日（月）～8月31日（水） 視察先：沖縄県那覇市（坂本議員）

月 日	行 程	宿泊地
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">移動日</div> 8月29日 （月）	7:55発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 三沢空港 → (JAL152便) → 羽田空港第1T → (JAL915) 8:50着/9:45発 11:10着/11:45発 14:30着/15:05発 → 那覇空港 → (モノレール) → 県庁前 → (徒歩) → ホテル ゆいレール・てだこ浦西行 15:18着/15:20発 15:25着	那覇 市内泊
8月30日 （火）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 那覇市役所、第一牧志公設市場（10:00～12:00） <ul style="list-style-type: none"> ・ 那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画について ・ 第一牧志公設市場再整備基本計画について（現地視察） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; display: inline-block;"> 沖縄県立美術館・博物館（13:30～15:30） <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用促進のための取り組みについて ・ ボランティア育成と活躍について 等 </div> 9:20 〇ピーに集合 → 9:30発 ホテル → (徒歩) → 那覇市役所・第一牧志公設市場 → (徒歩) → 県庁前 → (モノレール) ゆいレール・てだこ浦西行 11:40着/11:48発 11:55着 → おもろまち → (徒歩) → 12:00～13:00 13:15着/13:30～15:30 沖縄県立美術館・博物館 → (徒歩) → おもろまち → (モノレール) ゆいレール・那覇空港行 15:45着/15:57発 16:05着/16:10発 → 県庁前 → (徒歩) → 16:15着 ホテル	那覇 市内泊
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">移動日</div> 8月31日 （水）	11:10発 ホテル → (徒歩) → 11:15着/11:25発 県庁前 → (モノレール) → 11:38着/12:10発 那覇空港 → (JAL906) → 14:40着/15:10発 羽田空港第1T ゆいレール・那覇空港行 16:25着/16:40発 → (JAL157) → 三沢空港 → (連絡バス) → 17:30着 本八戸駅前	

自由民主・市民クラブ 行政視察行程

日程：令和4年8月29日（月）～8月31日（水）

視察先：沖縄県那覇市（日當議員、松橋議員）

月日	行程	宿泊地
移動日 8月29日 (月)	7:42発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → (はやぶさ10号) → 東京 → (JR山手線・品川方面) → 浜松町 7:53着/8:11発 11:04着/11:18発 11:25着/11:30発 11:46着/13:35発 → (東京モルール) → 羽田空港第1T → (JAL917) → 那覇空港 → (モノレール) → 県庁前 → (徒歩) ゆいレール・てだこ浦西行 16:10着/16:45発 16:58着 17:05着 → ホテル	那覇市内泊
8月30日 (火)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 48%;"> <p>那覇市役所、第一牧志公設市場（10：00～12：00）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画について ・第一牧志公設市場再整備基本計画について（現地視察） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 48%;"> <p>沖縄県立美術館・博物館（13：30～15：30）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進のための取り組みについて ・ボランティア育成と活躍について 等 </div> </div> 9:20 ロビーに集合 → 9:30発 ホテル → (徒歩) → 那覇市役所・第一牧志公設市場 → (徒歩) → 県庁前 → (モノレール) ゆいレール・てだこ浦西行 9:45着/10:00～12:00 11:40着/11:48発 11:55着 おもろまち → 12:00～13:00 (徒歩) → 13:15着/13:30～15:30 沖縄県立美術館・博物館 → (徒歩) → 15:45着/15:57発 おもろまち → (モノレール) ゆいレール・那覇空港行 16:05着/16:10発 県庁前 → (徒歩) → 16:15着 ホテル	那覇市内泊
移動日 8月31日 (水)	6:20発 (ロビーに集合) ホテル → (徒歩) → 6:25着/6:30発 県庁前 → (モノレール) → 6:43着/7:15発 那覇空港 → (JAL900) → 9:45着/10:20発 羽田空港第1T ゆいレール・那覇空港行 10:38着/10:43発 浜松町 → (JR京浜東北線) → 10:47着/16:20発 東京 → (はやぶさ35号) → 16:45着/16:26発 大宮駅 19:08着/19:26発 八戸 → (JR八戸線) → 19:34着 本八戸	

自由民主・市民クラブ 行政視察行程

日程：令和4年8月29日（月）～8月31日（水）

視察先：沖縄県那覇市（壬生議員）

月日	行程	宿泊地
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 8月29日 (月)	<p>7:55発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 8:50着/9:45発 三沢空港 → (JAL152便) → 11:10着/13:35発 羽田空港第1T → (JAL917)</p> <p>16:10着/16:35発 → 那覇空港 → (モノレール) → 16:48着/16:53発 県庁前 → (徒歩) → 17:00着 ホテル <u>ゆいレール・てだこ浦西行</u></p>	那覇 市内泊
8月30日 (火)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>那覇市役所、第一牧志公設市場（10：00～12：00）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画について ・第一牧志公設市場再整備基本計画について（現地視察） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>沖縄県立美術館・博物館（13：30～15：30）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進のための取り組みについて ・ボランティア育成と活躍について 等 </div> <p>9:20 口ビに集合 → 9:30発 ホテル → (徒歩) → 9:45着/10:00～12:00 那覇市役所・第一牧志公設市場 → (徒歩) → 11:40着/11:48発 県庁前 → (モノレール) <u>ゆいレール・てだこ浦西行</u></p> <p>11:55着 → おもろまち → 12:00～13:00 (徒歩) → 13:15着/13:30～15:30 沖縄県立美術館・博物館 → (徒歩) → 15:45着/15:57発 おもろまち → (モノレール) <u>ゆいレール・那覇空港行</u></p> <p>16:05着/16:10発 → 県庁前 → (徒歩) → 16:15着 ホテル</p>	那覇 市内泊
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 8月31日 (水)	<p>10:15発 ホテル → (徒歩) → 10:20着/10:25発 県庁前 → (モノレール) → 10:38着/11:10発 那覇空港 → (JAL904) → 13:40着/15:10発 羽田空港第1T <u>ゆいレール・那覇空港行</u></p> <p>16:25着/16:40発 → (JAL157) → 三沢空港 → (連絡バス) → 17:30着 本八戸駅前</p>	

自由民主・市民クラブ 行政視察行程

日程：令和4年8月29日（月）～8月31日（水） 視察先：沖縄県那覇市（藤川議員）

月日	行程	宿泊地
移動日 8月29日 （月）	6:13発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → (はやぶさ4号) → 東京 → (JR京浜東北線) → 浜松町 6:23着/6:42発 9:23着/9:33発 9:39着/9:50発 10:06着/10:55発 → (東京モレール) → 羽田空港第1T → (JAL913) → 那覇空港 → (モノレール) → 県庁前 → (徒歩) ゆいレール・てだこ浦西行 13:40着/14:15発 14:28着 14:35着 → ホテル	那覇市内泊
8月30日 （火）	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>那覇市役所、第一牧志公設市場（10:00～12:00）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画について ・第一牧志公設市場再整備基本計画について（現地視察） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>沖縄県立美術館・博物館（13:30～15:30）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進のための取り組みについて ・ボランティア育成と活躍について 等 </div> </div> 9:20 口ビーに集合 → 9:30発 ホテル → (徒歩) → 那覇市役所・第一牧志公設市場 → (徒歩) → 県庁前 → (モノレール) ゆいレール・てだこ浦西行 11:40着/11:48発 11:55着 おもろまち → 12:00～13:00 (徒歩) → 13:15着/13:30～15:30 沖縄県立美術館・博物館 → (徒歩) → 15:45着/15:57発 おもろまち → (モノレール) ゆいレール・那覇空港行 16:05着/16:10発 県庁前 → (徒歩) → 16:15着 ホテル	那覇市内泊
移動日 8月31日 （水）	6:20発 ホテル → (徒歩) → 6:25着/6:30発 県庁前 → (モノレール) → 6:43着/7:15発 那覇空港 → (JAL900) → 9:45着/10:10発 羽田空港第1T ゆいレール・那覇空港行 10:28着/10:31発 浜松町 → (JR京浜東北線) → 10:36着/15:20発 東京 → ((はやぶさ31号) → 18:11着/18:25発 八戸 → (JR八戸線) → 18:34着 本八戸	

自由民主・市民クラブ 行政視察行程

日程：令和4年8月29日（月）～8月31日（水） 視察先：沖縄県那覇市（間議員、高山議員）

月日	行程	宿泊地
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 8月29日 （月）	8:45発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → (はやぶさ14号) → 東京 → (JR山手線・品川方面) → 浜松町 8:55着/9:05発 12:08着/12:18発 12:25着/12:30発 → (東京モレール) → 羽田空港第1T → (JAL917) → 那覇空港 → (モノレール) → 県庁前 → (徒歩) ゆいレール・てだこ浦西行 16:10着/16:45発 16:58着 → 17:05着 ホテル	那覇市内泊
8月30日 （火）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 那覇市役所、第一牧志公設市場（10:00～12:00） ・那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画について ・第一牧志公設市場再整備基本計画について（現地視察） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 沖縄県立美術館・博物館（13:30～15:30） ・利用促進のための取り組みについて ・ボランティア育成と活躍について 等 </div> 9:20 ロビーに集合 → 9:30発 ホテル → (徒歩) → 那覇市役所・第一牧志公設市場 → (徒歩) → 県庁前 → (モノレール) ゆいレール・てだこ浦西行 9:45着/10:00～12:00 11:40着/11:48発 → 11:55着 おもろまち → 12:00～13:00 (徒歩) → 13:15着/13:30～15:30 沖縄県立美術館・博物館 → (徒歩) → 15:45着/15:57発 おもろまち → (モノレール) ゆいレール・那覇空港行 16:05着/16:10発 → 16:15着 県庁前 → (徒歩) → ホテル	那覇市内泊
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 8月31日 （水）	9:15発 (ロビーに集合) ホテル → (徒歩) → 9:20着/9:25発 県庁前 → (モノレール) → 9:38着/10:05発 那覇空港 → (JAL902) → 12:35着/13:29発 羽田空港第1T ゆいレール・那覇空港行 13:48着/13:52発 13:59着/14:20発 17:04着/17:20発 → (東京モレール) → 浜松町 → (JR京浜東北線) → 東京 → (はやぶさ27号) → 八戸 → (JR八戸線) → 17:28着 本八戸	

自由民主・市民クラブ 行政視察行程

日程：令和4年8月29日（月）～8月31日（水） 視察先：沖縄県那覇市（久保議員）

月日	行程	宿泊地
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 8月29日 （月）	7:55発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 三沢空港 → (JAL152便) → 羽田空港第1T → (JAL915) 8:50着/9:45発 11:10着/11:45発 14:30着/15:05発 → 那覇空港 → (モノレール) → 県庁前 → (徒歩) → ホテル 15:18着/15:20発 15:25着 ゆいレール・てだこ浦西行	那覇市内泊
8月30日 （火）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 那覇市役所、第一牧志公設市場（10:00～12:00） ・那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画について ・第一牧志公設市場再整備基本計画について（現地視察） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 沖縄県立美術館・博物館（13:30～15:30） ・利用促進のための取り組みについて ・ボランティア育成と活躍について 等 </div> 9:20 ロビーに集合 → 9:30発 ホテル → (徒歩) → 9:45着/10:00～12:00 那覇市役所・第一牧志公設市場 → (徒歩) → 11:40着/11:48発 県庁前 → (モノレール) ゆいレール・てだこ浦西行 11:55着 → おもろまち → 12:00～13:00 (徒歩) → 13:15着/13:30～15:30 沖縄県立美術館・博物館 → (徒歩) → 15:45着/15:57発 おもろまち → (モノレール) ゆいレール・那覇空港行 16:05着/16:10発 16:15着 県庁前 → (徒歩) → ホテル	那覇市内泊
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 8月31日 （水）	10:20発 ホテル → (徒歩) → 10:30着/10:35発 県庁前 → (モノレール) → 10:48着/11:25発 那覇空港 → (JAL982) → 13:55着/15:10発 羽田空港第1T ゆいレール・那覇空港行 16:25着/16:40発 17:30着 → (JAL157) → 三沢空港 → (連絡バス) → 本八戸駅前	

自由民主・市民クラブ 行政視察行程

日程：令和4年8月29日（月）～8月31日（水） 視察先：沖縄県那覇市（山之内議員）

月日	行程	宿泊地
移動日 8月29日 (月)	6:42発 八戸 → (はやぶさ4号) → 東京 → (JR京浜東北線) → 浜松町 9:23着/9:33発 9:39着/9:50発 10:06着/10:55発 → (東京モルール) → 羽田空港第1T → (JAL913) → 那覇空港 → (モノレール) → 県庁前 → (徒歩) ゆいレール・てだこ浦西行 13:40着/14:15発 14:28着 14:35着 → ホテル	那覇市内泊
8月30日 (火)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>那覇市役所、第一牧志公設市場（10:00～12:00）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画について ・第一牧志公設市場再整備基本計画について（現地視察） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>沖縄県立美術館・博物館（13:30～15:30）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進のための取り組みについて ・ボランティア育成と活躍について 等 </div> </div> 9:20 口ビ-に集合 → 9:30発 ホテル → (徒歩) → 9:45着/10:00～12:00 那覇市役所・第一牧志公設市場 → (徒歩) → 11:40着/11:48発 県庁前 → (モノレール) ゆいレール・てだこ浦西行 11:55着 おもろまち → 12:00～13:00 (徒歩) → 13:15着/13:30～15:30 沖縄県立美術館・博物館 → (徒歩) → 15:45着/15:57発 おもろまち → (モノレール) ゆいレール・那覇空港行 16:05着/16:10発 県庁前 → (徒歩) → 16:15着 ホテル	那覇市内泊
移動日 8月31日 (水)	9:15発 ホテル → (徒歩) → 9:20着/9:25発 県庁前 → (モノレール) → 9:38着/10:05発 那覇空港 → (JAL902) → 12:35着/13:29発 羽田空港第1T ゆいレール・那覇空港行 13:48着/13:52発 浜松町 → (JR京浜東北線) → 13:59着/16:20発 東京 → (はやぶさ35号) → 19:08着 八戸	

自由民主・市民クラブ 行政視察行程

日程：令和4年8月28日（日）～8月31日（水）

視察先：沖縄県那覇市（工藤議員）

月日	行程	宿泊地
移動日 8月29日 (月)	10:07発 東京 → (JR京浜東北・根岸線) → 10:14着/10:20発 浜松町 → (東京モルル) → 10:38着/11:25発 羽田空港第2T → (ANA471) 14:15着/14:45発 那覇空港 → (モルル) → 14:58着 県庁前 → (徒歩) → 15:05着 ホテル <small>ゆいレール・てだこ浦西行</small>	那覇市内泊
8月30日 (火)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 48%;"> <p>那覇市役所、第一牧志公設市場（10：00～12：00）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画について ・第一牧志公設市場再整備基本計画について（現地視察） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 48%;"> <p>沖縄県立美術館・博物館（13：30～15：30）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進のための取り組みについて ・ボランティア育成と活躍について 等 </div> </div> 9:20 口ビーに集合 → 9:30発 ホテル → (徒歩) → 9:45着/10:00～12:00 那覇市役所・第一牧志公設市場 → (徒歩) → 11:40着/11:48発 県庁前 → (モルル) → 11:55着 おもろまち → 12:00～13:00 (徒歩) → 13:15着/13:30～15:30 沖縄県立美術館・博物館 → (徒歩) → 15:45着/15:57発 おもろまち → (モルル) → 16:05着/16:10発 県庁前 → (徒歩) → 16:15着 ホテル <small>ゆいレール・てだこ浦西行</small> <small>ゆいレール・那覇空港行</small>	那覇市内泊
移動日 8月31日 (水)	11:05発 ホテル → (徒歩) → 11:10着/11:15発 県庁前 → (モルル) → 11:28着/12:05発 那覇空港 → (ANA464) → 14:30着/14:59発 羽田空港第2T <small>ゆいレール・那覇空港行</small> 15:18着/15:22発 浜松町 → (JR京浜東北線) → 15:26着/16:20発 東京 → (はやぶさ35号) → 19:08着 八戸	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-1
----	-------	----	----	------	-----

領 収 書 等 貼 付 欄

領 収 書

No. 2146

日付 2022年 08月 30日

車番 0602 0000

基本運賃 ¥560円

合計 ¥560円

上記の様に領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。



自由民・市民777様

市役所 → 公設市場

毎度ご乗車有り難うございます。

お忘れ物 お問い合わせは
下記までご連絡下さい。

株式会社 てだこ第一交通

沖縄県浦添市港川 2-25-3
TEL 098-942-4310
FAX 098-878-3747

自由民・市民777様
市役所 → 公設市場

領 収 書

No. 6920

日付 2022年 08月 30日

車番 000106 000

基本運賃 ¥560円

合計 ¥560円

上記の通り領収致しました

ご乗車有難う御座います。

お忘れ物 お問い合わせは
下記までご連絡下さい。

株式会社 丸ニタクシー

豊見城市真玉橋119番地の1
TEL 098-840-6464

領 収 書

2022年 08月 30日 -006

メーター運賃 ¥560円

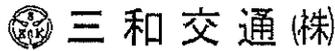
運賃料金計 ¥560円

合計 ¥560円

現金支払 ¥560円

無線番号 0327

ご乗車ありがとうございます。



沖縄県島尻郡南風原町字新川420-6

☎ 0120-100-084

自由民・市民777様

市役所 → 公設市場

領 収 書

2022年 08月 30日 -004

メーター運賃 ¥560円

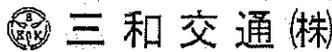
運賃料金計 ¥560円

合計 ¥560円

現金支払 ¥560円

無線番号 0276

ご乗車ありがとうございます。



沖縄県島尻郡南風原町字新川420-6

☎ 0120-100-084

自由民・市民777様

市役所 → 公設市場

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-2
----	-------	----	----	------	-----

領 収 証

No. 121356

2022年 9月 6日

立花 敬之 様

金額	¥ 9,9660
----	----------

但し 8/29~31 沖縄視察旅費として (航空券・宿泊)

内消費税 円 上記の金額正に領収致しました。



現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-2
----	-------	----	----	------	-----

ご旅行代金請求書

~~岡田 英議員、小屋敷 孝議員~~
立花 敬之議員 様

令和4年9月8日
北日本トラベル株式会社
 店長 久保 健一
 青森県八戸市廿三日町4-1
 電話 0178-22-5151
 担当 [REDACTED]

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積りさせていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 3名様
 ご旅行期間 令和4年8月29日(月)～8月31日(水)
 ご旅行方面 沖縄 那覇方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります

お一人様当り 93,660 円 総旅行代金 280,980 円

内訳

項目	人員	ご利用 代金	台数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空代金	3	72,760			218,280	三次空港～那覇空港 往復
宿泊代金	3	20,900			62,700	8/29.30 ホテルロコアナハ 朝付
金額小計	3	93,660			280,980	[1]
消費税						
その他税						
諸税計						[2]
金額合計	3	93,660			280,980	[1]+[2]諸税を含んだ額

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-3
領収書等貼付欄					

領 収 証

No. 121360

2022年9月6日

坂本美洋 様

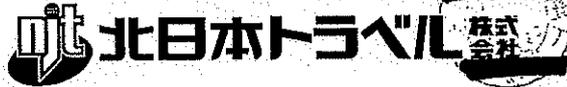
金額	¥95760
----	--------

但し 8/9~31 沖縄視察取費として (航空券・宿泊)

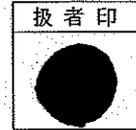
内消費税 円 上記の金額正に領収致しました。



現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-3
----	-------	----	----	------	-----

ご旅行代金請求書

坂本 美洋議員 様

令和4年9月6日

北日本トラベル株式会社

店長 久保 健興
 青森県八戸市廿三日町4-1
 電話 0178-22-5151
 担当 [REDACTED]

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積りさせていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名様
 ご旅行期間 令和4年8月29日(月)～8月31日(水)
 ご旅行方面 沖縄 那覇方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります

お一人様当り 95,760円 総旅行代金 95,760円

内訳

項目	人員	ご利用 代金	台数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空代金	1	74,860			74,860	三沢空港～那覇空港 往復
宿泊代金	1	20,900			20,900	8/29.30 ホテルロコアナハ 朝付
金額小計	1	95,760			95,760	[1]
消費税						
その他税						
諸税計						[2]
金額合計	1	95,760			95,760	[1]+[2]諸税を含んだ額

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-4
領収書等貼付欄					

領 収 証

2022年 8月 4日

松橋 知 様

金28,920円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
本八戸801 No.000009



領 収 証

No. 121365

2022年 9月 6日

松橋 知 様

金額 ¥47,000

但し 8/9~31 沖繩視察旅行として
(航空券、宿泊)

内 消費税 円 上記の金額正に領収致しました。

貼 収
用 入
印 紙

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)

扱 者 印



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-4
----	-------	----	----	------	-----

ご旅行代金請求書

日當 正男議員、松橋 知議員 様

令和4年9月6日

北日本トラベル株式会社

店長 久保 健興
 青森県八戸市廿三日町4-1
 電話 0178-22-5151
 担当 [Redacted]

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積りさせていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 2名様
 ご旅行期間 令和4年8月29日(月)～8月31日(水)
 ご旅行方面 沖縄 那覇方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります

お一人様当り 47,000 円 総旅行代金 94,000 円

内訳

項目	人員	ご利用 代金	台数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空代金	2	27,420			54,840	羽田空港～那覇空港 往復
宿泊代金	2	10,450			20,900	8/29 ホテルロコアナハ 朝付
	2	9,130			18,260	8/30 " 朝食なし
金額小計	2	47,000			94,000	[1]
消費税						
その他税						
諸税計						[2]
金額合計	2	47,000			94,000	[1]+[2]諸税を含んだ額

お見積特記事項

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-5
領収書等貼付欄					

領 収 証

No. 121363

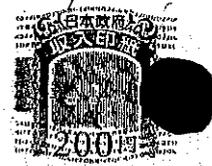
2022年9月6日

壬生八十博 様

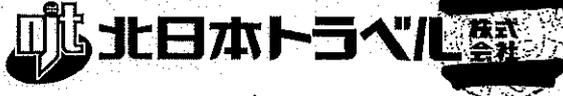
金額	¥	1	1	7	20
----	---	---	---	---	----

但し 8/29~31 沖縄視察旅費Y1K
(航空券1泊1)

内消費税 円 上記の金額正に領収致しました。



現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-5
----	-------	----	----	------	-----

ご旅行代金請求書

壬生 八十博議員 様

令和4年9月6日
北日本トラベル株式会社
 店長 久保 健興
 青森県八戸市廿三日町4-1
 電話 0178-22-5151
 担当 [Redacted]

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積りさせていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名様
 ご旅行期間 令和4年8月29日(月)～8月31日(水)
 ご旅行方面 沖縄 那覇方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります

お一人様当り 111,720 円 総旅行代金 111,720 円

内訳

項目	人員	ご利用 代金	台数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空代金	1	93,460			93,460	三沢空港～那覇空港 往復
宿泊代金	1	18,260			18,260	8/29.30 ホテルロコアナハ 朝食なし
金額小計	1	111,720			111,720	[1]
消費税						
その他税						
諸税計						[2]
金額合計	1	111,720			111,720	[1]+[2]諸税を含んだ額

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-6
領収書等貼付欄					

領 収 証

No. 121355

2022年 9月 6日

小屋敷 孝 様

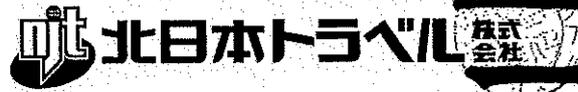
金額	¥ 93660
----	---------

但し 8/9~31 沖縄視察旅費として
(航空券、宿泊)

内消費税 円 上記の金額正に領収致しました。



現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151代

扱者印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-6
----	-------	----	----	------	-----

ご旅行代金請求書

岡田 英議員、小屋敷 孝議員

立花 敬之議員 様

令和4年8月31日

北日本トラベル株式会社

店長 久保 健男

青森県八戸市廿三日町4-1

電話 0178-22-5151

担当 _____

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積りさせていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 3名様
 ご旅行期間 令和4年8月29日(月)～8月31日(水)
 ご旅行方面 沖縄 那覇方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります

お一人様当り 93,660円 総旅行代金 280,980円

内訳

項目	人員	ご利用 代金	台数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空代金	3	72,760			218,280	三沢空港～那覇空港 往復
宿泊代金	3	20,900			62,700	8/29.30 ホテルロコアナハ 朝付
金額小計	3	93,660			280,980	[1]
消費税						
その他税						
諸税計						[2]
金額合計	3	93,660			280,980	[1]+[2]諸税を含んだ額

お見積特記事項

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-7
領収書等貼付欄					

領 収 証

2022年 8月26日

藤川 優里 様

金41,360円

ただし、乗車券類代 (クレジットカードによるご利用分) として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
八戸802 No.000052

領 収 証

No. 121366

2022年 9月 6日

藤川 優里 様

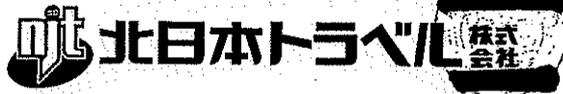
金額 ￥53400

但し 8/29~31 沖糸視察旅費として
(切符券別注)

内消費税 4855 円 上記の金額正に領収致しました。

貼 収
用 入
印 紙

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151代

扱 者 印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-7
----	-------	----	----	------	-----

ご旅行代金請求書

藤川 優里議員 様

令和4年9月6日

北日本トラベル株式会社

店長 久保 健興

青森県八戸市廿三日町4-1

電話 0178-22-5151

担当 [REDACTED]

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積りさせていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名様
 ご旅行期間 令和4年8月29日(月)～8月31日(水)
 ご旅行方面 沖縄 那覇方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります

お一人様当り 53,400 円 総旅行代金 53,400 円

内訳

項目	人員	ご利用 代金	台数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空代金	1	33,820			33,820	羽田空港～那覇空港 往復
宿泊代金	1	10,450			10,450	8/29 ホテルロコアナハ 朝付
	1	9,130			9,130	8/30 " 朝食なし
金額小計	1	53,400			53,400	[1]
消費税						
その他税						
諸税計						[2]
金額合計	1	53,400			53,400	[1]+[2]諸税を含んだ額

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-8
領収書等貼付欄					

領収書

WEB ab728198f6-00000-182856-0-1100

表示日 2023年04月24日(月)

工藤悠平

様

金額	¥57,320- (税込) クレジット支払い (消費税10%対象 ¥57,320- (税込))	航空券番号	1010329268079014	1010329268079025
		照会番号	9ECYD0	

但し 運賃および税金・料金等

航空券発行日 2022年08月23日(火)

上記、正に領収いたしました。

ANA A STAR ALLIANCE MEMBER ☆

全日本空輸株式会社 All Nippon Airways Co., Ltd.

航空券明細

WEB ab728198f6-00000-182856-0-1100

表示日 2023年04月24日(月)

ご搭乗者名/照会番号

クドウ ユウヘイ様 (9ECYD0)

搭乗日	便名	区間	クラス	運賃	運賃額等(税込)	運賃適用基準日
2022年08月29日(月)	ANA471	東京(羽田) - 沖縄(那覇)	普通席	バリュー-3G	¥30,210-	2022年08月23日(火)
2022年08月31日(水)	ANA464	沖縄(那覇) - 東京(羽田)	普通席	バリュー-3H	¥27,110-	2022年08月23日(火)

合計金額

¥57,320-

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-9
領収書等貼付欄					

領 収 証

No. 121923

2022年9月6日

高山元延 様

金額	¥ 5,152.00
----	------------

貼 収
用 入
印 紙

但し8/29~31 沖縄視察旅費4,120
(旅費券 宿泊)

内消費税 468.4 円 上記の金額正に領収致しました。

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)

扱者印

ND. 12/22 / 再発行

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅 費	整理番号	3-9
-----	-------	-----	-----	------	-----

ご旅行代金請求書

間一盛仁議員、高山元延議員 様

令和4年9月6日

北日本トラベル株式会社

店長 久保 健男

青森県八戸市廿三日町4-1

電話 0178-22-5151

担当 [Redacted]

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積りさせていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 2名様
 ご旅行期間 令和4年8月29日(月)～8月31日(水)
 ご旅行方面 沖縄 那覇方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります

お一人様当り 51,520 円 総旅行代金 103,040 円

内訳

項目	人員	ご利用 代金	台数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空代金	2	30,620			61,240	羽田空港～那覇空港 往復
宿泊代金	2	20,900			41,800	8/29.30 ホテルロコアナハ 朝付
金額小計	2	51,520			103,040	[1]
消費税						
その他税						
諸税計						[2]
金額合計	2	51,520			103,040	[1]+[2]諸税を含んだ額

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-10
領収書等貼付欄					

領 収 証

2022年 8月19日

日當正男様

金41,360円

ただし、8/29~東京往復乗車券類代として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納付につき渋谷税務署承認済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
 鮫401 No.000009

領 収 証

No. 121364

2022年 9月6日

日當正男様

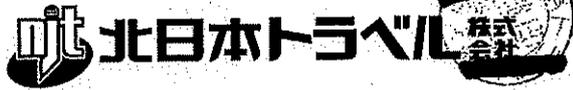
金額 ¥47000

但し 8/29~9/31 沖繩観光旅費と12 (敬啓者: 柏油)

内消費税 円 上記の金額正に領収致しました。

貼 収入印紙
用 紙

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
 TEL (0178) 22-5151(代)

扱者印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-10
----	-------	----	----	------	------

ご旅行代金請求書

日當, 正男議員、松橋一知議員 様

令和4年9月6日
北日本トラベル株式会社
 店長 久保 健興
 青森県八戸市廿三日町4-1
 電話 0178-22-5151
 担当 [REDACTED]

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積りさせていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 2名様
 ご旅行期間 令和4年8月29日(月)~8月31日(水)
 ご旅行方面 沖縄 那覇方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります

お一人様当り **47,000**円 総旅行代金 **94,000**円

内訳

項目	人員	ご利用 代金	台数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空代金	2	27,420			54,840	羽田空港~那覇空港 往復
宿泊代金	2	10,450			20,900	8/29 ホテルロコアナハ 朝付
	2	9,130			18,260	8/30 " 朝食なし
金額小計	2	47,000			94,000	[1]
消費税						
その他税						
諸税計						[2]
金額合計	2	47,000			94,000	[1]+[2]諸税を含んだ額

お見積特記事項

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-11
領収書等貼付欄					

領 収 証

No. 121354

2022年 9 月 6 日

岡田 英 様

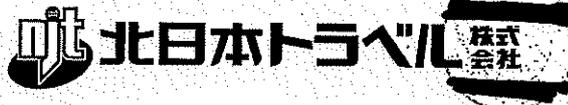
金額	¥ 9,566.0
----	-----------

但し9/9~5/1 沖縄観光振興会
(振込金・領収)

内 消費税 円 上記の金額正に領収致しました。



現金	✓
小切手	
振込	
外注	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-11
----	-------	----	----	------	------

ご旅行代金請求書

岡田 英議員、~~中屋敷 孝議員~~
立花 敬之議員 様

令和4年9月10日

北日本トラベル株式会社
 店長 久保 健博
 青森県八戸市廿三日町4-1
 電話 0178-22-5151
 担当 

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積りさせていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 3名様
 ご旅行期間 令和4年8月29日(月)～8月31日(水)
 ご旅行方面 沖縄 那覇方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります

お一人様当り 93,660円 総旅行代金 280,980円

内訳

項目	人員	ご利用 代金	台数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空代金	3	72,760			218,280	三沢空港～那覇空港 往復
宿泊代金	3	20,900			62,700	8/29.30 ホテルロコアナハ 朝付
金額小計	3	93,660			280,980	[1]
消費税						
その他税						
諸税計						[2]
金額合計	3	93,660			280,980	[1]+[2]諸税を含んだ額

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-12
領収書等貼付欄					

領 収 証

No. 121922

2022年9月6日

久保百恵 様

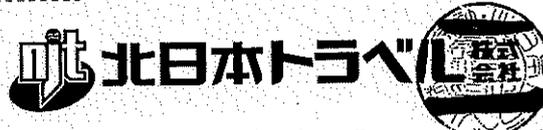
金額	¥94260
----	--------

但し 8/29~31 沖縄視察旅費として
(航空券、宿泊)

内消費税 円 上記の金額正に領収致しました。



現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDEビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)

扱者印

No. 121359 再発行

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-12
領収書等貼付欄					

ご旅行代金請求書

久保 百恵議員 様

令和4年9月6日
 北日本トラベル株式会社
 店長 久保 健真
 青森県八戸市廿三日町4-1
 電話 0178-22-5151
 担当 [Redacted]

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積りさせていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名様
 ご旅行期間 令和4年8月29日(月)～8月31日(水)
 ご旅行方面 沖縄 那覇方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります

お一人様当り 94,260 円 総旅行代金 94,260 円

内訳

項目	人員	ご利用 代金	台数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空代金	1	73,360			73,360	三次空港～那覇空港 往復
宿泊代金	1	20,900			20,900	8/29.30 ホテルロコアナハ 朝付
金額小計	1	94,260			94,260	[1]
消費税						
その他税						
諸税計						[2]
金額合計	1	94,260			94,260	[1]+[2]諸税を含んだ額

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-12
----	-------	----	----	------	------

領 収 証

No. 73653

2022年8月29日

久保百恵様

青森県十和田市稲生町17番3号
TEL 0176(23)3131



十和田観光電鉄株式会社

代表取締役 佐藤 洋

登録番号

下記の通り領収いたします。

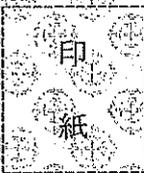
領収金額 ¥1,500- (税込)

ただし バス運賃代として

担当

軽減税率	内 訳	個数	単価	金額
	ハ州市内 ↔ 三沢空港前			

(※印) 軽減税率対象



合計				消費税			
10%対象				消費税			
8%対象				消費税			

領収証

久保百恵様

ご利用日付 2022年8月29日 時刻 14時42分

券番号 : 4868

取引内容 : 乗車券類購入 金 270円

伝票番号 : 47326

沖縄都市モノレール株式会社

ご利用ありがとうございます。

那覇空港 03券発行

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-12
----	-------	----	----	------	------

領 収 証

No 73654

2022年8月31日

久保百恵様

青森県十和田市稲生町17番3号
TEL 0176(23)3131



十和田観光電鉄株式会社
代表取締役 佐藤 行洋



下記の通り領収いたします。

領収金額 ¥1,500- (税込)

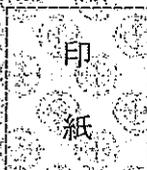
登録番号

ただしバス運賃代として

担当

軽減税率	内 訳	個数	単価	金額
	ハ州市内 ↔ 三沢空港前			

(※印) 軽減税率対象



合計			消費税	
10%対象			消費税	
8%対象			消費税	

領収証

久保百恵様

ご利用日付 2022年8月31日 時刻 08時38分

券番号: 7895

取引内容: 乗車券類購入 金 270円

伝票番号: 24655 十和田観光電鉄株式会社

ご利用ありがとうございます。 県庁前 02券発行

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-13
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

2022年 8月27日

間 盛仁 様

金39,260円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 汲 谷
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
本八戸802 No.000005

領 収 証

No.121357

2022年 9月 6日

間 盛仁 様

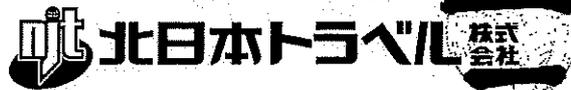
金 額 ¥ 51,520

但し 8/29~31 沖縄視察旅費として
(航空券、宿泊)

内 消費税 4,684 円 上記の金額正に領収致しました。

貼 収
用 入
印 紙

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDBビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)

扱 者 印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-13
----	-------	----	----	------	------

ご旅行代金請求書

間 盛仁議員、高由元延議員 様

令和4年9月6日

北日本トラベル株式会社

店長 久保 健興
 青森県八戸市廿三日町4-1
 電話 0178-22-5151
 担当 [Redacted]

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積りさせていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 2名様
 ご旅行期間 令和4年8月29日(月)~8月31日(水)
 ご旅行方面 沖縄 那覇方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります

お一人様当り 51,520 円 総旅行代金 103,040 円

内訳

項目	人員	ご利用 代金	台数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空代金	2	30,620			61,240	羽田空港~那覇空港 往復
宿泊代金	2	20,900			41,800	8/29.30 ホテルロコアナハ 朝付
金額小計	2	51,520			103,040	[1]
消費税						
その他税						
諸税計						[2]
金額合計	2	51,520			103,040	[1]+[2]諸税を含んだ額

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-13
領収書等貼付欄					

領収証

利用年月日 2022年08月29日
 間 登仁 様

取引内容 乗車券発売
 ご利用金額 500円

・毎度ありがとうございます。
 ・この領収証は大切に保存してください。

発売駅名 モノレール浜松町
 券機番号 券A08
 伝票番号 4766
 東京モノレール株式会社

領収証

利用年月日 2022年08月31日
 間 登仁 様

取引内容 乗車券発売
 ご利用金額 500円

・毎度ありがとうございます。
 ・この領収証は大切に保存してください。

発売駅名 羽田空港第1
 券機番号 券B02
 伝票番号 8410
 東京モノレール株式会社

領収証 間 登仁 様

ご利用日付 2022年-8月29日 時刻 16時22分
 券番号 : 1339
 取引内容 : 乗車券類購入 金 270円

伝票番号 : 35287 沖縄都市モノレール株式会社
 ご利用ありがとうございます。 那覇空港 04券発行

領収証 間 登仁 様

ご利用日付 2022年-8月31日 時刻 08時24分
 券番号 : 2846
 取引内容 : 乗車券類購入 金 270円

伝票番号 : 00597 沖縄都市モノレール株式会社
 ご利用ありがとうございます。 県庁前 01券発行

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-14
----	-------	----	----	------	------

領 収 証

No. 121361

2022年 9月 6日

山之内 悠 様

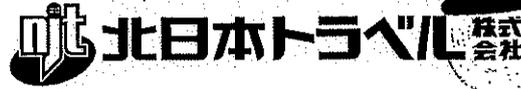
金額	¥20900
----	--------

但し 8/29~31 沖縄視察旅費(宿泊)

内消費税 円 上記の金額正に領収致しました。

貼 収入印紙
用 紙

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)



発行日 2022年09月26日11時01分
発行番号 No.E050360058231120829

えきねっと ご利用票兼領収書
下記の金額を、確かに領収しました。

東日本旅客鉄道株式会社

宛名	山之内 悠 様
金額	¥40,960(税込) クレジットカード利用(カード番号下4桁: XXXXXXXX)
但し	きっぷのご購入代金として

きっぷの明細 (行きの列車)

予約番号	E05036
購入日	2022年08月31日
乗車日	2022年08月29日
列車名・区間	○はやぶさ4号グリーン(乗車券込み) 八戸 → 東京
ご利用人数	おとな1名

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-14
領収書等貼付欄					

発行日 2022年09月26日11時01分
発行番号 No.E050360058231120829

えきねっと ご利用票兼領収書

東日本旅客鉄道株式会社

きっぷの明細 (帰りの列車)

予約番号 E05036

購入日 2022年08月31日

乗車日 2022年08月31日

列車名・区間 ○はやぶさ35号グリーン(乗車券込み)

東京 → 八戸

ご利用人数 おとな1名

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-14
領収書等貼付欄					

		領収書 RECEIPT	1005170661
下記の金額正に領収致しました。			
RECEIVED FROM	山之内 悠 様		印紙税申告納 付につき品川 税務署承認済
THE SUM OF	¥25,710- (税込) (TAX INCLD.)		
但し運賃/料金として IN PAYMENT OF AIR FARE-FREIGHT			
航空券番号 TICKET NUMBER	1312437566351	羽田 - 那覇	
関連航空券番号 OTHERS	*****	8月29日	
発券日 DATE OF ISSUE	2022年06月21日		
備考 REMARKS	クレジット (MD)	¥25,710	
発行：日本航空株式会社 HNDJL0093		2022年08月29日	

		領収書 RECEIPT	1005177564
下記の金額正に領収致しました。			
RECEIVED FROM	山之内 悠 様		印紙税申告納 付につき品川 税務署承認済
THE SUM OF	¥18,010- (税込) (TAX INCLD.)		
但し運賃/料金として IN PAYMENT OF AIR FARE-FREIGHT			
航空券番号 TICKET NUMBER	1312437566406	那覇 - 羽田	
関連航空券番号 OTHERS	*****	8月31日	
発券日 DATE OF ISSUE	2022年06月21日		
備考 REMARKS	クレジット (MD)	¥18,010	
発行：日本航空株式会社 OKAJL0093		2022年08月31日	

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	3-15								
領収書等貼付欄													
<p>自由民主・市民クラブ様</p>  <p>沖縄県立博物館・美術館 Okinawa Prefectural Museum and Art Museum</p>  <p>窓口券売機2号機 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1 沖縄県立博物館・美術館 TEL 098-941-8200 FAX 098-941-2392</p> <p>2022/08/30 13:30 [No 001-2208-004361-001]</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">1Day Passport 一般</td> <td style="text-align: right;">¥30,160内 (13 * @2320)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td style="text-align: right;">¥30,160</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">¥30,160</td> </tr> <tr> <td>お預り</td> <td style="text-align: right;">¥30,160</td> </tr> </table> <p>来店人数 13人 来店No 0010220220804367 スタッフ 店長</p> <p>1.本券は発行日のみ有効です 2.本券の払い戻し、再発行はいたしません 1.This ticket is valid for the day. 2.No refunds and No reissue of lost</p>						1Day Passport 一般	¥30,160内 (13 * @2320)	小計	¥30,160	合計	¥30,160	お預り	¥30,160
1Day Passport 一般	¥30,160内 (13 * @2320)												
小計	¥30,160												
合計	¥30,160												
お預り	¥30,160												

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

視察調査報告書

- | | |
|----------|--|
| 1. 視察調査地 | ①沖縄県那覇市泉崎1丁目1-1
那覇市役所会議室
②沖縄県那覇市松尾2丁目7-10
第一牧志公設市場（新市場）建設現場
同 上 （仮設市場）店舗施設 |
| 2. 視察日時 | 令和4年8月30日 AM10:00～12:00 |
| 3. 視察事項 | ①那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画について
②第一牧志公設市場再整備基本計画について |
| 4. 視察対応 | 那覇市経済観光部なはまち振興課 課長 宮 里 仁 氏
同 上 主幹 上 原 晃 氏
同 上 第一牧志公設市場建設室
主幹 慶田城用世 氏
那覇市 議会事務局調査法制課 主査 国 頭 洋 介 氏 |
| 5. 視察議員 | 立花敬之 山之内悠 間 盛仁 久保百恵 岡田 英
日當正男 高山元延 工藤悠平 藤川優里 小屋敷孝
壬生八十博 松橋 知 坂本美洋 |

I 視察調査目的

八戸市においては、地域の「顔」である中心市街地が利便性と魅力を取り戻すことにより、地域の人々が交流し、かつ賑わう場所となることを目指し、商業や医療、福祉、教育、そして行政などの多様な機能集積を図るとともに、交通機関の充実、居住環境の整備により、市民はもとより、国内外の観光客にとっても快適な、魅力的な「街づくり」の形成を進めている。

故に、当市にあっては「八戸中心市街地活性化基本計画」を平成20年7月に第1期とし、本格的に取り組みを開始、平成25年3月には第2期、そして平成30年11月に第3期の計画が国より認定を受け、現在に至っている。

以上のことから、私ども自由民主・市民クラブの視察団においては、やはり中心市街地に対する思いを共有する沖縄県那覇市における「中心市街地の活性化に関する基本計画について」の内容を調査し、八戸市の中心市街地活性化政策に反映させるべく視察するものである。

また、もう1つの調査項目である「第一牧志公設市場再整備基本計画について」は、現在八戸市の「市営魚菜小売市場」が、本年12月のオープンに向けてリニューアル工事中である。

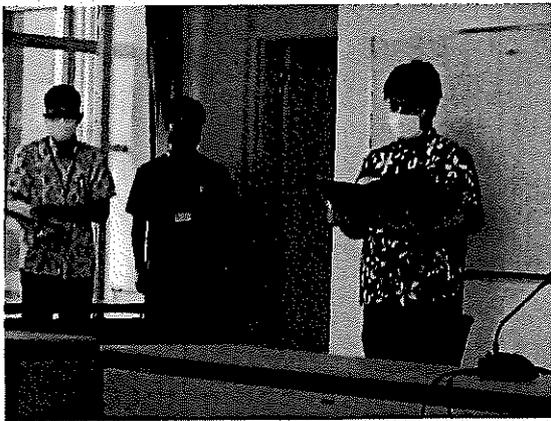
そのことから、同市場が市民はもとより、国内外の観光客の方々に親しまれ、よりよく発展し、八戸市の経済活性化あるいは、にぎわい創出に寄与すべく、那覇市の観光地としても有名な「第一牧志公設市場」の再整備計画を現地調査し、かつ応急的に現在開設している仮設市場を視察するものである。

II 視察調査内容

まず初めに、那覇市議会事務局 国頭洋介 主査より、司会進行をしていただき、那覇市役所からは、経済観光部なはまち振興課 宮里仁 課長より、歓迎の御挨拶を頂戴したのである。

続いて、私ども視察団を代表して、立花敬之団長より、八戸市における中心市街地の課題に触れ、また現在建設中である市営魚菜市場の現状等を提起して、視察調査の受入れに対して深甚なる謝意を述べられたのである。

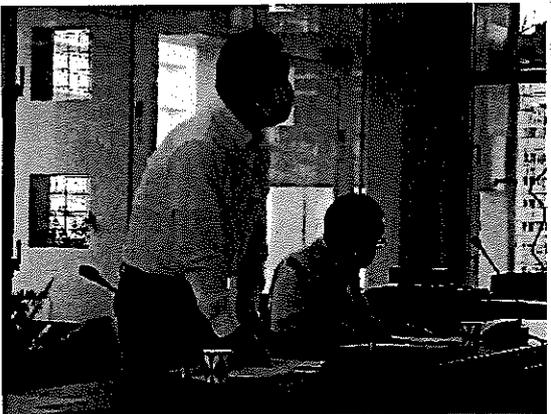
その後、今回の視察対応職員の、なはまち振興課 上原晃 主幹及び第一牧志公設市場建設室 慶田城用世 主幹より、講義説明がなされた。



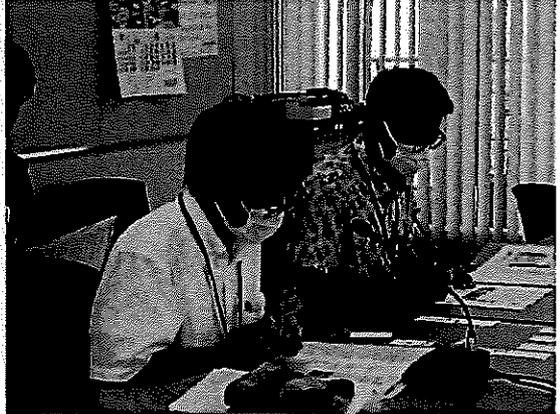
国頭主査



宮里課長



立花団長



左 上原主幹 右 慶田城主幹

(1) 那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画について

《 概要 》

その計画期間としては、平成28年(2016)度を初年とし、令和7年(2025)度までの10年間であり、めざす将来像としては、「県都にふさわしい活力あるまち」そして、その基本方針は「誰もが暮らしたくなる“まち”をつくる。「誰もが来たくなる“まち”をつくる」とのことである。

つまり、市民の誰もが暮らしたくなる街づくりであり、また国内外の観光客誰もが来たくなるような街づくりなのだ。

沖縄県はもとより、那覇市は国内の観光客、海外からのインバウンド観光客が訪れる屈指の観光地でもあることから、その来訪者においては群を抜いていることは言うまでもない。

《 課題 》

そのことから、その抱える課題として、中心市街地における①建物の老朽化と狭隘道路 ②地価下落 ③人口減少 ④少子高齢化による人口構成 ⑤事業所数、従業員数の減少 ⑥商業の衰退 ⑦市民の商店街離れ ⑧道路の混雑 ⑨公共公益施設の利用者数減少 ⑩防災上の問題 ⑪地域コミュニティの希薄化と、以上11項目を挙げる。

《 基本計画 》

そこで、この基本計画においては、その活性化施策として5つの分野を展開したいというのである。

- (1) 市街地の整備改善
- (2) 商業の活性化
- (3) まちなか居住の推進
- (4) 都市福利施設の整備
- (5) 交通環境の整備促進

以上の分野を設定して、それぞれ必要性に応じた施策を展開するということであった。

《 目標 》

その上で、3つの目標と数値目標を提示するのである。

- 目標1 暮らしやすいまち
- 目標2 賑わいを楽しむまち
- 目標3 経済活動が活発なまち

数値目標としては

- (1) 暮らしやすいまちにおける居住人口の増加
- (2) 賑わいを楽しむまちにおける歩行者通行量の増加

(3) 経済活動が活発なまちにおけるの事業所数と従業員数の増加とのことである。

《 評価 》

そこで、現在までの中間時点の評価としては、事業進捗状況としては 83 事業を展開し、着手率 86%、完了予定率は 78%であるという。

その中で一定の成果が見込まれるのは、農連市場地区防災街区整備事業と農連市場の再整備が行われ、あらたなマチグラー空間が生まれたこと。多子世帯向けの市営住宅が建設されたこと。老朽化した第一牧志公設市場の建替え、また中心商店街のアーケード再整備の補助制度の創設。

であるという。

《 所感 》

以上、那覇市における「中心市街地活性化に関する基本計画」の概要について講義を受けた。

まさに、この内容は当八戸市における課題や計画、そして目標とするところも同様で共有するものが多々ある。

ただ異なる点は、沖縄県あるいは那覇市は、国内はもとより海外からの観光客が多数訪れる、全国屈指の観光商業の街であることは確かなことである。

故に、このことを参考にすれば、当八戸市においてもどのような施策を展開し、どのように推進すればいいのか、その方向性を示唆することができる。

その意味においても有意義な調査学習であった。

(2) 第一牧志公設市場再整備基本計画について

《 概要 》

同市場は、昭和 25 年 (1950) に開設し、昭和 47 年 (1972) に鉄筋コンクリート 2 階建に改築し、「第一牧志公設市場」と名称を変更し、現在に至っているという。

その間、市民の台所として親しまれ、近年は同市場を拠点とした周辺商店街一帯 (マチグラー) が観光地としての魅力を高め、国内外からは多くの観光客が訪れる人気観光エリアとなっている場所でもある。

そこには年間 220 万人が訪れるということであった。

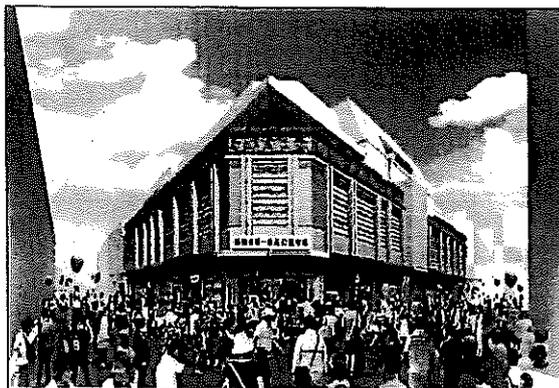
しかしながら、その老朽化、耐震問題もあり、令和元年 (2019) 6 月に閉場し、新たな再整備計画がスタートしたとのことである。

ここには (1) で上述した中心市街地活性化とも連動するものであって、マチグラーの良さを活かした地域観光に寄与する中核施設としての再整備計画であり、来場者の安全確保、バリアフリーの向上、衛生環境の改善を急務とし、沖縄の新たな観光資源と

して、大きな期待を寄せる誘客施設の構築であるという。

《 事業目的 》

その事業目的は、(1) 沖縄県の食の魅力の発信拠点 (2) 「食」を中心とした生活文化を体感する街歩き拠点 (3) 中心市街地の回遊性と集客力の向上 (4) 中心市街地への来訪者、観光客の拡充 を目的としての市場整備である。



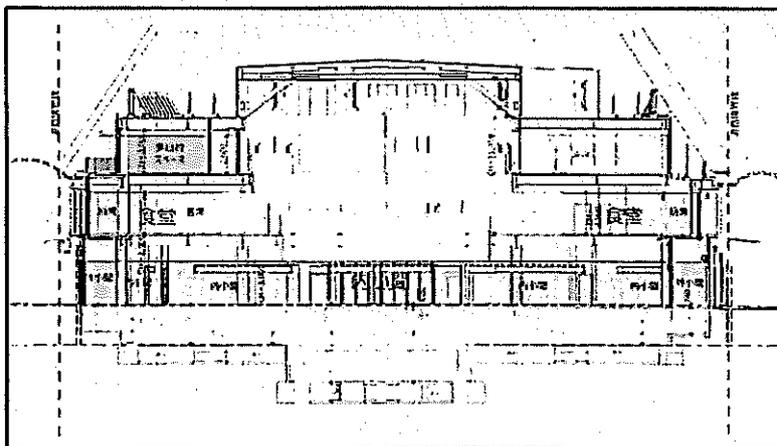
【新市場完成イメージ図】

《 財源 》

その財源としては、1. 沖縄振興特別推進市町村交付金（ソフト交付金）と、2. 沖縄振興特定事業推進費市町村補助金（令和元年度創設）である。

《 施設概要 》

1. 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造り地上3階建て
2. 面積は、約1,545.21㎡ 延床面積 約5,577.69㎡
3. 工事費は、総額 約36億4千万円
4. 令和4年12月オープン予定
5. 配置店舗数は 88店舗



【断面図】

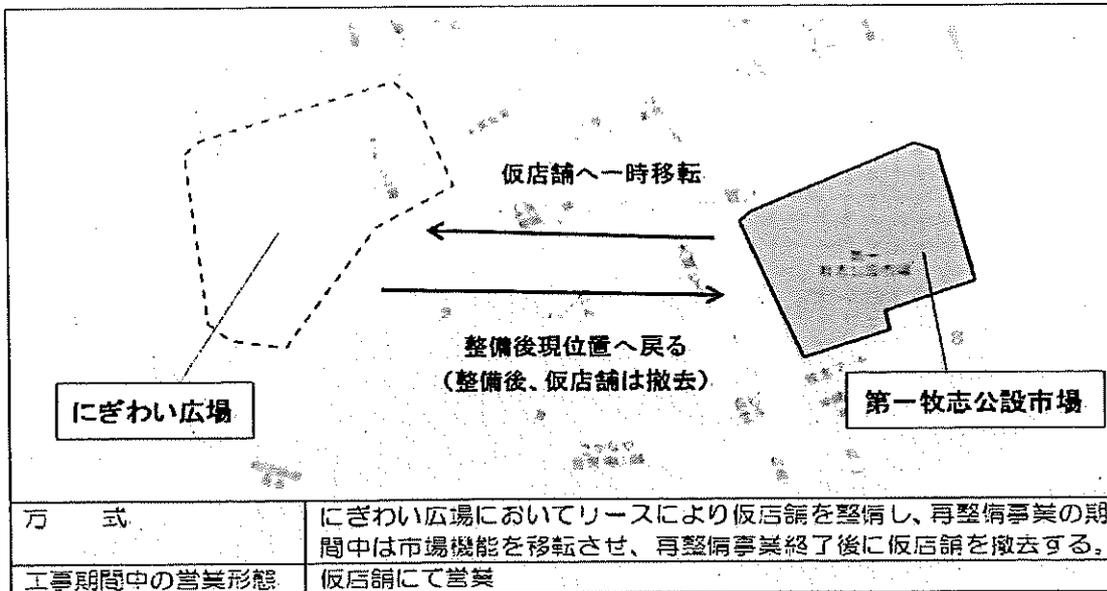
- 1階：小売店舗
- 2階：食堂・軽食
- 3階：多目的室
料理体験教室
電気室
バックヤード

とのことであり、

1階は小売店舗、2階が食堂、軽食施設、3階は多目的室、料理体験教室、電気室、バックヤードであるという。

《 仮設市場概要 》

新市場建設工事期間中は、実施設計段階で、近隣にある「にぎわい広場」に仮設市場を整備し、市場機能を移動させ、再整備事業終了後には、その仮店舗を撤去し、新市場に戻るというのである。



そのにぎわい広場に仮設される仮店舗は、敷地面積 約 1,970 m² 延床面積 約 2,470 m² リース方式による賃借料は4年リースで約4億7千万円であるという。

そこには、食堂を含めた店舗数が78店舗入居しているのだ。

このリース方式というのは、仮設で営業する店が4年間で、その建築費用を負担するということであり、その賃料は一店舗平均で算出すると、月額12万6千円なのだ。

これには、びっくりしてしまうばかりであった。



仮設市場正面



仮設市場内部

《 所 感 》

八戸市においては「水産都市八戸」また「さかなのまち八戸」として繁栄してきた。その原動力となっていたのが、通称「ムツ湊の市場」と呼ばれた「八戸市営魚菜小売市場」であった。

開設は、那覇市の第一牧志公設市場と同時期である昭和28年(1953)であり、昭和時代は、まさに活況を呈し、「いさばのカッチャ」達が、新鮮な魚介類を、いわゆる「しよい籠」に満載しては、国鉄(当時)の列車に乗車しては、海のない周辺町村の陸地へ提供したものである。

この市営魚菜小売市場を中心とした陸奥湊駅通りは市民の台所として、また魚の行商人や卸売業者、買い物客でごった返し、早朝から夜遅くまで賑わいを形成しては、地域経済を牽引してきたのであった。

そして、平成から令和へと時代の進展に伴い、かつての勢いは薄れてはきたが、観光面においては、その昭和の面影を色濃く残す、「昭和ノスタルジア」の象徴として、国内外からの観光客からは評価されている。



解体前の旧魚菜市場風景

しかしながら、近年この「八戸市営魚菜小売市場」においては、耐震診断の結果、危険性のある施設であり、また老朽化の問題、店子の高齢化や後継者不足、商業環境の変化等により、商業施設としての魅力が著しく低下してきていた。

ここにおいて、この「ムツ湊の市場」は「水産都市八戸」の顔でもあり、内外の評価も高いことから、これまでの風情を残しつつ、市場としての新しい価値や役割を見出す再整備の形を官民連携により、一体的に作り上げることで、当該地区の活性化を図るものとして、着手しているのであった。

その基本構想は、全面新築ではなく、リニューアル方式にて、2階部分は解体し、耐震補強工事を施工しての鉄筋コンクリート造一部鉄骨造り、建築面積890.07㎡全体敷地は1,319.09㎡である。

総工費は約3億4千万円、オープンは令和4年12月1日であり、売場店舗数は25区画であるという。



その配置としては、食堂を中心に売り場をコの字型として、調理室を食堂付近に配置し、観光客が新鮮な魚介類を選んでごはんに乗せる、通称「のつけ丼」他、色々な食材を楽しむ新たな賑わい空間を創出したいとのことであった。

このようなことから、那覇市も八戸市と同様の歴史と経過や、近年の課題等を共有することからも視察を実施したものである。

規模や観光客数においては、比較するべくものは到底及ばないものの、これからの展開や展望においては、大いに参考となるものであった。

本日学習したことを更に活かし、八戸市の新市場の運営に反映させるべく、有意義な視察であった。

Ⅲ 質疑応答

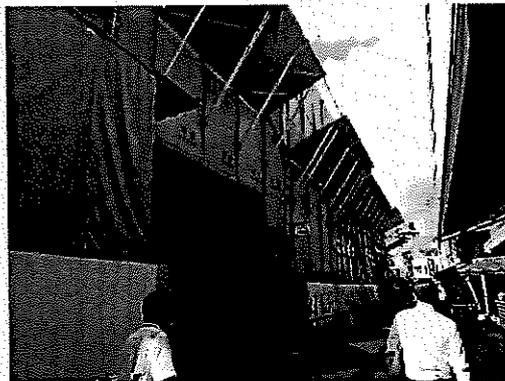
視察調査するにあたり、事前に那覇市役所担当課に質問事項を送付していたこともあり、回答を以下の如く教示してくれた。(以下概略記述)

1 建替えの財源について(補助金・起債等)について

国費(補助金)の財源としては、沖縄振興特別推進市町村交付金(ソフト交付金)及び令和元年度にソフト交付金を補完するものとして創設された沖縄振興特定事業推進費市町村補助金となる。

区分としては、平成30年度に契約締結の仮設市場賃貸借料はソフト交付金を活用し、令和元年度以降に契約締結の旧市場解体工事費や新市場建設工事費は沖縄振興特定事業推進費市町村補助金を活用している。

なお、新市場建設工事費のうち、国費(補助率:8割)外の2割については、起債(一般補助施設債)の対象となっている。

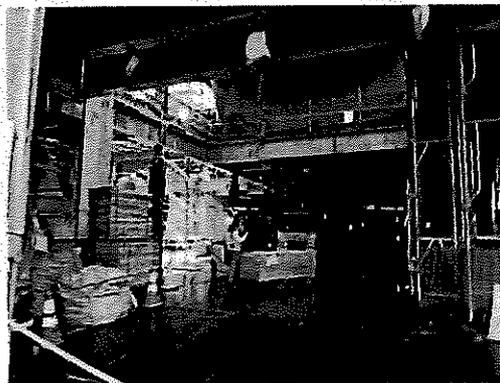


新市場 建設現場外観

2 耐震化や耐用年数、市場ならではの設備等について(水や塩分への耐性等)について

市場ならではの設備としては、市場より出されるゴミを一時保管する冷凍ゴミ庫を設けている。

また、市場事業者各々の電気使用量を計測するため電気メーターをリモート検針対応としており、検針業務の負担軽減を図っている。あるいは、建設地特有の事情となる水気の多い場所でもあり、湧き水対策として地下に湧水ピットを設け、水が溜まった場合は、排水ポンプで排出する設備を設けている。



新市場 建設現場内部

3 昔ながらの市場や街並みの保存と、新しい施設の棲み分けの考え方について

市場の良さとしては、昔ながらの相対売りなど、沖縄独特の食文化に直接触れることができることであり、そのような昔ながらの市場の魅力を含めた沖縄の食文化の継

承・発展が必要だと考えている。

また、公設市場周辺地域は那覇市の中心商店街地域で、マチグラーの愛称で親しまれており、アーケードで囲まれた独特な商業空間を形成していることから、その街並みに調和するよう、旧市場と大きく雰囲気が変わらない計画としている。(外小間の配置、出入口の分散)

課題としては、多くの観光客で賑わう一方で、地元客の減少が挙げられる。新市場では、観光客だけでなく地元客も含めた賑わいを図る必要があると考えているところである。

4 沖縄県民及び市民と県外観光客の比率について

平成26年12月に2日間、平成27年2月に2日間、計4日間の来場者調査を行ったところ、1日平均6,500人の来場があり、そのうち観光客が7割(4,550人)、地元客が3割(1,950人)という結果となった。

これを年間に換算すると約226万人となる。

また、仮設市場オープン後の令和元年12月に2日間行った来場者調査では、1日平均4,700人の来場があり、そのうち国内観光客が半数以上、国外観光客が2~3割、地元客が1~2割という結果であった。

5 各小売店のターゲットについて(市民 or 観光客)について

1階で鮮魚や精肉を購入し、2階食堂で調理してもらって食べるという、市場独特の「持ち上げ」が観光客に人気である。また、鮮魚や精肉以外の食料品を取り扱うお店ではお土産品を販売しているなど、主に観光客をターゲットにしているが、正月や旧盆などでは、行事食材(豚肉など)を求めて、多くの地元客で賑わう。

このような特徴から、コロナ禍で観光客が途絶えた際には大きなダメージを受けた。そのため、地元客にも利用していただけるために、どのような商業形態が求められているのか、という点が、今後の課題である。

6 後継者問題について

公設市場は1950年(昭和25年)に開業し、今年で72年になるが、サラリーマンとして働いていた息子が、脱サラをして親の後を継いで活躍するなど、家族経営をしているお店も多いことが特徴でもある。

後継者がいる場合でも、公設として設置した市場が公募によらず、世襲での使用を無条件に認めることは問題もあるかと考えているところである。

そのことから、市では個人事業主が法人化することによって、その継続がなされることを認めているところである。

後継者問題の解決と税収増の観点から、市民の皆様のご理解をいただければと考えているところである。

7 組合等について

任意団体ではあるが、多くの事業者が加入し、各事業者の意向を市へ伝える役割を果たすなど市場を盛り上げるために活動しており、今回の市場再整備にあたっては、一緒になって取り組んでいる。

また、近年はコロナ禍の影響を受けて実施されていないが、毎月18日を「市場の日」として設定し、マグロ解体ショーや豚肉解体ショー等のイベントや子どもたちの職場体験を受け入れるなどの取組みを行っている。

8 鮮魚や精肉を購入し、食堂で調理する持ち上げ制度について

これは、市場事業者の営業形態から生まれた、市場独特のシステムであり、観光客に人気となっている。

1990年(平成2年)頃、シンガポールやアジアの食堂をモデルとして、市場組合が考案したとされている。食材費とは別で調理台として1人あたり500円を基本とし3品までとなっている。また、お刺身の場合は調理代不要となる。

9 かわら版について

旧市場解体工事や新市場建設工事に係る各種説明会や仮設市場、および新市場のレイアウトや移転スケジュール等の説明会の議事録を分かりやすいように「かわら版」として配布している。(当日不参加の方にも配布)

令和元年度から令和4年8月までの間に55号発行している。

10 市場内における感染対策について(例 密の回避、手洗い消毒励行対策等)

現在は、仮設市場7か所の出入り口への消毒液の配置、及び入場においてはマスク着用の協力を呼び掛ける張り紙の掲示、機械での換気に併せて網戸設置部分の扉を開放しての定期的な換気の実施等、一般的な対策を実施している。

市場事業者の皆さまに対しては、体調不良時には無理せず休むよう呼びかけを行い、検査の結果が陽性であった場合には市や組合への報告を速やかに行うような体制の構築をしているところである。

また、県からの時短要請・酒類販売停止要請などに積極的に協力し、感染対策を実施している。

公設市場の特徴である、相対売りの在り方についても、コロナ禍にあつては積極的

な声掛けを控えるなど商形態にも変化があった。

11 食文化提供の中でのイベント会場での目的と活用、またその対策あるいは展望について

公設市場は戦後、県内各地の物流の拠点として、さまざまな食材が取引されてきた。新市場では、多目的室や調理体験室といった施設を設けているので、それらを活用して、那覇市民のみならず、県内各地の食に関係する方々に活用していただき、沖縄の「食」の魅力を県民や観光客にアピールしていただきたいものと考えている。

また、さまざまなイベントの実施によって、市場へ足を運んでいただいた方が、周辺の商店街へ足を運ぶ機会の醸成につながっていくのではないかと考えている。

以上、多方面に渡り、質疑回答がなされたのである。

《 総 論 》

今回の沖縄県那覇市役所を訪問しての、中心市街地の活性化に関する基本計画、また第一牧志公設市場における再整備事業計画の両者の講義説明を受け、その後、第一牧志公設市場の建設現場及び仮設市場の視察調査は、私ども自由民主・市民クラブ視察団にとっては、まことに有意義であり、かつ大いに参考となった。

八戸市にあっては、その「中心市街地活性化基本方針」において、要約するならば、(1)多様な都市機能が集積した活力あるまちづくり (2)地域経済の活力向上 (3)移動しやすい、暮らしやすいまちづくり を掲げ、鋭意取り組んできている。

その目標としては、(1)街なかの賑わい創出(来街機会の創出と回遊性の向上) (2)企業者支援と魅力ある商店街・オフィス街づくり (3)街なか居住推進と移動の利便性向上 の以上3目標である。

このようなことから、まさに那覇市の抱える課題や目標とするところは、多少ニュアンスの相違はあるものの、その内容は同様とするところである。

「中心市街地の衰退は八戸全体にも関わる大きな課題。かつての賑わいでなく、時代に合ったまちづくりを目指す必要がある。」

これは、八戸商工会議所内の「中心街委員会」での委員長の言葉である。

まさに時代に即応した、これからの街づくりに対する発想の転換の重要性を説かれるのであった。

これは、八戸市ばかりではなく、那覇市でも同様であり、全国各都市における中心市街地の活性化問題の肝要とするところでもある。

以上のことから、今回の那覇市役所での視察調査は、大変有意義であり、参考に資するものであった。

また、第一牧志公設市場の再整備計画は、その規模や予算、あるいは集客力は大きな差異があるものの、その本質的内容については共有するものがあり、12月オープンに向けて大いに参考となった。

八戸市営魚菜小売市場や八食センターでの鮮魚を「ご飯」の上に乗せて自由に食する「のっけ丼」は、沖縄では「持ち上げ制度」という名称で親しまれているとのことを聞き、改めて八戸の「のっけ丼」の良さを再認識したことも事実である。

そのことも含めて、大変有意義であり、これからの新八戸市営魚菜小売市場の展開に資する、参考ともなる視察であった。



自由民主・市民クラブ視察団 一行 (13名)

	那覇市議会事務局 調査法制課
	主任 国頭 洋介 Kunigami Yousuke
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号 電話 (098) 862-8194 FAX (098) 862-8286 E-mail 65773YOUS@city.naha.lg.jp	

	那覇市 経済観光部 なはまち振興課
	課長 宮里 仁
〒900-8585 沖縄県那覇市泉崎1丁目1番1号 TEL : 098-863-1750 FAX : 098-863-1752 E-Mail : 55601jin@city.naha.lg.jp	

なはまち振興課 上原 晃

	那覇市経済観光部なはまち振興課 第一牧志公設市場建設
主任	け た し ろ 上 原 晃 慶田 城 用 世
〒900-8585 沖縄県那覇市泉崎1丁目1番1号 6F TEL 098-863-1750 FAX 098-863-1752 E-mail 5584cityou@city.naha.lg.jp	

(名刺を切らしたとのことで
手書きしてもらった)

視察報告書

- 1 日 時 令和4年8月30日(火) 13時30分～15時30分
- 2 視 察 先 沖縄県那覇市 沖縄県立博物館・美術館
- 3 視察対応 沖縄県立博物館・美術館 美術館副館長 大川 剛 氏
沖縄県立博物館・美術館 統括責任者 木下 龍太 氏
沖縄県立博物館・美術館 総務班 班長 具志 幸昌 氏

4 視察目的

沖縄の自然、歴史、文化、芸術を総覧できる博物館・美術館が併設された全国でも珍しい複合施設であり、利用促進のための取組やボランティア育成・活動について学び、理解を深めることにより、当市において昨年オープンした新美術館の運営の参考や新たな取組の一助として、期待される成果を上げていくための考察と提案につなげていくことを目的とする。

- 5 視察議員 立花 敬之、坂本 美洋、松橋 知、壬生 八十博、小屋敷 孝、藤川 優里、
工藤 悠平、高山 元延、日當 正男、岡田 英、久保 百恵、間 盛仁、
山之内 悠

6 視察調査の概要

はじめに、沖縄県立博物館・美術館総務班班長 具志 幸昌 氏より沖縄県立博物館・美術館の概要について、次に統括責任者の木下 龍太 氏より利用促進の取組について、最後に美術館副館長の大川 剛 氏よりボランティアの育成・活動についての具体的な事例の説明があり、その後、質疑応答を行った。

(1) 県立博物館・美術館の概要

① 開館の経緯

歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集、保管、展示し、教養、調査研究、レクリエーション等に資するための必要な事業と博物館・美術館資料に関する調査研究を行うための複合施設として平成19年11月に開館した。

② 施設の概要

博物館と美術館の2つの機能を有する地下1階、地上4階の施設

※施設規模は旧館(博物館のみ)に比べて約4倍

敷地面積：31,287 m²、建築面積：13,452 m²、延床面積：23,721 m²、

駐車場：一般 158 台、バス 10 台

建設費：約 215 億円（財源は地域総合整備事業債）

③ 施設の特徴

外観はグスク（城）の石垣をイメージしたもので傾斜がついており、外壁には琉球石灰岩と海砂、白セメントを混ぜたものを使用している。エントランスホールは三層吹き抜けでクバの木（ピロウ）を思わせる屋根により木漏れ日あるやさしい空間となるよう設計されている。

博物館常設展示室は、二重の回廊を持った中央と周辺がフリーアクセスできる複合構造となっており、他府県ではあまり例を見ない大きな特色となっている。

美術館はコレクション展示室を二階三室に分けており、小規模展示や部分的な展示替えが実施しやすく、長期間展示できない美術品に対応するために工夫されている。

④ 組織

指定管理者制度を導入しており、施設管理・運営、展示企画、教育普及等は、指定管理者の一般財団法人沖縄美ら島財団の 19 名体制で、県直営部分の調査研究等の学芸部門及び展示企画は、県職員と会計年度任用職員を含む 33 人体制となっており、その他に展示監視員、ボランティアが運営に関わっている。

⑤ 主な事業

調査研究事業、資料収集・保管事業、展示公開事業、教育普及事業、その他催事 等

⑥ 入館者の推移

平成 19 年度開館以降、平成 25 年度に 50 万人を超え、令和元年度に 57 万 7 千人と最高を記録したが、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で 13 万 9 千人まで落ち込む。

⑦ 新型コロナウイルス感染症による影響について

令和 3 年 5 月 23 日から 9 月 30 日までの緊急事態措置適用を踏まえた対応として、延べ 97 日間にわたり臨時休館となった。令和 2 年度と令和 3 年度の比較では、入館者は対前年比 11% 減も入館料は 16% 増、貸館稼働は 66% 増となった。

(2) 利用促進の取組について

① 経営理念「美らなる島の輝きを御万人（うまんちゅ）へ」

博物館・美術館は「自然・歴史・文化・芸術をトータルで紹介できる」沖縄県内唯一の社会教育施設であり、観光文化施設として県と指定管理者が同居している。平成 28 年度から指定管理がスタートして 2 期 6 年目となる。美ら海水族館や首里城公園の管理運営で培った施設管理と総合研究センターによる動植物・歴史等の調査研究で島の輝きを県外、

海外、未来へ伝えていくことを経営理念として掲げ、民間の創意工夫で県民や観光者へ貢献していくことを目指している。

② 博物館常設展の集客策「万国津梁の鐘（旧首里城正殿鐘）プロジェクト」について

「万国津梁の鐘」を目玉作品と位置づけ、解説動画の配信をはじめ講演会・講座や絵本作りワークショップの開催、ツアーの実施など8つの施策を展開し、「オキミュー」に来たら絶対に観るべきというイメージが定着した。

③ 美術館コレクション展の誘客策「アートを身近に！」プロジェクトについて

美術鑑賞を気軽に楽しむ機会を提供するためワークショップやミニギャラリーの開催、オリジナル音声ガイド対応や情報コーナーの設置、ショップやカフェでアート関連商材の販売の他に、アートビギナーにもわかる「13才からのアート講座」や世界の名画をプリントして「世界の名画に親しもう」企画の開催など美術ファンの裾野を広げるとともに誘客促進に取り組んでいる。

④ 沖縄美ら島財団総合研究センターとの連携について

総合研究センターとの連携により知見を活かした自前で開催しているイベントや展示室での展覧会、無料スペース展示などを実施している。

⑤ 県立芸大やアーティストとの連携について

県立芸大との連携事業である琉球伝統芸能の披露や、美術館ボランティアhappとの連携事業であるエントランスコンサートの他に、県立小禄高校との旧正月企画、GWワークショップフェスタ、ゆんたくミュージアムデー等、連携イベントを定期的で開催し、足を運んでもらうきっかけを創出している。

⑥ 広告宣伝の工夫について

沖縄県立図書館でのPRコーナーの設置（通年）や、漫画仕立てのパンフレットの小学校への配布（年4回）の他に、映画館と連携したチラシ設置や沖縄伊藤園の新商品「かふう」のパッケージに万国津梁の鐘を掲載するなど、既存の広告枠にとらわれず、県民の生活動線上に情報を流通させる工夫をして取り組んでいる。

⑦ 広報・誘客業務の新規取組事例について

相互送客として、水族館及び首里城の半券提示でガチャに挑戦できるキャンペーンの展開や、インバウンド誘客広報施策として、おもろまち周辺散策MAPを作成して、商業施設・モノレール全駅に設置し、また駅や空港に巨大広告や横断幕を掲出するなど観光文化施設としての役割を果たしている。

さらに、財団ネットワーク・資材を活用して、海洋博美ら海通信配布先への情報発信や基地向け広報誌への広告掲載の他に、県外イベントに出展するなど積極的にプロモーション

ン活動を展開している。

加えて、ツアー商品の開発や旅行会社とのクーポン契約等の営業活動にも取り組み、効果を上げている。

この他、県内の大学、国立高等専門学校、専門学校、高等学校などを対象としたキャンパスメンバーズ制度を導入して営業活動を展開している。

⑧ 財団本部調査企画広報部との連携によるブランディングについて

平成29年11月に開館10周年を迎えることを契機に、館のブランド構築として館の愛称、マスコットキャラクターを公募で選定した。

⑨ 利用サービス改善について

玄関口のプラザに新たなフォトスポットとして、ジンベエザメなどの造形物花壇を設置し、施設案内パンフレットのリニューアルや外国人にも直感でわかるユニバーサルデザインへの改善にも取り組んでいる。

⑩ 収入増の取組について

「1 DAY PASSPORT」や「年間パスポート」のデザイン一新により観覧料収益の増収を図るとともに、ショップ・カフェで利用できる特典付与により収益施設への送客連携も行っている。

(3) ボランティアの育成・活動について

① 博物館と美術館の各分野について

博物館の分野は歴史、民俗学、美術工芸、自然史、教育普及の総合博物館であり、美術館の分野は現代美術、沖縄美術史、写真・映像、教育普及の現代美術館である。

② 職員の活動について

主に「資料収集・保存管理、調査、展示、教育普及」の4つの活動で沖縄の歴史・自然・文化・芸術を未来につないでいる。

③ ボランティアの活動について

主に「展示を知る、探求する、ふれあう、案内する」の4つの活動について、様々な訓練を経てボランティアを養成している。

④ ボランティアの育成について

養成講座では学芸員より展示解説を受け、展示資料の基本的な理解と来館者へのサービスの基本を学んでいる。常設展示ガイド養成講座では、経験を積んだボランティアから希望者を募り、展示ガイドとしてさらに資料理解を深め、来館者へのガイド対応ができるように訓練している。

⑤ 博物館ボランティアの種類と活動について

学校の学習の補助やふれあい体験室の対応を行う通常のボランティアに加え、展示解説の訓練を受け来館者に展示解説を行う常設展示ガイドボランティアや、新聞の切り抜き、整理などを行う資料整理ボランティアがいる。アカデミックで経験を積んだ方のガイド対応（ジンプン）も行われている。

⑥ 美術館ボランティアの種類と活動について

展示解説の訓練を受け来館者の展示ガイドを行う鑑賞ガイドボランティアの他に、ワークショップの補助活動を行うワークショップボランティアや、新聞の切り抜きと整理などを行う資料整理ボランティアがいる。美術館では、「どう見えるか、どう感じるか」という対話型の解説や見る力を育てるガイドを行っている。

⑦ 離島でのボランティア活動について

3年ぶりに離島展示の移動博物館を開催できたが、ボランティアの方に旅費等の費用を手弁当で負担いただいで運営している。

7 質疑応答

Q：入館者の推移によると令和元年度のその他が多いが何か催し物があったのか。

A：県と美ら海財団が主催する展覧会の他に、外部展覧会の「ジブリ展」が17万人の来場があり大きく増えた。

Q：博物館と美術館の入場者の傾向はどのようになっているのか。

A：圧倒的に博物館が多く、最近、美術館では小学生や高校生の来場が増えている。

Q：美術館の来場者を伸ばすための具体的な取組はどのようになっているのか。

A：博物館は10万人で維持されているが、美術館は5年前と比べて増えている。アート志向もありまだまだ集客の伸びしろがある。アートの良さを知っていただき観客を育てていきたい。

Q：ボランティアは博物館・美術館を兼任している方はいるのか。

A：両方所属している方もいる。

Q：「ゆんたく」の状況はどうか。

A：まだ告知が少なく利用者は少ない。コロナ前からこの日は赤ちゃんも行ってもいいと思ってもらうために取り組んでおり、子育てしている方を社会から切り離さないためのものである。今後は赤ちゃんのみならず、老人、不登校者、特別支援の方々を対象とした、ふれあう機会の創出と環境整備を進めていきたい。

8 所感

沖縄県立博物館・美術館は、博物館と美術館が併設された全国的にも稀有な複合施設であったが、地域の社会教育施設としての重要な役割とともに、沖縄県の立地特性である世界水準の観光リゾート地を目指して、国内外から観光客を迎える中核的な文化観光施設としての役割を担っている特徴があった。

博物館と美術館それぞれが独自性を発揮しつつも、一体の施設であることで相乗効果を活かしていく仕掛けや工夫もあり、コロナ禍の影響は大きかったようだが、急速に回復傾向にあるとのことであった。

今回の視察では、組織運営の在り方が非常に興味深かった。美ら海水族館や首里城の管理運営で培った美ら島財団が指定管理を担い、県の直営部分との機能分担が明確になっており、それぞれの強みを活かした業務運営を推進している。

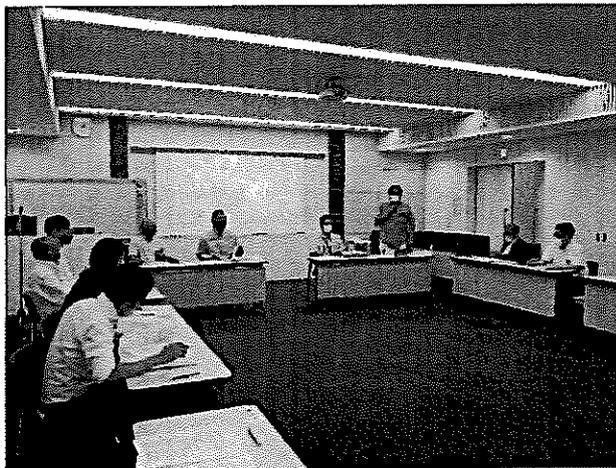
美ら島財団の強みである幅広いネットワークを活用した県内外への広報や旅行代理店等への誘客・営業活動は高い集客効果を上げていた。

また、ボランティアの養成においてもタイプの違う博物館と美術館それぞれできめ細かな対応をしており、持続可能なしくみを構築していた。非常に示唆に富む内容であった。

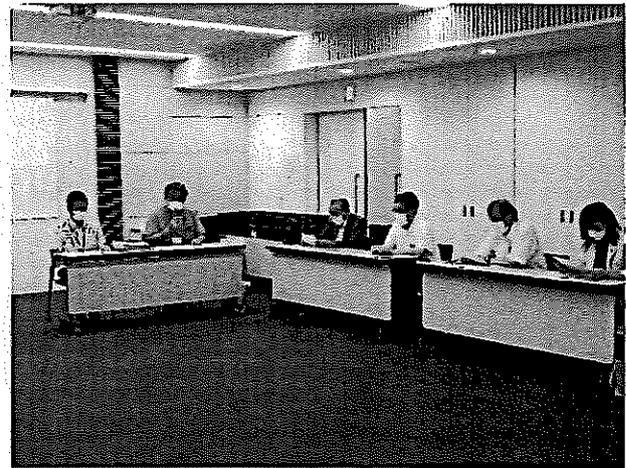
当市の美術館も地域を牽引する芸術文化の中心施設として、まちづくりや中心市街地活性化に積極的に取り組んでいくことを求められている。

当市の文化芸術推進基本計画の八戸市美術館の目的や主な取組にもある「アートの学び」「アートのまちづくり」の推進に向けて、アートを介した社会参画づくりと小中高校や大学・高専との連携に取り組んでいくことはもちろん、観光戦略としても中心街の各施設だけではなく、公共交通との連携により是川縄文館や八戸市博物館、その他の地域観光資源を活用しながら回遊する施策を展開していくことも今後の課題と言える。

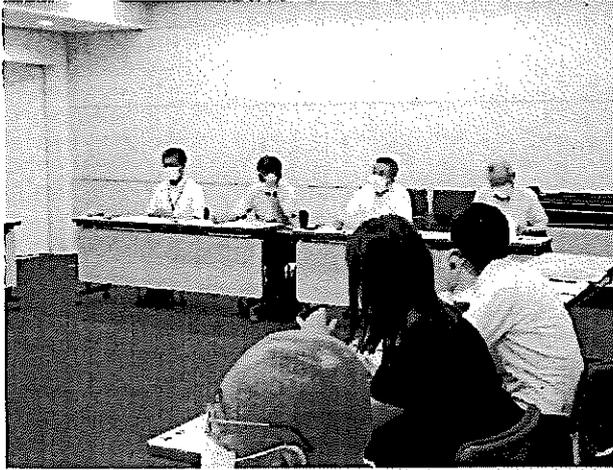
9 写真



【総務班長具志様より御挨拶】



【博物館・美術館についてのレクチャー】



【質疑応答の様様】



【集合写真】

10 名刺


沖縄県立博物館・美術館
 総務班

班長 具志 幸昌

 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1
 TEL 098-851-5400 FAX 098-861-4315
 Email gushiya@pref.okinawa.lg.jp


沖縄県立博物館・美術館
 Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

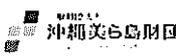
美術課副課長 大川 剛 (Tangochi Okawa)
 美術課副課長
 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1
 TEL 098-851-5402 FAX 098-941-3730


沖縄県立博物館・美術館
 Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

総務班長 木下 龍太
 Director
 Ryota Kinoshita



 沖縄県立博物館・美術館
 指定管理者 一般財団法人 沖縄美ら島財団
 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1
 Tel : 098-941-1232 Fax : 098-941-2392
 Mail : r.kinoshita@okimura.jp
 http://okimu.jp


沖縄美ら島財団

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和4年9月26日

会派名 自由民主・市民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 藤川優里
工藤悠平
山之内悠



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 藤川優里議員 工藤悠平議員
山之内悠議員
- 2 期間 令和4年10月17日（月）～令和4年10月19日（水）
（藤川議員、工藤議員）
令和4年10月17日（月）～令和4年10月18日（火）
（山之内議員）
- 3 場所 新潟県佐渡市
- 4 目的及び内容 世界遺産登録を見据えた観光、他自治体との連携について
ジオパークについて
- 5 支出可能額（上限額） 288,820円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎						
行	日	時刻	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考		
行	10/17	本八戸駅発 6:13	早見表						
	10/17	両津港着 15:05							
帰	10/19	両津港発 9:15							
	10/19	本八戸駅着 17:28							
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃	911.3k	11,880	21,380	本八戸⇄新潟（往復割引）		
			急 行 料 金	特	2	6,060	12,120	八戸⇄大宮 601.6k	
					2	6,160	12,320	大宮⇄新潟 303.6k	
			急						
			特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄大宮 601.6k	
					2	4,190	8,380	大宮⇄新潟 303.6k	
			航空運賃						
			バス運賃			2	210	420	新潟⇄新潟港
			フェリー			2	5,430	10,860	新潟港⇄両津港 （カーフェリー1等）
			宿泊料			1	12,500	25,000	10/17, 10/18 佐渡市泊
			旅行雑費						
小 計						101,680			
合 計（小計×人数）						203,360	2人		

自由民主・市民クラブ 政務活動視察行程

日程：令和4年10月17日（月）～19日（水）

視察先：新潟県佐渡市【藤川議員、工藤議員】

月日	行程	宿泊地
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 10月17日 (月)	<p>6:13発 本八戸 → (八戸線) → 6:23着/6:42発 八戸 → (はやぶさ4号) → 8:59着/9:34発 大宮 → (とき311号) → 10:48着 新潟 → (徒歩) → 11:05発 新潟駅前 → (連絡バス) → 11:20着 佐渡汽船前 → (徒歩) → 12:35発 新潟港 → (佐渡汽船・カーフェリー) → 15:05着 両津港 → (レンタカー) → 15:30着 ホテル</p> <p style="text-align: center;">12番線 13番線 18番線</p>	佐渡市内泊
10月18日 (火)	<p>9:10 ロビーに集合 → 9:25発 ホテル → (レンタカー) → 9:50着/10:00～15:00 佐和田行政サービスセンター → (レンタカー) → 15:30着 ホテル</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>佐和田行政サービスセンター</p> <p>「世界遺産登録を見据えた観光、他自治体との連携について」(10:00～12:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他自治体との具体的取組(経緯、内容、課題等) ※観光振興課 ・佐渡観光交流機構の取組(独自の観光振興施策) ※佐渡観光交流機構(DMO) <p>「ジオパークについて」(13:30～15:00) ※社会教育課ジオパーク推進室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進協議会の取組(構成団体、経緯、基本構想、計画、実績、課題等) ・ジオパークの見どころ </div>	佐渡市内泊
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 10月19日 (水)	<p>8:30 ロビーに集合 → 8:50発 ホテル → 9:00着/9:15発 両津港 → (佐渡汽船・カーフェリー) → 11:45着 新潟港 → (徒歩) → 11:55発 佐渡汽船前 → (連絡バス) → 12:07着 新潟駅前 → (徒歩) → 12:20発 新潟 → (とき320号) → 14:03着/14:45発 大宮 → (はやぶさ27号) → 17:04着/17:20発 八戸 → (八戸線) → 17:28着 本八戸</p> <p style="text-align: center;">13番線 17番線</p>	

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

旅行日程			旅費計算の基礎					
行	日	時刻	区分	基数	単価	金額	備考	
行	10/17	八戸駅発 6:42	区分	基数	単価	金額	備考	
き	10/17	両津港着 15:05	早見表					
帰	10/18	両津港発 15:30						
り	10/18	八戸駅着 22:05						
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃	905.2k	11,880	21,380	八戸⇄新潟（往復割引）	
			急 行 料 金	特	2	6,060	12,120	八戸⇄大宮 601.6k
					2	4,300	8,600	大宮⇄新潟 303.6k
				急				
			特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄大宮 601.6k
					2	4,190	8,380	大宮⇄新潟 303.6k
			航空運賃					
			バス運賃	2	210	420	新潟駅⇄新潟港	
			フェリー	2	5,430	10,860	新潟港⇄両津港 （カーフェリー1等）	
			宿泊料	1	12,500	12,500	10/17 佐渡市泊	
			旅行雑費					
小計						85,460		
合計（小計×人数）						85,460	1人	

自由民主・市民クラブ 政務活動視察行程

日程：令和4年10月17日（月）～18日（火）

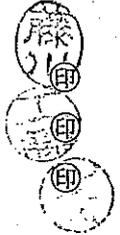
視察先：新潟県佐渡市【山之内議員】

月日	行程	宿泊地
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 10月17日 (月)	<p>6:42発 八戸 → (はやぶさ4号) → 8:59着/9:34発 大宮 → (とき311号) → 10:48着 新潟 → (徒歩) →</p> <p>11:05発 新潟駅前 → (連絡バス) → 11:20着 佐渡汽船前 → (徒歩) → 12:35発 新潟港 → (佐渡汽船・カーフェリー)</p> <p>15:05着 両津港 → (レンタカー) → 15:30着 ホテル</p>	佐渡市内泊
10月18日 (火)	<p>9:10 ロビーに集合 → 9:25発 ホテル → (レンタカー) → 9:50着/10:00～12:00 佐和田行政サービスセンター → (タクシー) → 12:40発 両津港</p> <p>→ (佐渡汽船・カーフェリー) → 15:10着 新潟港 → (徒歩) → 16:45発 佐渡汽船前 → (連絡バス) → 16:58着 新潟駅前 → (徒歩) →</p> <p>12番線 17:21発 新潟 → (とき338号) → 13番線 19:11着/19:45発 大宮 → 17番線 22:05着 八戸</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>佐和田行政サービスセンター</p> <p>「世界遺産登録を見据えた観光、他自治体との連携について」(10:00～12:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他自治体との具体的取組（経緯、内容、課題等） ※観光振興課 ・佐渡観光交流機構の取組（独自の観光振興施策） ※佐渡観光交流機構（DMO） </div>	

令和4年11月15日

会派名 自由民主・市民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 藤川優里
工藤悠平
山之内悠



調査視察等報告書

令和4年9月26日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 藤川優里議員 工藤悠平議員
山之内悠議員
- 2 期間 令和4年10月17日（月）～ 令和4年10月19日（水）
（藤川議員、工藤議員）
令和4年10月17日（月）～ 令和4年10月18日（火）
（山之内議員）
- 3 場所 新潟県佐渡市
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 269,330円
- 6 概要 別紙のとおり

自由民主・市民クラブ 政務活動視察行程

日程：令和4年10月17日（月）～18日（火）

視察先：新潟県佐渡市【山之内議員】

月日	行程	宿泊地
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 10月17日 （月）	6:42発 八戸 → (はやぶさ4号) → 8:59着/9:34発 大宮 → (とき311号) → 10:48着 新潟 → (徒歩) → 11:05発 新潟駅前 → (連絡バス) → 11:20着 佐渡汽船前 → (徒歩) → 12:55発 新潟港 → (佐渡汽船・ジェットfoil) 14:02着 両津港 → (レンタカー) → 14:30着 ホテル	佐渡市内泊
10月18日 （火）	9:10 ロビーに集合 → 9:25発 ホテル → (レンタカー) → 9:50着/10:00～12:00 佐和田行政サービスセンター → (タクシー) → 15:30発 両津港 → (佐渡汽船・ジェットfoil) → 16:37着 新潟港 → (徒歩) → 16:45発 佐渡汽船前 → (連絡バス) → 16:58着 新潟駅前 → (徒歩) → 12番線 17:21発 新潟 → (とき338号) → 13番線 17番線 19:11着/19:45発 大宮 → (はやぶさ43号) → 22:05着 八戸	
<p>佐和田行政サービスセンター</p> <p>「世界遺産登録を見据えた観光、他自治体との連携について」(10:00～12:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他自治体との具体的取組(経緯、内容、課題等) ※観光振興課 ・佐渡観光交流機構の取組(独自の観光振興施策) ※佐渡観光交流機構(DMO) 		

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	4-1
領収書等貼付欄					

領 収 証

No. 121123

2022年11月9日

藤川 優里 様

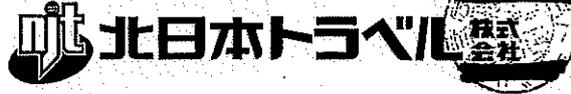
金額 ¥92250

但し 消費税は別



内 消費税 円 上記の金額正に領収致しました。

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)

扱者印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	4-1
----	-------	----	----	------	-----

ご旅行代金請求書

藤川 優里 議員 様

令和4年10月13日

北日本トラベル株式会社

店長 久保 健興
 青森県八戸市廿三日町4-1
 電話 0178-22-5151
 担当 [Redacted]

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積りさせていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名様
 ご旅行期間 令和4年10月17日(月)～10月19日(水)
 ご旅行方面 新潟 佐渡 方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります

お一人様当り **92,250**円 総旅行代金 **92,250**円

ご請求内訳

項目	人員	ご利用 代金	台数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR	1	61,680			61,680	10/17 本八戸～新潟 往復
佐渡汽船	1	12,890			12,890	10/17、18 新潟～両津 往復
宿泊	1	17,680			17,680	10/17、18 湖畔の宿吉田屋 朝付
金額小計	1	92,250			92,250	[1]
消費税						
その他税						
諸税計						[2]
金額合計	1	92,250			92,250	[1]+[2]諸税を含んだ額

特記事項

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	4-2
領収書等貼付欄					

領 収 証

No. 121127

2022年11月21日

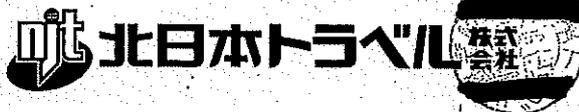
工藤 悠平 様

金額	¥92250
----	--------

但し 杯費 ¥12

内消費税 円 上記の金額正に領収致しました。

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	4-2
領収書等貼付欄					

ご旅行代金請求書

工藤 悠平 議員 様

令和4年10月13日

北日本トラベル株式会社

店長 久保 健爾

青森県八戸市廿三日町4-1

電話 0178-22-5151

担当 [Redacted]

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積りさせていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名様
 ご旅行期間 令和4年10月17日(月)～10月19日(水)
 ご旅行方面 新潟 佐渡 方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります

お一人様当り 92,250円 総旅行代金 92,250円

ご請求内訳

項目	人員	ご利用 代金	台数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR	1	61,680			61,680	10/17 本八戸～新潟 往復
佐渡汽船	1	12,890			12,890	10/17、18 新潟～両津 往復
宿泊	1	17,680			17,680	10/17、18 湖畔の宿吉田屋 朝付
金額小計	1	92,250			92,250	{1}
消費税						
その他税						
諸税計						{2}
金額合計	1	92,250			92,250	{1}+{2}諸税を含んだ額

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	4-3
領収書等貼付欄					

領 収 証

No. 121122

2022年11月9日

山之内 悠 様

金額	¥ 54,800
----	----------

但し 杯費は

内 消費税 円 上記の金額正に領収致しました。



現金	<input checked="" type="checkbox"/>
小切手	<input type="checkbox"/>
振込	<input type="checkbox"/>
クレジット	<input type="checkbox"/>



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	4-3
----	-------	----	----	------	-----

ご旅行代金請求書

山之内 悠 議員 様

令和4年10月18日

北日本トラベル株式会社

店長 久保 健興

青森県八戸市廿三日町4-1

電話 0178-22-5151

担当

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積りさせていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名様
 ご旅行期間 令和4年10月17日(月)～10月18日(火)
 ご旅行方面 新潟 佐渡 方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります

お一人様当り 84,830 円 総旅行代金 84,830 円

ご請求内訳

項目	人員	ご利用 代金	台数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR	1	61,680			61,680	10/17 八戸～新潟 往復
佐渡汽船	1	14,310			14,310	10/17、18 新潟～両津 往復
宿泊	1	8,840			8,840	10/17 湖畔の宿吉田屋 朝付
金額小計	1	84,830			84,830	[1]
消費税						
その他税						
諸税計						[2]
金額合計	1	84,830			84,830	[1]+[2]諸税を含んだ額

特記事項

視察調査報告書

日 時

令和4年10月18日(火) 10:00~12:00

視察調査地

佐渡市佐和田行政サービスセンター2階 会議室
(〒952-1393 新潟県佐渡市河原田本町394 TEL 0259-57-1393)

視察対応者

佐渡観光交流機構 専務理事 祝 雅之氏

佐渡市役所 観光振興部 観光振興課 観光戦略室室長 齋藤 博文氏

参加議員

山之内 悠、工藤 悠平、藤川 優里

視察目的

世界遺産登録を見据えた観光、他自治体との連携について

- ・ 他自治体との具体的な取組（経緯、取組内容、効果、課題等）
- ・ 誘客、PR事業や認知度向上のための取組（内容、課題等）
- ・ 佐渡観光交流機構の取組（独自の観光振興施策、プロモーション方法等）

視察調査概要

別紙

佐渡の概要

佐渡へのアクセスは、新潟港からフェリーやジェットfoilで1.5～2.5時間程度。日本では沖縄本島に続く大きさで、島内の観光資源は点在している。加えて路線バスや系統も減り、乗り換え頻度が多くなっている現状があるため、島内の移動はレンタカーが中心。

2023年の世界遺産登録を目指し、政府が推薦した佐渡金山遺産は事務手続きの不備と、佐渡の鉱山では戦時中、朝鮮半島出身者が働いており、韓国が「強制労働被害の現場だ」などと推薦撤回を求めているのが現状。

データ分析により、いかに滞在時間を長くし、お金を落としてもらえるかを主眼に観光施策を打ち立てている。

取組について

データの活用に力を入れており、ある仮説を定めて、データを使いきちんと計測・分析し改善することを繰り返す。その際、データの取り方、具体的なデータの分析の方法など、専門人材とも連携して最新のツールを活用して細分化と最適化を図る。

各種データ分析

- ・ 観光ナビ、エンジョイプランHPのGoogleアナリティクス
- ・ さどまるクラブ会員データベース(氏名、都道府県、年代、性別、決済履歴)
- ・ だっチャコインのポイント利用実績(氏名、消費額、利用日、利用店舗、都道府県、年代)
- ・ エコだっチャリ販売実績(月毎の販売数)
- ・ 入込、宿泊調査(人数、外国人ならば国)
- ・ 満足度調査(匿名アンケート、各種満足度)
- ・ エンジョイプラン販売実績(氏名、プラン名、都道府県、年代、性別、さどまるID)
- ・ エンジョイプランアンケート(匿名、プラン名、都道府県、年代、性別、各種満足度、自由記述等)

旅行会社中心のデータだと見えてこなかったものが見えてくる。

また、通常入込数等のカウントの仕方は観光施設への立ち寄り数だが、佐渡の場合は佐渡汽船の乗客数を利用する。

分析の結果、以前は佐渡のパッケージツアーはフェリー・ジェットfoil代が含まれ高価になるため、その分宿泊代金を安価に設定していたが、それをやめ、さらに各種観光の安売りをやめるに至ったが、それが好と出ている。

アプリ使用によってポイントバックする仕組みを作り、個人情報を集めることによりその情報を観光施策に移すことができる。

会員募集することにより

→データベース化及び会員証の電子化。

→会員募集することで佐渡の入込み客を増加させる。

→4万人の会員に対してインセンティブをつけて、別の人を佐渡に誘える環境をつくる。

CRM(顧客をつかむ)、流入経路が2箇所(船のみ)、来冬履歴が取りやすい、商品情勢の手段に出来る(その人が求めているものを把握する)、販売力や単価の向上、販売促進費の削減、ホスピタリティの向上、財源の確保。

→佐渡旅行は単価が高い。(マスコミ利用には予算がない。)

→人口減で税収にも頼れない。

→アンケート調査などの顧客把握費用の軽減。

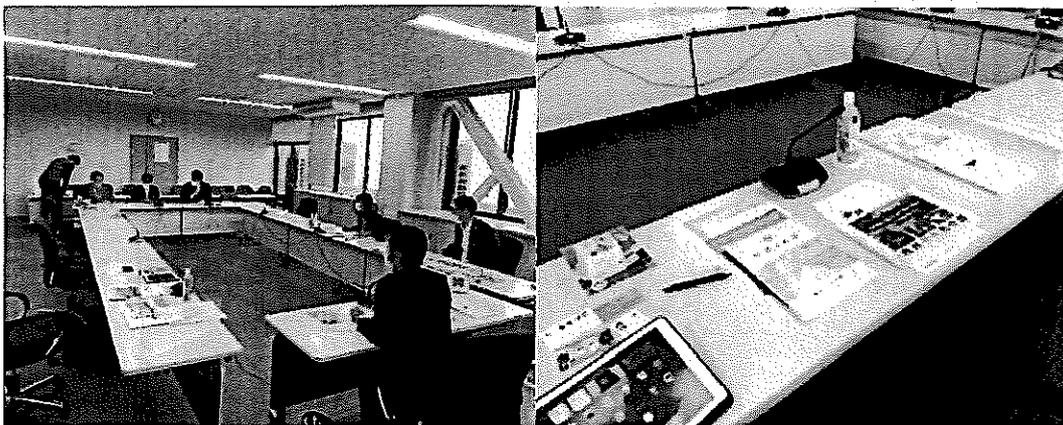
目標を2024年の世界遺産に設定し、欲しい人に必要な情報を届けるダイレクトマーケティングを行い、多様性の島だからこそ施策の効率化を重要視。

佐渡DMO マスタープランの位置付け

2023～2026までの3年間の佐渡DMOの最上位計画に位置付けられており、佐渡市総合計画「基本構想」実現に寄与し「基本計画」と連携している。

マーケティングの基本計画であるが、コロナ、アフターコロナを見据え、細分化が進む各ターゲットに未対応で、佐渡総合計画との齟齬もあるため雇用促進や外貨獲得も含める。

その他、佐渡市の抱える課題、日本の観光政策と観光地域づくり法人、各種団体と佐渡DMOの役割について説明を受けた。



考 察

八戸市の現状については、新幹線、フェリー、飛行機とアクセス手段はあるものの、心理的距離が遠いと言われて久しい。

朝市と横丁をセット売りするようになり、八戸を立ち寄りスポットではなく、宿泊地として選択するビジネス・観光客が増えた。宿泊スタイルとしては泊食離が一般的。戦略的な施策が一定の効果を出している一方で、昨今の情勢やライバル観光地が多く順調とは言えない。

世界遺産登録の効果は3年間続くと言われていたが、残念ながらその3年間は新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延していた時期と重なる。

また、世界遺産登録はされたものの、登録域が道県と大変広くその中で選ばれること、また長く関心をひいていくこと、縄文といったニッチな分野に関心のある人に確実に届き、関心のない人も巻き込んでいける施策が必要とされる。

佐渡市のデータ分析に重きを置き先手先手で取組を行う手法は、本市観光施策にとっても参考に資することが多かった。また、データ収集においては、市内で利用できるデジタルポイントを効果的に使い、しかもその施策を国のコロナ関連補助金で行っている等効率の面でも時勢的にも本市で出来なかったことが悔やまれる。

主に説明をして下さった祝専務理事は、佐渡市役所観光課長在職後、DMOに出向されているため、市とDMOとの連携がスムーズだという。お話の中で、海外をはじめ多くの経験のある職員も必要ではあるが、地元で根付き縦横のつながりのある人材の活躍、また潤滑油のような存在、リーダーが必要であると感じた。



Sado Tourism Association

佐渡観光交流機構

Masayuki Hourii

ほうり

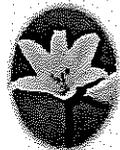
祝 雅之

専務理事 / Managing Director

観光庁登録 観光地域づくり法人(DMO)
一般社団法人 佐渡観光交流機構
952-0014 新潟県佐渡市両津浜353
353Ryotsu-Minato, SADO, NIIGATA,
JAPAN 952-0014
T.0259.23.5230 F.0259.23.5232



佐渡市



市の花:カンゾウ



市の木:アテビ



市の鳥:トキ



市の魚:ブリ

佐渡市役所 観光振興部 観光振興課

観光戦略室

室長(課長補佐兼務) 齋藤博文

〒952-1292 新潟県佐渡市千種 232 番地 3F

TEL 0259-67-7602 FAX 0259-63-6130

E-mail: s-kanko@city.sado.niigata.jp

URL: <http://www.city.sado.niigata.jp>

佐渡市におけるジオパークについての調査報告書

I 視察地：新潟県佐渡市 佐渡市佐和田行政サービスセンター

〔対応者〕○佐渡市教育委員会 社会教育課 ジオパーク推進室

佐渡ジオパーク推進協議会事務局 室長 伊藤 智子 氏

○佐渡市教育委員会 社会教育課 ジオパーク推進室

佐渡ジオパーク推進協議会事務局 学芸員 貞包 健良 氏

○佐渡市議会事務局 庶務係

係長 松塚 洋樹 氏

II 視察日時：令和4年10月18日（火）13：30～15：00

III 調査事項：「ジオパークについて」

- 1 推進協議会の取組（構成団体、経緯、基本構想、計画、実績、課題等）について
- 2 ジオパークの見どころについて

IV 【佐渡市の概要】

佐渡市は日本海の中央に位置し、伝統民謡の佐渡おけさ、特別天然記念物のトキ、金山などで知られる観光の島である。平成16年3月1日にそれまでの1市7町2村が合併して人口約7万人の佐渡市が誕生した。佐渡は島といってもその面積は855.69km²、東京23区の約1.4倍という日本最大の離島であり、地形や気候、文化面などから日本の縮図とも言われている。

V 【視察内容】

1 推進協議会の取組（構成団体、経緯、基本構想、計画、実績、課題等）について

【ジオパークってなに？】

- ジオパークとは、大地（GEO）の公園（PARK）で、①ジオパークの見どころを「保護・保全」する ②ジオサイト等を使って「普及・教育」を図る ③ジオサイト等を活用して「地

域の活性化」を試みることが目的であり、これらを地域振興・観光振興を図ることにつなげていくことが大目標である。

- ▶ 世界ジオパークに認定されている地域は169箇所、日本ジオパークに認定されている地域が46箇所であり、内9地域が世界ジオパークとなっている。

【3つのサイクルを回す】

- ▶ ジオパークは、「まもる」という活動をきっかけとして始まったものであるが、「まもる」ために「知る」ということと「つかう」という活動がセットで行われることが適当で、どれか1つではなくて3つをバランスよく持続可能に行うことが大切である。

【SDGsの8つのゴールを目標に】

- ▶ 国連のSDGsの取組における17のゴールのうち、ジオパークでは特に関連のある8つのゴールの達成を目指しており、佐渡市もSDGs未来都市に選定されており、さまざまな取組を行っている。

【再認定審査】

- ▶ ジオパークには再認定審査というものがあり、最初に認定されてから4年ごとに再認定審査が行われる。もし再認定審査で「条件付き再認定（イエロー）」になった場合は、4年後ではなく2年後に再認定審査が行われ、再認定されなければ認定取消となる。この点が「世界農業遺産（GIAHS）」や「世界文化遺産」と異なるところである。

【佐渡ジオパークの取組】

- ▶ 現在、佐渡ジオパークは「第2次佐渡ジオパーク基本計画（2019年度～2023年度）」に基づいて取組を行っており、来年度には第3次の計画を策定する予定となっている。
- ▶ キャッチフレーズは「島全体がジオパーク」。島を10箇所のエリアに分けており、それぞれのエリアごとに様々な特徴がある。
- ▶ メインテーマは「トキが舞う金銀の島 3億年の旅とひとの暮らし」。佐渡島の成り立ちとして、3億年をかけて今の佐渡ができてきたという佐渡ジオパークのストーリーがあり、トキや金銀、住む人々の暮らしも含めて位置付けている。
- ▶ 取組としては、佐渡の大地の成り立ちとそこに住む人々の暮らし、歴史、文化、多様な生き物とのつながりを楽しんでもらう取組を進めている。

【ロゴマークに込められた意味】

- ▶ 赤い部分は「トキ」をイメージした色と形、金色の部分は佐渡の花「カンゾウ」の形で、色は「金銀山」をイメージしたもの、緑と水色の部分は「佐渡の自然」と「佐渡の海」をイメージしており、この2つを合わせた形は鬼太鼓の巴となっている。大地・自然・生きもの・文化すべてが佐渡ジオパークの要素であることを示している。

【ジオパークと他のプログラムとの関係】

- 佐渡にはジオパークの他に、「世界農業遺産」や「世界文化遺産」に登録を目指している金山があり、価値ある自然や歴史、文化が1つの島に凝縮し、それらが関連しあったオリジナルのストーリーがあることから、この3つを「佐渡の宝」と位置付け、連携して取り組んでいる。
- 2011年に日本で初めて世界農業遺産に認定された。代表的なものは「棚田」や「とき」が挙げられるが、ときが暮らしていくためには周囲の環境がとて大切で、ときを育む大地は佐渡の成り立ちと大きな関係がある。
- 大佐渡と小佐渡の二つの島が別々に浮かんでいたが、高い山を有することから川が流れ、土砂が堆積して2つの島に砂州ができ、加茂湖、古国中湖ができたが、古国中湖については土砂の堆積が続き、今は国中平野となっている。国中平野があることで、ときが住みやすい環境となり、田んぼが作られているが、島に田んぼがあることは非常に珍しいとのこと。
- 2021年に国内推薦となり、世界文化遺産登録を目指している「金銀山」も佐渡の成り立ちと大きな関係があり、佐渡ジオパークでも大きな見どころとなっている。青盤脈の断層面は、金銀鉱脈がこの断層に沿ってできたこと、佐渡金銀山を代表する鉱脈であり日本の中でも最大級であること、江戸時代に多くの人々の手で掘られたこと、激しい火山活動が佐渡の大地と金銀鉱床を生み出したことなど大変貴重なものである。また、金鉱石をすりつぶすために使われた石うすには、相川にある吹上海岸で見られる球顆流紋岩が使われている。
- ジオパークと世界農業遺産、世界文化遺産の3つのプログラムはとて深い関係があり、土台としてのジオパークだけではなく、全てを包含しているのがジオパークである。



＜佐渡市佐和田行政サービスセンターにおける視察の様子＞

【佐渡ジオパーク推進協議会の構成】

- 佐渡ジオパーク推進協議会（新潟県地域振興局、新潟大学、連合商工会、観光交流機構、JA、民間事業者、有識者、漁協、森林組合、山岳会、観光旅館連盟、青年会議所、ジオパークガイ

ド協会、佐渡市等)の下に、佐渡ジオパーク推進協議会運営委員会(協議会代表者、有識者、行政)があり、調査・研究部会、事業部会、教育部会、広報部会の4つの部会で構成されている。

【佐渡ジオパーク活動の経緯】

- 平成21(2009)年 4月 日本ジオパーク連絡協議会に会員として参加
- 平成22(2010)年 4月 日本ジオパークネットワーク 準会員
佐渡市教育委員会佐渡学センター内にジオパーク準備室を設置
- 平成23(2011)年 4月 佐渡市教育委員会にジオパーク推進室を設置
- 平成23(2011)年 5月 佐渡ジオパーク推進協議会設立
- 平成25(2013)年 9月 日本ジオパークネットワーク会員(日本認定)
- 平成29(2017)年11月 日本ジオパーク再認定審査
- 平成29(2017)年12月 日本ジオパーク条件付き再認定
- 令和元年度に再認定審査が行われて再認定となったことから、次回の令和5年度の再認定審査に向けて様々な課題に対する取組を行っている。

【令和5年度の再審査に向けて】

- 早急に解決すべき課題(おおむね2年以内)
 - ① ジオサイトの整理と再設定
 - ② 管理運営体制のさらなる充実
 - ③ 専門的すぎる看板や冊子媒体類の改善
- 3、4年先を視野に解決すべき課題
 - ④ ジオツーリズムの充実とマーケティング分析に関すること
 - ⑤ 拠点施設の再整備と系統的な情報発信の実施
 - ⑥ 3事業(ジオパーク・GIAHS・世界文化遺産)の実質的な効果の創出
 - ⑦ 鉱物の販売
- 解決すべき課題(継続)



<佐渡市佐和田行政サービスセンターにおける視察の様子>

⑧ 保護保全活動

⑨ ストーリーの再構築

- 以上の9つの課題を解決するために、「第2次佐渡ジオパーク基本計画」にある「ジオパーク推進アクションプラン」に基づいて再認定審査に向けて取り組んでいる。

2 ジオパークの見どころについて

➤ 自然資源の特色

・水田を含んだ里山生態系

→ トキは里山の象徴

・豊富な花の種類と大きい群生地

→ 食害要因の動物不在（シカなど）

→ 花の南北植生の境界線に位置

→ 高低差が生み出す花の棲み分け

・山地に大規模に残る天然杉林

→ 杉が好む霧を生み出す高い標高

→ 積雪地帯特有の変木（伐採されずに残る）

●文化や生物の土台となる成り立ちを語る見どころまでを扱う。

➤ 見どころを活用した参加体験事業

・坂道が多い地域を → 電動アシスト自転車を活用したツアーの実施

・離島最大の湖を → カヤックで体験するイベントの実施

・見どころの写真を「撮影」する講座の実施

●講師の話を聞くだけでなく、参加者も主体となれる事業を実施。

➤ 見どころを活用したSNS等での情報発信

・ホームページ → 情報発信の中核

・Instagram → 見どころの魅力を発信、見どころの良い写真を集めるためのキャンペーンの実施

・YouTube → 見どころの空撮映像を提供することで、テレビ番組などで活用され
宣伝効果があった。

→ 見どころ紹介番組を配信

●見どころを周知し、興味を持ってもらうツールとしてSNSを活用。

VI 【視察所感】

今回の視察では、佐渡ジオパーク推進協議会の取組における、構成団体、経緯、基本構想、計画、実績、課題及び見どころ等について詳細にご教示いただいた。普段から身近に接している「三陸ジオパーク」は青森県八戸市から岩手県の沿岸を縦断して宮城県気仙沼市までの南北約220km、東西約80kmで、その海岸線は約300kmにもおよぶ日本一広大なジオパークであり、日本ジオパークに認定されているが、「佐渡ジオパーク」は島全体が世界ジオパークに認定されており、島の成り立ちから自然や生物、歴史や文化までを包含した大変すばらしいものであった。ジオパークは他の世界文化遺産や世界農業遺産とは違い4年ごとに再認定審査があるため、認定され続けるためには不断の努力と活動の継続が不可欠なものであるが、全ての土台となっている大地についての知見を広めることで、自然・歴史・文化などと結びつけることが可能となり、観光振興の視点から見ても深化につながるものであると感じた。

今回の視察で学んだ先進事例を参考に、三陸ジオパークのさらなる有効活用に向けて研究していきたい。



<佐渡市佐和田行政サービスセンター議場での集合写真>

写真左より、山之内 悠 議員、高橋 貴之 議員、藤川 優里 議員、工藤 悠平 議員



副議長
駒形信雄


佐渡市議会議員

〒952-0501
新潟県佐渡市羽茂滝平一五七五-104
携 F A X (0259) 881219
帯



佐渡を世界遺産に



佐渡ジオパーク



GIAHS

佐渡市議会事務局 庶務係

係長 松塚洋樹

952-1393 新潟県佐渡市河原田本町 394

TEL 0259-57-8133 FAX 0259-57-4410
E-MAIL: s-gikai@city.sado.niigata.jp



佐渡市教育委員会

社会教育課 ジオパーク推進室
佐渡ジオパーク推進協議会事務局

室長 伊藤智子
Ito Tomoko

〒952-8501
新潟県佐渡市両津湊 198 番地 (佐渡島開発総合センター2 階)
TEL(0259)27-2162 FAX(0259)58-7357
E-mail: sado-geopark@city.sado.niigata.jp
URL: https://sado-geopark.com/



佐渡市教育委員会

社会教育課 ジオパーク推進室
佐渡ジオパーク推進協議会事務局

学芸員 貞包健良
Sadakane Takeyoshi

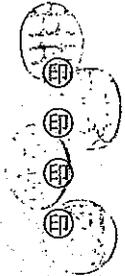
〒952-8501
新潟県佐渡市両津湊 198 番地 (佐渡島開発総合センター2 階)
TEL(0259)27-2162 FAX(0259)58-7357
E-mail: sado-geopark@city.sado.niigata.jp

第3号様式 (第6条、第8条関係)

令和4年9月29日

会派名 自由民主・市民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 立花敬之
小屋敷孝
日當正男
岡田英



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 立花敬之議員 小屋敷孝議員
日當正男議員 岡田英議員
- 2 期間 令和4年11月13日(日)～令和4年11月15日(火)
- 3 場所 富山県富山市、石川県金沢市
- 4 目的及び内容 富山県富山市…路面電車南北接続事業について
石川県金沢市…21世紀美術館について(現地視察)
- 5 支出可能額(上限額) 402,920円
【内訳は、旅費額計算書(第4号様式)に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

旅行日程				旅費計算の基礎								
行	11/13	八戸駅発	13:07	区分	基数	単価	金額	備考				
き	11/13	富山駅着	17:58	早見表								
帰	11/15	金沢駅発	11:57									
り	11/15	八戸駅着	17:04									
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃		963.2k	12,540	12,540	八戸→富山			
						1021.8k	12,870	12,870	金沢→八戸			
				急行料金		特	2	6,060	12,120	八戸⇄大宮 601.6k		
							1	5,620	5,620	大宮→富山 361.6k		
							1	6,160	6,160	金沢→大宮 420.2k		
				特別車両料金			2	5,600	11,200	八戸⇄大宮 601.6k		
							1	6,990	6,990	大宮→富山 361.6k		
							1	6,990	6,990	金沢→大宮 420.2k		
				航空運賃								
				バス運賃								
				あいの風とやま鉄道		1	1,240	1,240	富山→金沢 59.4k			
				宿泊料		2	12,500	25,000	11/13 富山市泊 11/14 金沢市泊			
				小計							100,730	
				合計（小計×人数）							402,920	4人

自由民主・市民クラブ 行政視察行程

日程：令和4年11月13日（日）～11月15日（火）

視察先：富山県富山市、石川県金沢市

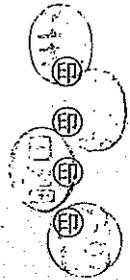
岡田議員、日當議員、小屋敷議員、立花議員

月日	行程	宿泊地
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 11月13日 (日)	10:17発 八戸 → (はやぶさ16号) → 12:39着/12:49発 大宮 → (はくたか563号) → 14:56着/15:05発 富山 → (徒歩) → 15:20着 木テル	富山市内
11月14日 (月)	8:55 ロビーに集合 → 9:00発 木テル → (送迎) → 9:15着/9:30～11:00 富山市役所 → (送迎) → 11:15着/12:26発 富山 → (あいの風とやま鉄道) → 13:26着/13:30発 金沢 → (徒歩) → 13:45着 木テル <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>富山市役所（9：30～11：00）「路面電車南北接続事業について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経緯、概要、特徴について ・運行について </div>	金沢市内
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 11月15日 (火)	8:55 ロビーに集合 → 9:00発 木テル → (タクシー) → 9:15着/9:30～11:00 21世紀美術館 → (タクシー) → 11:20着/11:57発 金沢 → (はくたか562号) → 14:27着/14:45発 大宮 → (はやぶさ27号) → 17:04着 八戸 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>21世紀美術館（9：30～11：00）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組事例、施設概要、特色など ・建設に至る経緯について </div>	

令和4年11月30日

会派名 自由民主・市民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 立花敬之
小屋敷孝
日當正男
岡田英



調査視察等報告書

令和4年9月29日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 立花敬之議員 小屋敷孝議員
日當正男議員 岡田英議員
- 2 期間 令和4年11月13日（日）～令和4年11月15日（火）
- 3 場所 富山県富山市、石川県金沢市
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 358,500円
- 6 概要 別紙のとおり

自由民主・市民クラブ 行政視察行程

日程：令和4年11月13日（日）～11月15日（火）

視察先：富山県富山市、石川県金沢市

岡田議員、日當議員、小屋敷議員、立花議員

月日	行程	宿泊地
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 11月13日 (日)	10:17発 八戸 → (はやぶさ16号) → 12:39着/12:49発 大宮 → (はくたか563号) → 14:56着/15:05発 富山 → (徒歩) → 15:20着 ホテル	富山市内
11月14日 (月)	8:55 ロビーに集合 → 9:00発 ホテル → (送迎) → 9:15着/9:30～11:00 富山市役所 → (送迎) → 11:15着/12:26発 富山 → (あいの風とやま鉄道) → 13:26着/13:30発 金沢 → (徒歩) → 13:45着 ホテル	金沢市内
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>富山市役所（9：30～11：00）「路面電車南北接続事業について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経緯、概要、特徴について ・運行について </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 11月15日 (火)	8:55 ロビーに集合 → 9:00発 ホテル → (タクシー) → 9:15着/9:30～11:00 21世紀美術館 → (タクシー) → 11:20着/11:57発 金沢 → (はくたか562号) → 14:27着/14:45発 大宮 → (はやぶさ27号) → 17:04着 八戸	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>21世紀美術館（9：30～11：00）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組事例、施設概要、特色など ・建設に至る経緯について </div>	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	5-1
-----	-------	-----	----	------	-----

領 収 証

2022年10月31日

立花敬之 様

金74,230円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納 付 に つ き 波 谷 税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
本八戸801 No.000011



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	5-1
領収書等貼付欄					

請求領収書 RECEIPT
134341

GH ホテルグランテラス富山
Hotel Grand Terrace Toyama
〒930-0004
富山県富山市桜橋通り2-28
TEL (076) 431-2211
FAX (076) 441-0867

お名前 GUEST NAME 立花 敬之 様

お部屋番号 ROOM NO	ご到着日 ARRIVAL DATE	ご出発日 DEPARTURE DATE	人数(宿泊) PERSON(S)	人数(ディユース) PERSON(S)	担当者 IN CHARGE
711	2022/11/13	2022/11/14	5	0	
日付 DATE	項目 DESCRIPTION	料金 CHARGE	お支払い CREDITS		残高 BALANCE
2022/11/13	ご宿泊料	5,680			
	—— 宿泊小計 ——	5,680			5,680
	—— 総計金額 —— (内消費税)	5,680 516			5,680
	現金		5,680		
	—— 総入金額 ——		5,680		0
	—— 差引請求額 ——	0			0

前受金 DEPOSIT 5,680

ご署名 SIGNATURE _____

ご請求額 AMOUNT DUE 0

ご返金額 REFUND 0

収入印紙

※ ありがとうございます。またのご利用をお待ち申し上げます。誠に勝手ながら上記金額には消費税等が含まれております。また伝票につきましては、すでに渡し済みでございますので再発行はいたしかねます。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	5-1
領収書等貼付欄					

No. 202211140674

領 収 書
(RECEIPT)

NAME 立花 敬之 様

ISSUED 2022/11/15

BALANCE DUE 9,450

(上記金額には消費税が含まれております)

ドリーミーイン 金沢
〒920-0849 石川県金沢市堀川新町2-25
TEL 076-263-9888 FAX 076-263-9312
http://www.hotespa.net/doriminn/

(内消費税 Con.Tax ¥826) (軽減税率対象額 ¥0)
(標準税率対象額 ¥9,100) (経過措置対象額 ¥0)

請求明細書
(STATEMENT)

NAME 立花 敬之 様

ROOM NO.	ARRIVAL	BREAKFIRE	ISSUED	PERSON
616	22/11/14	22/11/15	2022/11/15	1

DATE	DESCRIPTION	AMOUNT	BALANCE
11/14	チェックイン精算(現金)		9,450
11/14	宿泊費	9,100	
11/14	宿泊税	200	
11/14	入湯税	150	

No. 202211140674 - 125 - 240

ご署名 _____

会社名 _____

TOTAL AMOUNT	9,450	TOTAL BALANCE	9,450
BALANCE DUE			0

(内消費税 Con.Tax ¥826)
(標準税率対象額 ¥9,100)
(軽減税率対象額 ¥0)
(経過措置対象額 ¥0)

※

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	5-2
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

2022年10月16日

小屋敷 孝 様

金72,930円

印 紙 税 申 告 納 付 に つ き 渋 谷 税 務 署 承 認 済

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
本八戸801 No.000003



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	5-2
----	-------	----	----	------	-----

請求領収書 RECEIPT
134343

GH ホテルグランテラス富山
Hotel Grand Terrace Toyama
〒930-0004
富山県富山市桜橋通り2-28
TEL (076) 431-2211
FAX (076) 441-0867

お名前 小屋 敷孝 様
GUEST NAME

お部屋番号 ROOM NO	ご到着日 ARRIVAL DATE	ご出発日 DEPARTURE DATE	人数(宿泊) PERSON(S)	人数(ディユース) PERSON(S)	担当者 IN CHARGE
710	2022/11/13	2022/11/14	5	0	
日付 DATE	項目 DESCRIPTION	料金 CHARGE	お支払い CREDITS		残高 BALANCE
2022/11/13	ご宿泊料	5,680			
	—— 宿泊小計 ——	5,680			5,680
	—— 総計金額 —— (内消費税)	5,680 516			5,680
	現金		5,680		
	—— 総入金額 ——		5,680		0
	—— 差引請求額 ——	0			0

前受金 DEPOSIT 5,680

ご署名
SIGNATURE

ご請求額 AMOUNT DUE 0

収入
印紙

ご返金額 REFUND 0

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。誠に勝手ながら上記金額には消費税等が含まれております。また伝票につきましては、すでにお渡し済みでございますので再発行はいたしかねます。

※

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	5-2
----	-------	----	----	------	-----

No 202211140490

領 収 書
(RECEIPT)

お名前 NAME	小屋敷 孝	様
-------------	-------	---

発行日 ISSUED	2022/11/15
---------------	------------

領収金額 BALANCE DUE	9,450
---------------------	-------

(上記金額には消費税が含まれております)

(内消費税 Con.Tax ¥826) (軽減税率対象額 ¥0)
(標準税率対象額 ¥9,100) (経過措置対象額 ¥0)

ドーマインホテル
〒920-0829 石川県金沢市堀川新町2-25
TEL 076-263-9888 FAX 076-263-9312
http://www.hotespa.net/dormyinn/

請求明細書
(STATEMENT)

お名前 NAME	小屋敷 孝	様
-------------	-------	---

部屋番号 ROOM NO	到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	発行日 ISSUED	宿泊人数 PERSON
618	22/11/14	22/11/15	2022/11/15	1

日付 DATE	情 要 DESCRIPTION	金 額 AMOUNT	お支払 BALANCE
11/14	チェックイン精算(現金)		9,450
11/14	宿泊費	9,100	
11/14	宿泊税	200	
11/14	入湯税	150	

No. 202211140490 -121 - 265

ご署名 _____

会社名 _____

利用金額 TOTAL AMOUNT	支払金額 TOTAL BALANCE
9,450	9,450
請求残高 BALANCE DUE	0

(内消費税 Con.Tax ¥826)
(標準税率対象額 ¥9,100)
(軽減税率対象額 ¥0)
(経過措置対象額 ¥0)

※

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	5-3
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

2022年10月18日

日 當 正 男 様

金 75,410 円

ただし、11/13~11/15 八戸~金沢往復乗車券類代として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納 付 に つ き 波 谷 税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
鈔401 No.000005

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	5-3
領収書等貼付欄					

請求領収書 RECEIPT
134345

GH ホテルグランテラス富山
Hotel Grand Terrace Toyama
〒930-0004
富山県富山市桜橋通り2-28
TEL (076) 431-2111
FAX (076) 441-0867

お名前 GUEST NAME 日當 正男 様

お部屋番号 ROOM NO	ご到着日 ARRIVAL DATE	ご出発日 DEPARTURE DATE	人数(宿泊) PERSON(S)	人数(ディユース) PERSON(S)	担当者 IN CHARGE
714	2022/11/13	2022/11/14	5	0	
日付 DATE	項目 DESCRIPTION	料金 CHARGE	お支払い CREDITS		残高 BALANCE
2022/11/13	ご宿泊料	5,680			
	—— 宿泊小計 ——	5,680			5,680
	—— 総計金額 ——	5,680			5,680
	(内消費税)	516			
	現金		5,680		
	—— 総入金額 ——		5,680		0
	—— 差引請求額 ——	0			0

前受金 DEPOSIT 5,680

ご署名 SIGNATURE _____

ご請求額 AMOUNT DUE 0

収入印紙

ご返金額 REFUND 0

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。誠に勝手ながら上記金額には消費税等が含まれております。また伝票につきましては、すでにお渡し済みでございますので再発行はいたしかねます。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	5-3
領収書等貼付欄					

No 202211140661

領 収 書
(RECEIPT)

NAME 日當 正男 様

DATE ISSUED 2022/11/15

金額 9,450

(上記金額には消費税が含まれております)

ドリーミーイン金沢
〒920-0849 石川県金沢市堀川新町2-25
TEL 076-263-9888 FAX 076-263-9312
http://www.hotespa.net/dorimyinn/

(内消費税 Con.Tax ¥926) (軽減税率対象額 ¥0)
(標準税率対象額 ¥9,100) (経過措置対象額 ¥0)

請求明細書
(STATEMENT)

NAME 日當 正男 様

ROOM NO.	ARRIVAL	DEPARTURE	ISSUED	PERSON
605	22/11/14	22/11/15	2022/11/15	1

DATE	DESCRIPTION	AMOUNT	BALANCE
11/14	チェックイン精算(現金)		9,450
11/14	宿泊費	9,100	
11/14	宿泊税	200	
11/14	入湯税	150	

No. 202211140661 - 125 - 240

ご署名 _____

会社名 _____

利用金額	支払金額
TOTAL AMOUNT	TOTAL BALANCE
9,450	9,450
請求残高	
BALANCE DUE	0

(内消費税 Con.Tax ¥926)
(標準税率対象額 ¥9,100)
(軽減税率対象額 ¥0)
(経過措置対象額 ¥0)

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	5-4
領収書等貼付欄					

領 収 証

No. 121120

2022年11月7日

岡田英 様

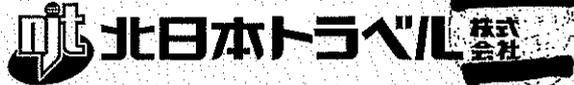
金額	¥75410
----	--------

但しJPAより



内消費税 円 上記の金額正に領収致しました。

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	5-4
領収書等貼付欄					

請求領収書 RECEIPT
134342

GH ホテルグランテラス富山
Hotel Grand Terrace Toyama
〒930-0004
富山県富山市桜橋通り2-28
TEL (076) 431-2211
FAX (076) 441-0867

お名前 岡田 英 様
GUEST NAME

お部屋番号 ROOM NO	ご到着日 ARRIVAL DATE	ご出発日 DEPARTURE DATE	人数(宿泊) PERSON(S)	人数(ディユース) PERSON(S)	担当者 IN CHARGE
709	2022/11/13	2022/11/14	5	0	
日付 DATE	項目 DESCRIPTION	料金 CHARGE	お支払い CREDITS		残高 BALANCE
2022/11/13	ご宿泊料	5,680			
	—— 宿泊小計 ——	5,680			5,680
	—— 総計金額 ——	5,680			5,680
	(内消費税)	516			
	現金		5,680		
	—— 総入金額 ——		5,680		0
	—— 差引請求額 ——	0			0

2022年11月13日
5,680
GTH

前受金 DEPOSIT 5,680

ご署名 SIGNATURE _____

ご請求額 AMOUNT DUE 0

ご返金額 REFUND 0

収入印紙

※
ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。誠に勝手ながら上記金額には消費税等が含まれております。また伝票につきましては、すでにお渡し済みでございますので再発行はいたしかねます。

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	5-4
領収書等貼付欄					

No. 202211140670

領収書
(RECEIPT)

NAME 岡田 英 様

DATE 2022/11/15

AMOUNT 9,450

(上記金額には消費税が含まれております)

ドリーミン金沢
〒920-0849 石川県金沢市城川新町2-25
TEL. 076-263-9888 FAX 076-263-9312
http://www.hotspa.net/dormyinn/

(内消費税 Con.Tax ¥826) (軽減税率対象額 ¥0)
(標準税率対象額 ¥9,100) (経過措置対象額 ¥0)

請求明細書
(STATEMENT)

NAME 岡田 英 様

ROOM NO.	ARRIVAL	DEPARTURE	ISSUED	PERSON
613	22/11/14	22/11/15	2022/11/15	1

DATE	DESCRIPTION	AMOUNT	BALANCE
11/14	チェックイン精算(現金)		9,450
11/14	宿泊費	9,100	
11/14	宿泊税	200	
11/14	入湯税	150	

No. 202211140670 - 125 - 240

ご署名 _____

会社名 _____

TOTAL AMOUNT	9,450	TOTAL BALANCE	9,450
BALANCE DUE			0

(内消費税 Con.Tax ¥826)
(標準税率対象額 ¥9,100)
(軽減税率対象額 ¥0)
(経過措置対象額 ¥0)

※

視察報告書

視察日 令和4年11月14日（月）
午前9時30分～11時

視察地 富山県 富山市

視察目的 富山市 路面電車南北接続事業
(・経緯、概要、特徴について ・運行について)

視察議員 立花敬之 小屋敷孝
日當正男 岡田英

11月14日 富山市役所 「路面電車南北接続事業について」

視 察 内 容

◆富山市役所対応者

- ・富山市議会事務局長 渡辺康裕
- ・富山市議会事務局議事調査課主査 牧石真理
- ・富山市活力都市創造部交通政策課参事 高田秀昭

◆「路面電車南北接続事業について」

説明者 富山市活力創造部交通政策課参事 高田秀昭

パワーポイント（公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり ～コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築～）を使用し、次のような説明があった。

○富山市の概要

- ・富山市の概要（人口：約 41 万人、面積：富山県の約 3 割、海拔 0m から 2,986m までの多様な地形、令和 4 年度一般会計予算：約 1,679 億円）
- ・富山市を取り巻く課題（①人口減少と超高齢社会 ②過度な自動車依存による公共交通の衰退 ③中心市街地の魅力喪失 ④割高な都市管理の行政コスト ⑤CO₂排出量の増大 ⑥市町村合併による類似公共施設 ⑦社会資本の適切な維持管理 ⑧平均寿命と健康寿命の乖離）
- ・富山市の公共交通網（富山駅を中心に放射状のネットワークを形成、鉄軌道及び路線バスによる）
- ・過度な自動車依存と公共交通の衰退（自動車保有台数全国 2 位、過度な自動車依存は公共交通の衰退を招き、路線バスなど身近な公共交通機関ほど利用者が大幅に減少。）
- ・都市の特性、課題（市街地の拡大と低密度化によるごみ収集や除雪等都市管理コストの上昇、中心街地の衰退。過度な自動車依存と公共交通の衰退による車を自由に使えない市民の約 3 割の人にとっては極めて生活しづらい街。よって今後の人口減少と超高齢化により問題は更に深刻化する恐れがある。）

○コンパクトなまちづくり

富山市のまちづくりの基本方針～コンパクトなまちづくり～（鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現。実現するための3本柱：①公共交通の活性化 ②公共交通沿線地区への居住推進 ③中心市街地の活性化）

- ・都市地区、公共交通沿線居住推進地区（19の公共交通軸）の設定と居住人口の目標（都市地区：約436ha、公共交通沿線居住推進地区：約3,517ha、鉄道、軌道駅勢圏：半径500m、バス停圏：半径300m都市地区及び公共交通沿線居住推進ゾーンでは、良質な住宅の建設事業者や住宅建設や購入する市民に対して助成。）

○公共交通の活性化

- ・公共交通の活性化～LRTネットワークの形成～（LRTネットワークの形成により、過度に車に依存したライフスタイルを見直し、歩いて暮らせるまちを実現。）

○富山港線の路面電車化（富山ライトレールの整備）

- ・既存施設の改良（利用者の減少が続いていたJR富山港線（鉄道）の①既存施設 ②運営形態 ③運行サービスを見直し、日本初の本格的LRTシステムによみがえらせた。）
- ・公設民営の考え方による費用負担（公設民営の考え方を導入し、建設費のすべてと運営費のうち、施設の維持管理に要する費用を行政が負担。）
- ・運行サービスの向上（運行間隔や始発・終電などのサービス向上、車両の低床化と停留場のバリアフリー化、アテンダントの配置、フィーダーバスの運行。）
- ・整備効果（開業前と比較して利用者数平日で約2.1倍、休日で約3.3倍へと大幅に増加し、日中の高齢者の利用が増加。（ライフスタイルの変化））

○市内電車環状線化（市内電車環状線化事業）

- ・セントラム（市内電車環状線）の整備（中心市街地活性化と都市地区の回遊性の強化を目的に市内電車を一部延伸、日本発の上下分離方式の導入、魅力ある都市景観の構築に向けた道路空間との一体的な整備。）
- ・整備方式（市内電車の環状線化事業では軌道の整備及び車両の購入に要する費用を公が負担し運行は民間が行う。上下分離方式のメリットとして富山地方鉄道は施設新設による固定資産税、減価償却費の増大を避けられる、富山市は市民の理解が得やすい、長期的に安定した運行が確保できる、LRT総合整備事業等の国の補助制度が活用できる。）

- ・LRTと調和した都市景観の形成（魅力ある都市景観の構成に向けた道路空間との一体的な整備のため、車両、電停、車道、歩道等にトータルデザインを採用。新しい風景づくり）
- ・整備効果（女性利用者は増加傾向（女性が約6割を占める）、60歳以上の増加が顕著、60歳以上は買物、私用、観光目的に利用。）

○路面電車の南北接続（路面電車の南北接続事業）

- ・事業概要（北陸新幹線整備を契機に富山駅南側の市内電車と北側の富山港線を富山駅高架下で接続し、LRTネットワークの形成を図る。第1期：北陸新幹線開業に合わせて新幹線高架下への市内電車を乗り入れ、第2期：在来線高架化に合わせて市内電車と富山港線を接続。）
- ・事業スキーム（「地域公共交通活性化及び再生に関する法律」の規定を適用し、市内電車環状線化事業に次いで上下分離方式を採用。）
- ・鉄道との乗継利便性の向上（乗入れ後：新幹線高架下（新幹線改札口前）に全国初の路面電車停留場を設置、整備前：課題①鉄道と路面電車との乗継距離約150m、課題②乗車待ちの列が停留所に収まらない、交差点内まで伸びて危険、上屋の設置がない。（風雨の影響あり））
- ・高質な軌道空間の整備（ターミナルとしての機能面に加え、デザイン性にも配慮した質の高い軌道空間を整備。）
- ・軌道空間整備事業、南北接続後の運行（アクセスしやすく、より便利になったため「まちなか」がぐっと身近な存在となり、乗換えがないため料金も半分になった。）

○多様な生活交通の確保

- ・地域特性に応じた多様な生活交通の確保（路線バスは民間の交通事業者によって運行されており、事業採算性でカバーできる地域に限られる。民間の交通事業者ではカバーできない郊外部や中山間地域では、公営バスや乗合タクシーなど、様々な生活交通が運行。地域自主運行バスに対し継続的な運航ができるような積極的に支援。）
- ・富山市の公共交通網～コミュニティバス等～（自主運行を基本とし、中山間地域は市が運行を行うことも可能。市街地：駅や主要施設などを循環するネットワークを形成、中山間地域：行政サービスセンターを起点にシビルミニマムとしての交通サービスを確保。）
- ・コミュニティバスに関する富山市の考え方（基本方針：公共交通空白地域に対して必要最低限の交通サービス（シビルミニマム）を確保。地域自主運行が基本。ただし生活不便地域である中山間地域においては市による運行も可能。）
- ・地域自主運行バスの概要（交通不便地域の解消や地域の活性化等を目的と

して地域が主体となって運営する交通システム。地域で運営組織を立ち上げ、運行ルート、運賃等を検討する地域主導型のバス事業。)

- ・市による財政支援（公共交通空白地域の解消目的に、地域が自主運行するものについて運行経費を補助。）

○公共交通利用促進

- ・モビリティ・マネジメント（公共交通利用促進啓発事業）（平成 22 年度より、クルマと電車やバスなどの公共交通をバランスよく使って日々の生活を豊かにするライフスタイルを提案する取組「とやまレールライフ・プロジェクト」を実施。三本柱：①多様な場面・手法での情報発信 ②多様な主体に応じた情報提供 ③将来世代に対する公共交通への意識啓発）
- ・多様な場面、手法での情報発信（①ウェブ、メディアを活用した情報発信 ②転入者への情報提供 ③大学生、専門学校生への情報提供）
- ・意識啓発（駅・バス停別利用促進啓発事業の実施）
- ・将来世代に対する意識啓発（富山市のりもの語り教育）（児童期に公共交通（のりもの）の魅力を学ぶことで、児童に公共交通の必要性を理解してもらい、将来、環境や社会のことを考え、自発的に移手段を選択できる意識を持つことを目指す。）
- ・富山市のりもの語り教育（富山市交通環境学習）（教員が小学校3～6年生を対象に、社会科、総合学習の時間に「のりもの語り教育」を実施。令和元年度は66校で実施。）

○公共交通沿線への居住推進

- ・まちなか居住推進事業（都心地区への居住を推進するため、良質な住宅や宅地を供給する事業者や、住宅を新築、購入や賃借する市民に対して助成を実施。＜事業者向け、市民向け助成実績（H17.7～R4.3）：合計1,799件、4,447戸＞）
- ・公共交通沿線居住推進事業（公共交通沿線居住推進地区への居住を推進するため、良質な住宅や宅地を供給する事業者や、住宅を新築、購入し居住する市民に対して助成を実施。）＜建設事業者向け、市民向け助成実績（H19.10～R4.3）：合計1,305件2,994戸＞）

○中心市街地の活性化

- ・グランドプラザの整備（H19年9月オープン）（積雪寒冷地の気候にも配慮し、賑わいの核となる全天候型の多目的広場を整備。H元年度は年間86.9%（休日96.7%、平日82.0%）がイベント等に利用。利用事例：エコリンク、段ボール迷路、総曲輪コレクション、ラクビーワールドカップパブリックビューイング）
- ・魅力ある都市景観の形成（街路景観を演出するハンギングバスケット、バ

ナーフラッグ等の設置。)

- おでかけ定期券事業（高齢者の外出機会の創出、中心市街地の活性化、公共交通の維持、活性化に寄与するため、交通事業者と連携し、富山市内の65歳以上の高齢者を対象に、市内各地から中心市街地へ出かける際に公共交通機関を1乗車100円で利用できる制度を実施。）
- 自転車市民共同利用システム（H22年3月より中心市街地に設置された23箇所の専用ステーションから、24時間365日いつでも自由に自転車を借りて任意のステーションに自転車を返却することができる新しいコミュニティサイクルシステムを導入。）
- TOYAMAキラリ（中心街地にガラス美術館と市立図書館等が入る複合施設を整備。H27・8・22開館。公益施設はH2年3月末現在で来館者371万人。）

○コンパクトなまちづくりの効果

- 路面電車南北接続事業の整備効果

<路面電車利用者数の増加>（路面電車（市内電車）利用者数は約20%増加。高架下乗入れにより乗継利便性の大幅な向上が利用増加をもたらした。富山ライトレール利用者数は約4%増加。富山駅に結節する公共交通の利用者数が軒並み増加。）

<公共交通利用者の増加>（富山地鉄鉄道線利用者数は約10%増加、路線バス利用者数は約3%増加。）

- コンパクトなまちづくりの効果～転入人口の増加～（中心市街地（都心地区）の社会増減：都心地区では平成20年から転入超過を維持、公共交通沿線居住推進地区の社会増減：平成24年の転入超過移行、転入超過の傾向。）
- 社会動態の変化<H18からH20における転入の合計>（転入ボリュームが散見し、市街地が広がる傾向。転入ボリュームは主に婦中町。市街化調整区域や白地地域にも転入ボリュームが散見。）
- 社会動向の変化<H29からR元における転入の合計>（市街化区域を中心に転入ボリュームを形成。都心地区に転入ボリュームが移動。不二越・上滝線沿線や藤ノ木方面バスへ転入ボリュームが移動。大沢野地域の公共交通沿線での転入超過。）
- 中心市街地において活発化する民間投資（公共投資が呼び水となり市街地再開発事業など民間投資が活発化。）
- コンパクトなまちづくりの効果～地価調査（R3.7.1）結果～（県全体では地価平均がH5以降下落にあるが、富山市では8年連続で地価が平均で前年比0.2%上昇。商業地では富山駅周辺や環状線沿線を中心に11地点

で上昇。住宅地は市内10地点で上昇。上昇の要因として商業地では南北接続による環状線などの利用性向上、民間による再開発やホテル、商業施設の建設、住宅地では富山駅周辺整備や南北接続による利便性の向上、中心市街地周辺での居住環境や利便性の向上、まちなか居住・公共交通沿線居住推進政策の進展。）

- ・固定資産税、都市計画税の推移<H24 からR3比較>（平成24年度と令和3年度の税額を比較すると、中心市街地エリアでは5.4%増えている。市全体では11.1%増えている。）

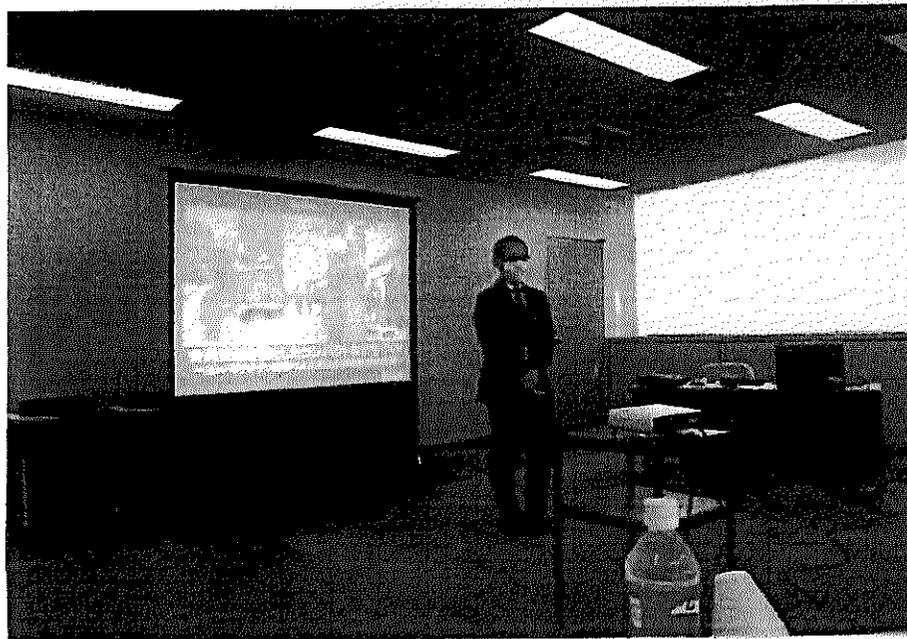
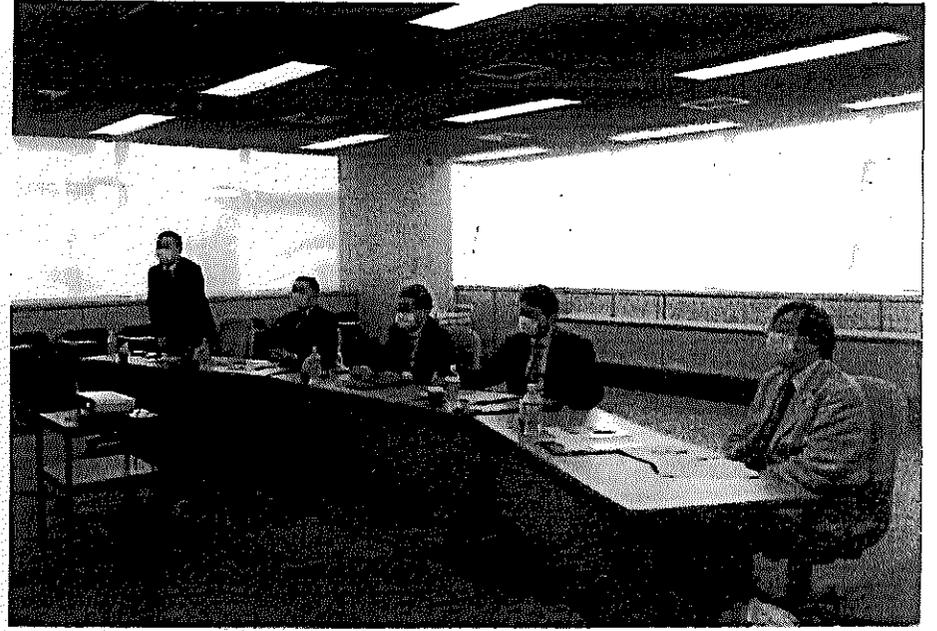
◆研修総括

コンパクト&ネットワークによる近年のまちづくりにおいて、代表的に挙げられるのが青森市と富山市である。しかしながら青森市はアウガの破綻によってうまくいかず、一方、富山市は路面電車（LRT）等によるネットワークにより成功している事例だと思う。

富山市は歴史的、地理的また県民性により、着実にまちづくりをしてきている。まちの課題を見極め、それを一つずつ解決していく、正統派的進め方であると思う。コンパクトシティ政策は広がる都市の拡大に、人口減少、少子高齢化により財政、公共サービスが追いついていかないために生み出された政策である。しかし富山市は人の移動、つまり公共交通等ネットワークを重視した政策により成果を上げている。富山市は中心街を拠点として放射線状に鉄道軌道、路線バスのネットワークを作り、中心街そして公共交通沿線のコミュニティを結び発展してきている。その第1に挙げられるのが路面電車（LRT）の上下分離方式を活用した南北接続事業である。新幹線の富山駅に直結し、高齢者も中心街へ移動しやすく、中心街への居住も増えた。また公共交通沿線の居住も増え、地価も上がってきている。富山市は全国で2番目に車の保有台数が多いにも関わらず、このように公共交通機関の利用も多い。これは移動手段また居住の場所を市民に選択させる仕組みを取っていることからであると思うところである。

一方、当市の政策はコンパクト&ネットワークを念頭においているが、コンパクトだけを重視しているように思われる。当市は街的には長い街並みを形成しているため、富山市の事例を見ていると、ネットワークづくりの方が先のような気がする。

まちづくりは、時間と予算と将来を見据えた計画及び政策が必要である。何よりも市民が望むまちづくりこそが必要であると今回の富山市の視察を終え考えさせられたところである。今回の視察を今後の活動に活かしていきたいと考える。





富山市議会事務局

事務局長

渡辺 康裕

Watanabe Yasuhiro

〒930-8510 富山県富山市新桜町7番38号
Tel.076-443-2157 Fax.076-443-2196
E-mail watanabe.yasuhiro@city.toyama.lg.jp
<https://www.city.toyama.toyama.jp>



富山市議会事務局
議事調査課

主査

牧石 真理

Makiishi Mari

〒930-8510 富山市新桜町7番38号
Tel.076-443-2158 Fax.076-443-2196
E-mail makiishi.mari@city.toyama.lg.jp



立山あおぐ特等席。富山市



富山市活力都市創造部 交通政策課

参事 高田 秀昭



〒930-8510 富山市新桜町7番38号
Phone 076-443-2192 Fax 076-443-2190
Email : takada.hideaki@city.toyama.lg.jp
URL : <http://www7.city.toyama.toyama.jp/>

視察報告書

- ・ 視察日 令和4年11月15日(火) 午前9時30分～11時
- ・ 視察地 石川県 金沢市
- ・ 視察目的 金沢21世紀美術館の取組について
- ・ 視察議員 立花 敬之、小屋敷 孝、日當 正男、岡田 英

1. 視察目的

当市の八戸市美術館は令和4年11月3日で、オープンから1年が経過した。入館者は10万人に達し、コロナ禍の影響はあるものの、順調にその数を伸ばしている。従来の美術品展示が中心の美術館ではなく「ひと」が活動する空間を大きく確保することで、「もの」や「こと」を生み出す新しいかたちの美術館としてスタートした。これまで、様々な企画によって市民に広く周知し、入館者を増やそうと努力されていると思う。美術館活動に主体的に関わる市民を「アートファーマー」と呼び、様々な経験ができる環境を作り出すとしている。このアートファーマーが、様々な人や資源と出会い、アートを通して地域社会を考えたり、創作活動に取り組んだりする「アートファーマープロジェクト」の継続が当美術館の胆となる。この活動が継続的になされ、たくさんの市民がそれに参画することにより、当市の美術館も市民に受け入れられ定着していくのであろう。今回は、少し予算規模は大きいですが、金沢21世紀美術館における長く市民に受け入れられ、親しまれ、また、県外のお客様にもたくさん来ていただけるような取組などを視察し、今後の当市の美術館の発展につなげていくものである。

2. 視察対応者

- ・金沢21世紀美術館 統括マネージャー兼総務部長 西田 賢一 氏
- ・ ” 総務部総務課 課長補佐 田淵 晃由 氏
- ・金沢市議会事務局 議事調査課調査係 係長 今川 良太 氏

3. 視察内容

(1) 開館までの経緯

- ・平成7年に金沢大学附属小中学校が移転したことにより、跡地構想が立ち上がった。
- ・当時の市長は、買い物帰りに来られるような庶民派の美術館、まちなかの美術館を造ろうとした。
- ・まちのにぎわいづくり、教育施設、観光施設など、都市機能が集積したようなものを造りたい。
- ・伝統を重んずる都市ゆえ、伝統が壊れるのではないかという意見もあったが、新たな価値を創造するというコンセプトのもと構想が進んだ。
- ・平成16年オープン

(2) 目的と方針

まちとともに成長し、「新しい文化の創造」と「新たなまちの賑わいの創出」に資する以下4つのミッション

- ① 世界の「現在（いま）」とともに生きる美術館
- ② 市民参画交流型の美術館 ← まちに生き、市民とつくる、参画支援型の美術館
- ③ 地域の伝統を未来につなげ、世界に開く美術館
- ④ 子どもたちとともに成長する美術館

(3) 施設概要

- ・敷地面積 約27,000㎡（東京ドーム2個分） 延べ床面積 約17,000㎡
- ・円柱の建物で透明なガラスを壁面に122枚使用。特殊なガラスを使用しており、1枚の価格はベンツが1台買えるくらいの値段とのこと。
- ・美術館の部分と交流ゾーン（外周部分、入館料なし）とに分かれている。入り口が4か所。（表と裏の概念がない）現在は、コロナ対策で2か所を開放している。
- ・事業費は約200億円。

- ・NHK が跡地に建設との話もあったが、15m の高さ制限があったため、断念した。
- ・妹島氏、西沢氏の設計。美術館はグッドデザイン賞、地域創造大賞などを受賞している。現在、開館から 20 年経過しようとしているので、大規模改修に向けてお二方に相談している。

(4) 事業概要

① 自主事業

- ・展覧会開催事業
- ・教育普及・生涯学習基盤整備事業

ミュージアムクルーズ → 小学生 4 年生を対象として、毎年美術館に招待する取組。

子供たちに、もう一回入館できる券を渡し、家族と一緒にまた来てもらう狙いがある。子どもたちが、家族と来た際には、家族を喜んで案内してくれる。その子どもたちも、やがて美術館職員やボランティアになり、活躍している人もいる。

- ・地域文化活性化支援事業

- ・その他

第二土曜日は、美術奨励の日として、市民は無料で観覧できる。

② 貸館事業

- ・市民ギャラリー → 市民の発表の場として
- ・シアター 21 (地下) → 公演、ワークショップ、映画上映などで利用
- ・茶室 → 松涛庵、山宇亭 伝統の美と現代の美との融合

③ 地域等との連携

- ・商店街との連携

300 もの商店と連携し、そのお店のコースターを持参すると、美術館の観覧料が割引となる。逆に、美術館のチケットの半券をお店に持っていくとコーヒーが無料になったり買い物が 5% 引きとなる特典が受けられる。

- ・ミュージアム・グッズの開発

- ・美術工芸大学、卯辰山工芸工房との連携

(5) 運営組織

- ・館長、副館長、総括マネージャー
- ・総務部 → 総務課 広報課
- ・学芸部 → 学芸課 交流課

4 つの課に分かれて運営する。

(6) 予算

- ・5 年単位で指定管理制度をとる。

収入	約 9.4 億円	→	指定管理料	約 4 億円
			利用料金収入	約 4.6 億円 (入館者の 3 割弱が有料で入館する)
			グッズ販売	約 0.8 億円
支出	約 9.4 億円	→	人件費	約 2.5 億円
			維持管理費	約 4.1 億円

事業費 約2.8億円

- ・市役所職員が5人、あとはプロパーで構成されている。

(7) 美術館の管理

- ・公益財団法人金沢芸術創造財団が管理
当館を含めて、文化ホール、アートホールなど10か所を管理する。
- ・新幹線開業に伴い、2015年から入館者が一気に増加。
- ・2020年からコロナにより、閉館、時間短縮を行ってきたが、全国の美術館と比較すると、依然として入館者は多い。
- ・入館者の3割弱は有料チケットを購入。
- ・土日の入館者の7割は親子連れであり、無料で入館する。

(8) 活動状況

- ・1年間の目標入館を30万人としていたが、1年目は156万人、それから150万人前後で推移している。新幹線開業により、258万人に跳ね上がった。今年度で、計3,000万人を突破。月曜日の休館日でも、交流ゾーンは入れるので1,000人は訪れる。一日20,000人を超えた時もある。
- ・広報はいろいろな媒体で行っている。年間約1,000件。
- ・地元の個人、企業から寄付をいただきサポーターになってもらう。チケット購入の際の優遇措置があり招待もしている。約110社。
- ・友の会会員 → 一人年会費3,000円で約1,700人が登録。毎日無料でコレクション展を観覧できる特典あり。

(9) 作品の収集

- ・購入は金沢市となるが、選定は美術館職員が企画、提案する。収集委員会に諮り、許可が出たら購入する。比較的安価な作品を購入する。作品は600点で、寄贈も含めると4,000点ある。毎年、9,000万円の予算で購入。市場調査し、学芸員が作品の購入計画を立て、収集委員会に諮る。

(10) 課題と今後の取組

- ・アフターコロナに向けての対応
- ・来館者の利便性の向上
- ・開館20周年に向けてのリニューアルイベントをどうするか
- ・老朽化に伴う改修をどうするか

4. 質問

質：市民ボランティア制度はあるか？

答：ある。ボランティアは20人くらい。ミーティングをしながら活動している。広場の敷地に花壇を設置。ライオンズクラブからも参加している。

質：作家さんとの信頼関係をどう築いてきたのか？

答：美術館に展覧することによって、たくさんの人に作家さんの作品を見てもらえるようにしている。それが信頼につながっている。

質：市役所前にできた美術館だが、市役所を利用した人たちは、その足で美術館に来ているのか？

答：来ている。駐車場も無料となるメリットがある。市役所職員も昼休みはウォーキングに来ている。

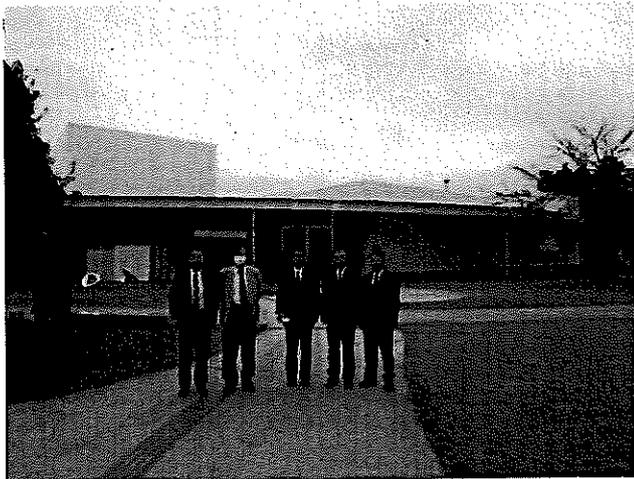
質：経済効果は？

答：当初は30万人の来館者で、110億円とみていたが、現在は、8倍の900億円とみている。

5. 所感

金沢21世紀美術館は、総事業費200億円と大規模である。また、妹島和世氏と西沢立衛氏の斬新な設計のもと、一瞬で周りの人の目をひきつける設計となっているのが魅力である。また、中心部分に美術館機能を置き、周囲をフリーゾーン、交流ゾーンにし、ガラス張りで人の動きが見えるつくりは、賑わいや、開放感を感じることができる。館外においても、たくさんのオブジェがあり、散策できるような飽きのこないスペースとして市民に親しまれ、また、県外のお客さんにも人気となっている。私たちは平日に訪問したが、それにも関わらず、有料の観覧チケットを求め、たくさんの方が列をなしていた。お客さんを引き付ける作家の展示やコレクション展示の企画はもちろん、子供たちが小学4年生になった時に、無料で招待し、美術館を知ってもらい、その後また、家族を連れて美術館に来てもらおうという企画は非常に素晴らしい。また、收藏品についても、これから活躍しそうな若者の作品を、比較的安く購入するという目利きも素晴らしいと思う。その作家さんとの信頼関係の築き方も、真摯に作家さんと向き合おうとするスタッフの姿勢は見習うべきところである。いかに、たくさんの方々に美術館に来てもらうか、飽きさせない企画を長く続けていくかについては、大変難しいことである。大概、一回行ったからもういいや、というのが市民の受け止め方だと思う。多くのリピーターをつくるためには、相当の知恵と努力が必要となろう。商店街との上手な連携、子供たちが家族連れ、おじいさん、おばあさんと来られるような工夫された企画、無料で開放する日の設定、駐車場の無料券発行、様々な企画を打ち出し市内外からたくさんの方が来てもらえるよう、八戸市の美術館も企画運営を心掛け、市民に愛されるよう努力していかなければならない。

6. 写真



▲美術館前での集合写真



▲美術館前の案内塔



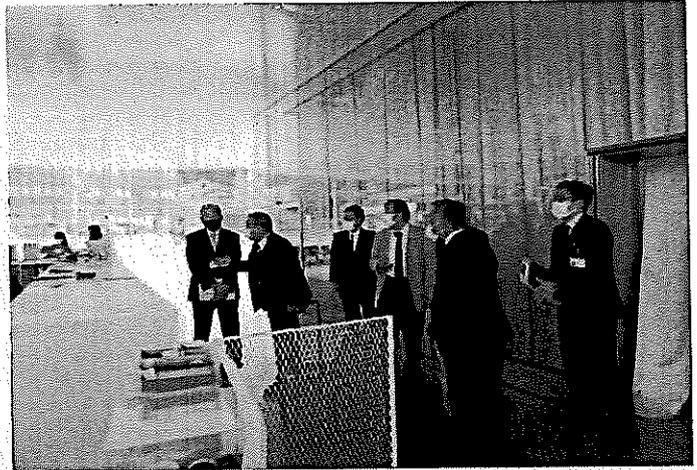
▲美術館前の案内板



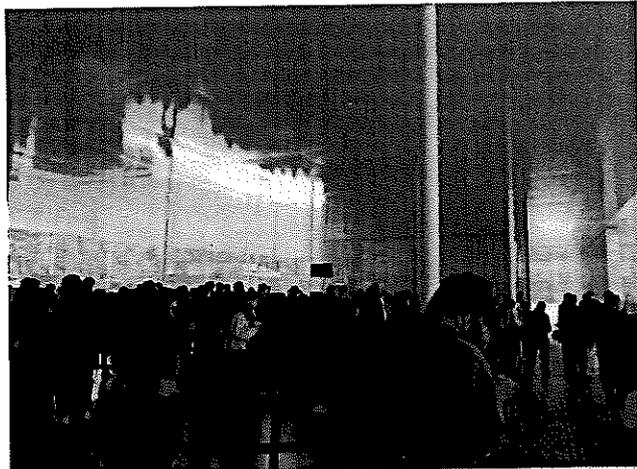
▲説明を聞く視察団



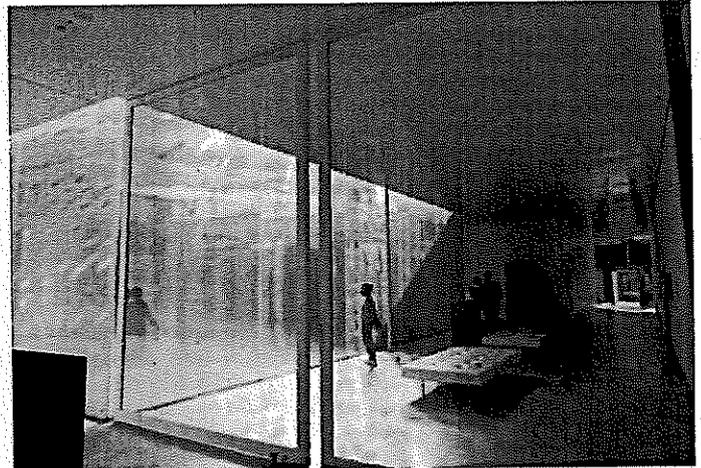
▲館内で説明を聞く視察団



▲館内で質問をする視察団



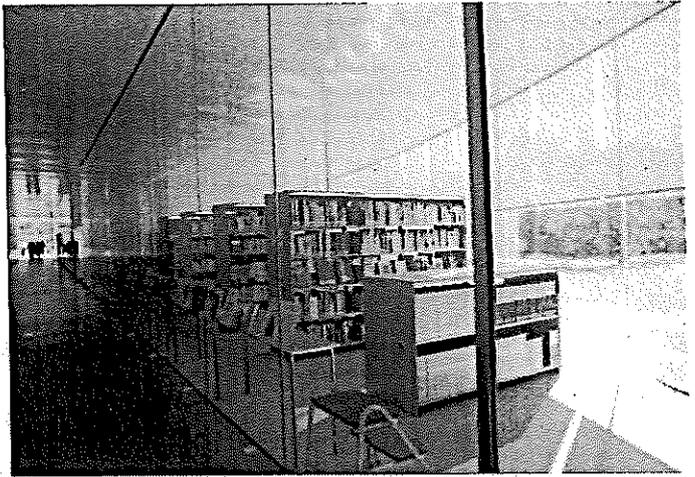
▲チケット購入に並ぶ多くの入館者



▲館内の様子



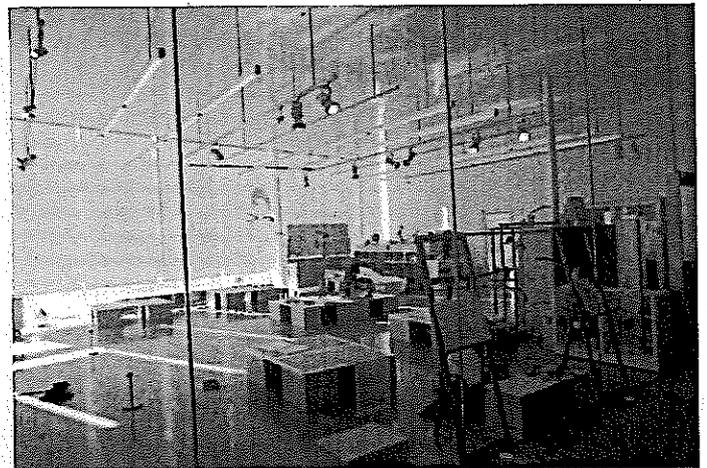
▲館内の様子



▲館内の閲覧室



▲館内の託児ルーム受付案内



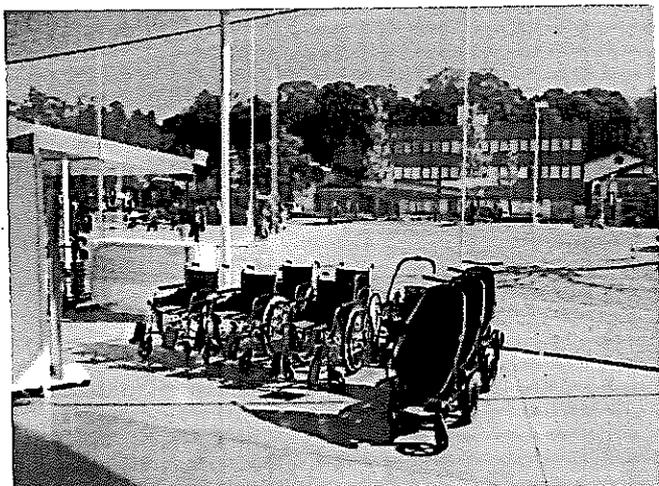
▲館内の託児ルーム



▲館内の様子



▲館内のレストラン



▲車いすとベビーカー



▲館内から見た外の様子



▲館内から見た外の様子



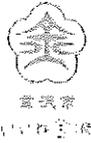
▲館内から見た外の様子



▲館外のオブジェ

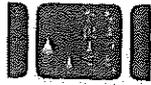


▲館外のオブジェ



議会事務局
議事調査課 調査係 係長

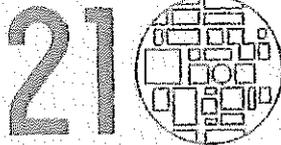
今川 良太
Imagawa Ryota



〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号
TEL:076-220-2392 FAX:076-260-7190
Mail:imagawa@city.kanazawa.lg.jp

西田 賢一

総括マネージャー 兼 総務部長

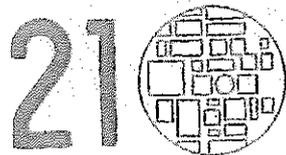


金沢21世紀美術館

〒920-8509 石川県金沢市広坂1丁目2番1号
Phone: 076-220-2816
Facsimile: 076-220-2802
http://www.kanazawa21.jp
nishita@kanazawa-arts.or.jp

田淵 晃由

総務課 総務員
課長補佐



金沢21世紀美術館

〒920-8509 石川県金沢市広坂1丁目2番1号
Phone: 076-220-2809
Facsimile: 076-220-2802
http://www.kanazawa21.jp
tabuchi@kanazawa-arts.or.jp

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和4年11月30日

会派名 自由民主・市民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 工藤悠平
藤川優里



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 工藤悠平議員 藤川優里議員
- 2 期間 令和4年12月21日（水）～ 令和4年12月23日（金）
- 3 場所 沖縄県南城市、豊見城市
- 4 目的及び内容 自治会費の電子決済について
水族館利用促進のための取組について
- 5 支出可能額（上限額） 327,680円
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

旅行日程			旅費計算の基礎					
行	12/21	本八戸駅発 8:45	区分	基数	単価	金額	備考	
き	12/21	県庁前着 17:09	早見表					
帰	12/23	県庁前発 6:30						
り	12/23	本八戸駅着 14:33						
経路・滞在地 ※別紙のとおり			鉄道運賃	641.1k	9,790	17,620	本八戸⇄浜松町（往復割引）	
			急行料金	特	2	6,800	13,600	八戸⇄東京 631.9k
				急				
			特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
			航空運賃		2	47,500	95,000	羽田⇄那覇
			東京モノレール		1	500	1,000	浜松町⇄羽田空港
			ゆいレール		2	210	420	那覇空港⇄県庁前
			宿泊料		2	12,500	25,000	12/21, 12/22 那覇市泊
			旅行雑費					
			小計					
合計（小計×人数）						327,680	2人	

自由民主・市民クラブ 行政視察行程

日程：令和4年12月21日（水）～12月23日（金）

視察先：沖縄県南城市、豊見城市

月日	行程	宿泊地
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 12月21日 (水)	8:45発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → (はやぶさ14号) → 東京 → (JR京浜東北線) → 浜松町 → (東京モノレール) 12:08着/12:20発 12:24着/12:30発 12:46着/13:30発 羽田空港第1T → (JAL917便) → 那覇空港 → (モノレール) → 県庁前 → (徒歩) → ホテル 16:25着/16:56発 17:09着/17:15発 17:20着	那覇市内 泊
12月22日 (木)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">津波古自治会「自治会費の電子決済について」(10:00～11:00)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">DMMかりゆし水族館「利用促進のための取り組みについて」(14:30～16:30)</div> 10:00～11:00 14:30～16:30 ホテル → 津波古公民館 → DMMかりゆし水族館	那覇市内 泊
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 12月23日 (金)	6:20発 ホテル → (徒歩) → 県庁前 → (モノレール) → 那覇空港 → (JAL900便) → 羽田空港第1T 6:43着/7:35発 ゆいレール・那覇空港行 10:48着/10:58発 11:02着/11:20発 14:13着/14:25発 → (東京モノレール) → 浜松町 → (JR京浜東北線) → 東京 → (はやぶさ21号) → 八戸 → 14:33着 → (JR八戸線) → 本八戸	

第5号様式（第6条、第8条関係）

令和4年12月28日

会派名 自由民主・市民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 工藤悠平
藤川優里



調査視察等報告書

令和4年11月30日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 工藤悠平議員 藤川優里議員
- 2 期間 令和4年12月21日（水）～ 令和4年12月23日（金）
- 3 場所 沖縄県南城市、豊見城市
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 243,630円（JR、航空機、宿泊費）
5,800円（水族館入館料等 ※比較対象外）
- 6 概要 別紙のとおり

自由民主・市民クラブ 行政視察行程

日程：令和4年12月21日（水）～12月23日（金）

視察先：沖縄県南城市、豊見城市【工藤議員】

月日	行程	宿泊地
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 12月21日 （水）	8：45発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → (はやぶさ14号) → 仙台 → (仙台空港アクセス線) → 仙台空港 8：55着/9：05発 10：29着/10：50発 11：24着/12：00発 → (ANA1863便) → 那覇空港 → (モノレール) → 県庁前 → (徒歩) → ホテル ゆいレール・てだこ浦西行	那覇市泊
12月22日 （木）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 津波古自治会（津波古公民館） 「自治会費の電子決済について」(10：00～11：00) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> DMMかりゆし水族館 「水族館利用促進のための取組みについて」(14：30～16：30) </div> 8：20 ロビー集合 → 8：30発 ホテル → (レンタカー) → 9：45着/10：00～11：00 津波古公民館 → (レンタカー) → 11：55着 豊見城市 → (レンタカー) → 14：25着/14：30～16：30 DMMかりゆし水族館 → (レンタカー) → 16：45着 ホテル (夕食各自)	那覇市泊
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 12月23日 （金）	(ロビー集合) 11：00発 ホテル → (徒歩) → 11：15発 県庁前 → (モノレール) → 11：28着/12：05発 那覇空港 → (JAL906便) → 14：20着/14：30発 羽田空港第1T ゆいレール・那覇空港行 14：48着/14：58発 → (東京モノレール) → 15：02着/15：20発 浜松町 → (JR京浜東北線) → 18：11着/18：25発 東京 → (はやぶさ31号) → 八戸 18：34着 → (JR八戸線) → 本八戸	

自由民主・市民クラブ 行政視察行程

日程：令和4年12月21日（水）～12月23日（金）

視察先：沖縄県南城市、豊見城市【藤川議員】

月日	行程	宿泊地
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 12月21日 （水）	7:45発 本八戸 → (連絡バス) → 三沢空港 → (JAL152便) → 羽田空港 → (JAL915便) → 8:40着/9:40発 11:05着/12:05発 15:00着/15:35発 那覇空港 → (モノレール) → 県庁前 → (徒歩) → ホテル ゆいレール・てだこ浦西行	那覇市泊
12月22日 （木）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 津波古自治会（津波古公民館） 「自治会費の電子決済について」（10:00～11:00） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> DMMかりゆし水族館 「水族館利用促進のための取組みについて」（14:30～16:30） </div> 8:20 〇ぴー集合 → ホテル → (レンタカー) → 9:45着/10:00～11:00 津波古公民館 → (レンタカー) → 11:55着 豊見城市 14:25着/14:30～16:30 DMMかりゆし水族館 → (レンタカー) → 16:45着 ホテル (夕食各自)	那覇市泊
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動日</div> 12月23日 （金）	(〇ぴー集合) 11:00発 ホテル → (徒歩) → 県庁前 → (モノレール) → 那覇空港 → (JAL906便) → 羽田空港 11:15発 11:28着/12:05発 ゆいレール・那覇空港行 16:15着/16:30発 → (JAL157便) → 三沢空港 → (連絡バス) → 本八戸 17:20着	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	6-1
領収書等貼付欄					

領 収 証

No. 121201

2023年 / 1月 / 2日

工藤 悠平 様

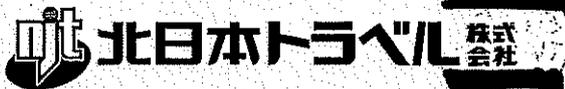
金額	¥	103170
----	---	--------

但しJR、航空券代々



内 消費税 円 上記の金額正に領収致しました。

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	6-1
----	-------	----	----	------	-----

ご旅行代金請求書

工藤 悠平 議員 様

令和4年12月20日

北日本トラベル株式会社

店長 久保 健興

青森県八戸市廿三日町4-1

電話 0178-22-5151

担当

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積りさせていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名様
 ご旅行期間 令和4年12月21日(水)～12月23日(金)
 ご旅行方面 沖縄 那覇 方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります

お一人様当り **103,170**円 総旅行代金 **103,170**円

ご請求内訳

項目	人員	ご利用 代金	台数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR	1	9,240			9,240	12/21 本八戸～仙台 片道指定席
JR	1	16,590			16,590	12/23 東京～本八戸 片道指定席
AIR	1	52,730			52,730	12/21 仙台～那覇 ANA
	1	24,610			24,610	12/23 那覇～羽田 JAL
金額小計	1	103,170			103,170	{1}
消費税						
その他税						
諸税計						{2}
金額合計	1	103,170			103,170	{1}+{2}諸税を含んだ額

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	6-1
領収書等貼付欄		<div style="text-align: center;"> <p>領収書 Receipt</p> <p>No. 202212210184 C 2022.12.21</p> <p>工藤悠平 様</p> <p>¥21,800</p> <p>上記正に領収致しました 但、宿泊代として</p> <p>(内消費税 Con.Tax ¥2,072) (標準税率 ¥22,800) (軽減税率 ¥0)</p> <p>ホテルロコアナハ</p> <p>〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-1-2  HOTEL ROCORE NAHA TEL 098-868-6578 FAX 098-868-6521</p> </div>			

※ 領収書等の原本は、用紙

七。

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	6-1
----	-------	----	----	------	-----

ご請求明細書
Amount Description

HOTEL ROCORE NAHA

ホテルロコアナハ

TEL 098-868-6578

FAX 098-868-6521

毎度ありがとうございます。
またのご利用をお待ち申し上げます。

客室番号 Room No.	お名前 Name Of the Guest	人数 Pers.	ご利用日 Date
717	Mr. 工藤悠平 Ms. 様	1	22.12.21 - 22.12.23(2泊)

日付 Date	摘要 Description	料金 Charges	お支払 Payment	備考 Remarks
12.21	チェックインデポ(楽天クーポン)		RCP 1,000	
12.21	チェックインデポ(現金)		CA 21,800	
12.21	ご宿泊代金	11,400		
12.22	ご宿泊代金	11,400		
小計 Sub Total		22,800	22,800	

(内消費税 Con.Tax ¥2,072)
(標準税率 ¥22,800)
(軽減税率 ¥0)

ご請求額 Balance Due	
ご返金額 Refund	

お振込みは下記銀行口座へお願い致します。



ご署名
Signature _____

会社名
Firm _____

発行No. 073678
No. 202212210184 C
発行日 2022.12.21
052 CA 3

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	6-2
領収書等貼付欄					

領 収 証

No. 121679

2022年12月28日

藤川 優里 様

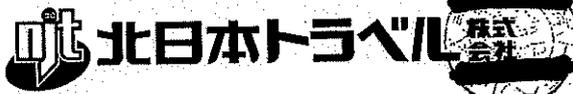
金額	¥93,260
----	---------

但し 振込手数料



内消費税 円 上記の金額正に領収致しました。

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	6-2-
----	-------	----	----	------	------

ご旅行代金請求書

藤川 優里 議員 様

令和4年12月20日

北日本トラベル株式会社

店長 久保 健興

青森県八戸市廿三日町4-1

電話 0178-22-5151

担当

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積りさせていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名様
 ご旅行期間 令和4年12月21日(水)～12月23日(金)
 ご旅行方面 沖縄 那覇 方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります

お一人様当り **93,260**円 総旅行代金 **93,260**円

ご請求内訳

項目	人員	ご利用 代金	台数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
AIR	1	18,470			18,470	12/21 三沢～羽田 普通席
	1	31,710			31,710	12/21 羽田～那覇 普通席
	1	24,610			24,610	12/23 那覇～羽田 普通席
	1	18,470			18,470	12/23 羽田～三沢 普通席
金額小計	1	93,260			93,260	[1]
消費税						
その他税						
諸税計						[2]
金額合計	1	93,260			93,260	[1]+[2]諸税を含んだ額

特記事項

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	6-2
----	-------	----	----	------	-----

ご請求明細書
Amount Description

HOTEL ROCORE NAHA

ホテルロコアナハ

TEL 098-868-6578

FAX 098-868-6521

毎度ありがとうございます。
またのご利用をお待ち申し上げます。

客室番号 Room No.	お名前 Name Of the Guest	人数 Pers.	ご利用日 Date
1020	Mr. 藤川 優里 Ms. 様	1	22.12.21 - 22.12.23(2泊)

日付 Date	摘要 Description	料金 Charges	お支払 Payment	備考 Remarks
12.21	チェックインデポ(クレジット)		CC 25,400	
12.21	ご宿泊代金	12,700		
12.22	ご宿泊代金	12,700		
小計 Sub Total		25,400	25,400	

(内消費税 Con. Tax ¥2,306)
(標準税率 ¥25,400)
(軽減税率 ¥0)

ご請求額 Balance Due	
ご返金額 Refund	

お振込みは下記銀行口座へお願い致します。

15 (株)おきぎんジェーシーピー CC

発行No. 073660
No. 202212210135 C
発行日 2022.12.21
084 CC 1

ご署名
Signature _____

会社名
Firm _____

(1/1)

領 収 書
Receipt

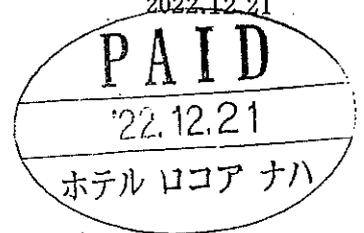
No. 202212210135 C
2022.12.21

藤川 優里 様

¥25,400

上記正に領収致しました
但、クレジット分 ¥25,400 を含みます

(内消費税 Con. Tax ¥2,306)
(標準税率 ¥25,400)
(軽減税率 ¥0)



ホテルロコアナハ

〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-1-2 HOTEL ROCORE NAHA
TEL 098-868-6578 FAX 098-868-6521

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	6-3
領収書等貼付欄					

 **DMM** かりゆし水族館

領収証

藤川、工藤-上条 様

¥7,200-
(内税額 ¥654-)

但し、チケット代として
上記金額を領収いたしました。

決済手段：現金
発行日時：2022/12/22 14:20
伝票番号：0320221222000037

株式会社 DMM RESORTS
〒901-0225 沖縄県豊見城市豊崎3-35

$7,200 \times \frac{2}{3} = 4,800 \text{円}$
(2点分)

藤川、工藤-上条 様

 **DMM** かりゆし水族館

2022年12月22日(木) 14:31 No:0008

2000130200101
4101チケットツアー
単500× 3個 内 ¥1,500

小計		¥1,500
内税対象額	10.00%	¥1,500
内税	10.00%	¥136
合計		¥1,500

お預り ¥2,000
(消費税等 ¥136)
お釣り ¥500

軽は軽減税率(8%)対象商品です。

販売:00035056:
責No: [REDACTED]

取引No1141 3点買

$(500 \times \frac{2}{3}) = 1,000 \text{円}$
(2点分)

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

視察調査報告書

日 時

令和4年12月22日(木) 10:00~11:00

視察調査地

〒901-1414 沖縄県南城市佐敷津波古144 津波古公民館

視察対応者

南城市津波古自治会 会長 宮城 雄一氏

南城市議会議員 高江洲 順達氏

参加議員

工藤 悠平、藤川 優里

視察目的

自治会費の電子決済について

視察調査概要

別紙



視察の概要

自治会費(当市においては町内会費)のキャッシュレス決済導入について調査させていただいた。自治会費のキャッシュレス決済を導入しているのは今回視察調査させていただいた沖縄県南城市津波古自治会で、他に北海道苫小牧市の拓勇東町内会が導入している。

津波古自治会の概要

公民館から11km圏内で約1,600世帯、南城市では最も大きな自治会で、運営は自治会職員が行う。自治会長は選挙で選ばれることが一般的。

導入にあたっての経緯等

システム等に強い自治会職員(60代)からの企画提案で、発案から2~3ヶ月で導入に至った。

初期費用として、通信環境、システム使用料、Tポイント還元のための手数料等の経費については、全国初の取組ということでTポイント運営会社が機材の初期費用の支援をしてくれたこともあり、安価で済んだ。

また、導入については約款等の新規作成や変更等はなく、行政への相談もなし。評議委員会でゴーサインを出し、公民館だよりでお知らせをした。

反対意見はなかったが、PayPayだけは誰が払ったか分からなくて、やってから失敗に気づき、処理に大変だった。(次号の広報で謝罪)

自治会費を納めることによりTポイントが付与されること、また月払い<半年払い<年払いと、Tポイントの付与率が変えることから年払いにする人が増え、効率が良くなった。導入によって加入世帯が増えたことにより、運用費用分を賄えている。

以前は、自治会職員が全戸を回って自治会費を徴収しており大変な作業であった。

考 察

当市においては、町内会費の徴収は一般的に持ち回りで班長になった方が行っており、何度も家に行ったり、払わない人がいたり手間がかかったり嫌な思いをする班長も多く、班長のなり手、ひいては町内会加入率を下げている。

南城市の場合が一番大きい自治会である津波古自治会が導入し、順調に運用してはいるものの、他自治会の導入には至っていないのは、やはり初期費用の捻出という課題があり、津波古自治会で自治会費を導入した当時の自治会長であり、現市議会議員の高江洲氏が議会において発言をしているとのことである。

導入には、一定以上のデジタルの知識がある人材の必要性や、導入にあたっての研修、導入諸経費、システム改修等が必要ではあるものの、町内会の高齢化が進む中、若い世代に関心を持っていただいたり、町内会の運営を担っていただくきっかけとして、また、津波古自治会では高齢の方の外出機会の創出として公民館での集金を行っているが、さらに高齢化が進んでいる方が外出せずに家でも操作可能という利点もあり、導入時と運用益（津波古自治会では導入により加入率が上がった分で賄っている）のハードルを越えることが出来れば、今後必要不可欠とされる地域による自治力の創出と強化のため、その導入意義は大にあると考える。



公民館の事務所前には、自治会費の支払いに可能な支払方法がシールで貼られている。



津波古公民館前にて

視察調査報告書

《日 時》

令和4年12月22日(木)

《視察調査地》

DMM かりゆし水族館 〒901-0225 沖縄県豊見城市豊崎3-35

《視察対応者》

DMM かりゆし水族館 館長 市川 大介 氏

《参加議員》

工藤悠平、藤川優里

《視察目的》

DMM かりゆし水族館について

《視察調査概要》

別紙

DMM かりゆし水族館について

◇施設概要

豊見城市の大型ショッピング施設「イーアス沖縄」の一角に立地している DMM かりゆし水族館は株式会社DMM RESORTS の運営により、2020年5月にオープンした。

約190種類の生物を扱っており、海洋生物のみならず、ナマケモノなどの希少な野生動物も展示飼育している。

展示水量は900tであり、バックヤードでは大水槽用のろ過装置が10基が配備されている。

また、60名の職員のうち2割は飼育員専属として、また残りの8割はカスタマーと飼育員を兼務している。



◇施設の特徴

餌やり体験や、バックヤードツアーをはじめとした体験型的水族館として、水槽の中だけではなく、水族館全体の空間を活用したエンターテイメント施設として稼働している。

館内の説明掲示板をすべて廃し、QRコードでのアプリで生き物の解説をおこなっている。親会社にあたるDMMのコンテンツを活かした音、光、映像などの演出を活用し、ゲーム感覚で館内を回遊できる。

またコンパクトな箱を活かし、コスプレイベント、一般企業の忘年会など、貸館等の活用を行っている。

以上のことから、同県には美ら海水族館があるが、差別化を図ることにより、お客さんの取り合いではなく、相乗効果を狙っている。

◇所感

当市の「水産科学館マリエント」を今後、観光コンテンツとしての視点で誘客につなげるべく、その施策の参考とするために当施設の視察を行ったものである。

コロナ禍でのスタートであったものの、当施設はいわゆる「水族館」としての概念ではなく、デジタルを活用した音と光と映像を駆使した総合的施設として運営を活かし誘客につなげていた。資本の大きさはあるものの、その取り組み、特にソフト事業は参考となるものであった。

今後、DX推進を掲げる当市としても、「マリエント」のみならず、児童科学館など親子連れや観光客を意識し、大規模な予算を使わずとも、デジタル、エンターテイメント産業を活用した公共施設の在り方が必要であると考えます。

番場 直行

Naoyuki Bamba

オペレーション本部 本部長
DMMかりゆし水族館 支配人

Head of Operation Division
General Manager of DMM KARIYUSHI AQUARIUM

株式会社 DMM RESORTS
DMM RESORTS Co., Ltd.

本社 Head office
901-0225 沖縄県豊見城市宇登崎3-59
3-59, Toyosaki, Tomigusuku-shi, Okinawa
901-0225 Japan
Tel 098-851-3486

東京オフィス Tokyo office
106-6224 東京都港区六本木3-2-1
住友不動産六本木グランドタワー 24F
3-2-1, Roppongi, Minato-ku, Tokyo
106-6224 Japan

※視察資料は館内QRコード読み取り対応により配布資料なし。